秋田県文化財調査報告書第116集

遺跡詳細分布調査報告書

1984・3

秋田県教育委員会

序

秋田県には有形・無形の文化財が数多く現存しており、これを保存し後世に伝えることは、私たちの重要な責務と考えられます。

なかでも埋蔵文化財は現在約 3,000個所が周知されており、近年の急激な地域開発に伴い、最も保存の危惧されているものです。このため、埋蔵文化財の保護については、地域開発各機関と密接な連絡のもとに協議を進め、深い理解を得るよう努力いたしております。

本報告書は、東北横断自動車道秋田線（秋田市～横手市間）、広域農道雄平東部地区（横手市）の遺跡分布調査と、臨空港七曲工業団地（河辺町）、山村基幹農道整備事業（八森町）、宅地造成（天王町）、国道バイパス建設（雄物川町）、本荘工業団地（本荘市・由利町）地域内の遺跡範囲確認調査を、昭和58年度国庫補助事業として実施した結果をまとめたものです。

この報告書が関係者のみならず、県民各位の埋蔵文化財に対する御理解に役立つことを願ってやみません。

最後に、この調査に多大の御協力をいただいた関係各機関に厚く御礼を申しあげます。

昭和59年 3 月31 日

秋田県教育委員会

教育長　斎　藤　　長

例　　言

1．本書は秋田県教育委員会が、昭和58年度に国庫補助を得て実施した、遺跡分布調査と遺跡範囲確認調査の結果をまとめたものである。

2．遺跡分布調査は大野憲司、児玉　準、遺跡範囲確認調査は富樫泰時、船木義勝、高橋忠彦が担当した。

3．編集は岩見誠夫が行ったが、本文中の調査結果は上記担当者の執筆したものをそのまま掲載した。

4．分布調査のうち、広域農道雄平東部地区では遺跡の確認が無かったので、本報告から除外した。この調査は横手市、平鹿町教育委員会の協力を得て実施した。

5．本書に使用した地形図は、建設省国土地理院発行５万分の１地形図、日本道路公団仙台建設局秋田工事事務所作成の1000分の１地形図、秋田県商工労働部工業立地課作成の1000分の１地形図である。

6．本書に使用した写真のうち臨空港七曲工業団地域の航空写真は、アジア航測株式会社の撮影したものである。

目　　次

序
例　言

第１章　は　じ　め　に……1
第２章　昭和58年度遺跡分布調査、範囲確認調査実施要項……1
　第１節　遺跡分布調査……1
　第２節　遺跡範囲確認調査……2
第３章　調　査　の　記　録……4
　第１節　遺跡分布調査……4
　　東北横断自動車道秋田線（横手～秋田市間３市７町村）……4
　第２節　遺跡範囲確認調査……36
　　１．臨空港七曲工業団地……36
　　松木台Ⅱ遺跡……39
　　風無台Ⅳ遺跡……42
　　風無台Ⅴ遺跡……44
　　餅田沢Ⅰ遺跡……47
　　餅田沢Ⅱ遺跡……49
　　石坂台Ⅱ遺跡……52
　　石坂台Ⅲ遺跡……54
　　２．山村基幹農道整備事業……56
　　土　井　遺　跡……56
　　３．国道バイパス関係……60
　　蝦夷塚古墳……60
　　４．本荘工業団地区域……67

挿　図　目　次

第１図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市・平鹿町）…5
第２図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（平鹿町・横手市）…6
第３図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大森町・大曲市）…7
第４図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大曲市・南外村）…8
第５図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町）…9
第６図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町・協和町）…10
第７図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）…11
第８図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市）…12
第９図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市）…13
第10図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市・平鹿町）…14
第11図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（平鹿町・横手市）…15
第12図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（平鹿町・横手市）…16
第13図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市）…17
第14図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大森町・大曲市）…18
第15図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大森町・大曲市）…19
第16図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大曲市）…20
第17図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大曲市）…21
第18図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大曲市）…22
第19図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（南外村）…23
第20図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（南外村）…24
第21図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（南外村）…25
第22図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（南外村）…26
第23図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町）…27
第24図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町）…28
第25図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町）…29
第26図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（協和町）…30
第27図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（協和町）…31
第28図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）…32
第29図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）…33
第30図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）…34
第31図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）…35
第32図　七曲工業団地関係遺跡位置図……38
第33図　松木台Ⅱ遺跡出土遺物……39
第34図　風無台Ⅳ遺跡範囲図……42
第35図　風無台Ⅴ遺跡範囲図……44
第36図　餅田沢Ⅰ遺跡範囲図……47
第37図　餅田沢Ⅱ遺跡範囲図……49
第38図　石坂台Ⅱ遺跡範囲図……52
第39図　石坂台Ⅲ遺跡範囲図……54
第40図　土井遺跡位置図……57
第41図　土井遺跡トレンチ配置図……57
第42図　蝦夷塚古墳群(上)位置図(下)範囲図……61
第43図　分　布　図……62
第44図　本荘工業団地予定地区位置図・調査全体図…69・70
第45図　確認遺構図……71
第46図　出 土 遺 物……72

表　目　次

第１表　事業名及び分布調査対象地域……2
第２表　事業名及び範囲確認調査対象遺跡……3
第３表　東北横断自動車道秋田線遺跡地名表……4
第４表　臨空港七曲工業団地範囲確認遺跡地名表……36
第５表　本荘工業団地区域分布調査
トレンチ一覧表……67・68

図　版　目　次

図版１　臨空港七曲工業団地全景……37
図版２　松木台Ⅱ遺跡近景(上)
調査トレンチ(下)……40
図版３　松木台Ⅱ遺跡出土遺物……41
図版４　風無台Ⅳ遺跡調査トレンチ(上)
出土遺物(下)……43
図版５　風無台Ⅴ遺跡配石遺構(上)
確認遺構(下)……45
図版６　風無台Ⅴ遺跡出土遺物……46
図版７　餅田沢Ⅰ遺跡近景(上)
出土遺物(下)……48
図版８　餅田沢Ⅱ遺跡調査トレンチ(上)
住居跡(下)……50
図版９　餅田沢Ⅱ遺跡出土遺物……51
図版10　石坂台Ⅱ遺跡近景(上)
出土遺物(下)……53
図版11　石坂台Ⅲ遺跡近景(上)
出土遺物(下)……55
図版12　土井遺跡No.３、４トレンチ設定
状況(上)、竪穴住居跡プラン確
認状況(下)……58
図版13　土井遺跡No.４トレンチ、カマド
周辺遺物出土状況(上)、No.11ト
レンチ溝状遺構検出状況(下)……59
図版14　蝦夷塚古墳群近景(上)
遠景(下)……63
図版15　蝦夷塚古墳群Ａ・Ｂ・Ｃトレンチ
(上)、Ｄ・Ｅトレンチ(下)……64
図版16　蝦夷塚古墳群第１号墳(上)
第２号墳(下)……65
図版17　蝦夷塚古墳群第３号墳（ＳＤ07）
(上)、出土遺物(下)……66
図版18　本荘工業団地区域近景……73
図版19　本荘工業団地区域トレンチ写真……74
図版20　本荘工業団地区域遺構……75
図版21　本荘工業団地区域遺構……76
図版22　本荘工業団地区域遺構……77

第1章　は　じ　め　に

昭和58年度の遺跡分布調査は、東北横断自動車道秋田線（横手市～秋田間）、広域農道雄平東部地区、また範囲確認調査は山村基幹農道整備事業、臨空港七曲工業団地造成、国道バイパス関係、本荘工業団地造成に係わる遺跡等の調査で、教育庁文化課、秋田県埋蔵文化財センター、横手市教育委員会社会教育課の職員が担当した。

第2章　昭和58年度遺跡分布調査･範囲確認調査実施要項

第1節　遺跡分布調査

1．調査の目的

高速自動車道、広域農道工事等に係わる計画路線上を踏査し、遺跡の有無を確認し、遺跡の保護策を構ずるものである。

2．調査の方法

計画路線の範囲内を遺物の表面採集及び一部試掘調査を実施して、遺跡の所在を確認する。

3．調査主体者

秋田県教育委員会

4．調査担当者

秋田県埋蔵文化財センター	社会教育主事	大野　憲司	
	文化財主事	児玉　　準	
	補　佐　員	竹村　昭雄	三嶋　隆儀
	同	高橋　　修	小林　　弘
横手市教育委員会社会教育課	嘱　託	澤谷　　敬	

5．事業名及び調査対象地域 他

第1表 事業名及び分布調査対象地域

事業名及び調査対象地域	調査期間及び期日	確認遺跡
東北横断自動車道秋田線 （横手市・秋田市間　10市町村）	昭和58年5月30日～6月6日 11月14日～11月25日	横手市小松原遺跡 ほか37遺跡
広域農道雄平東部地区（横手市）	昭和58年10月26日	なし

第2節　遺跡範囲確認調査

1．調査の目的

臨空港工業団地造成、山村基幹農道整備事業、県道バイパス工事等の開発計画事業に係わる遺跡の範囲確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護、保存をはかることを目的とする。

2．調査の方法

(1) 表面採集及び発掘調査（遺構確認面まで掘り下げる。）を行い、遺跡の広さ、深さ及びその時代と性格を推定する。

(2) 調査期間は2～12日間とし、その期間内でできる限り発掘面積を面的に広げて遺構の確認に努める。

(3) 地形図は開発部局で作成した一番大きな縮尺図面のものを使用し、新規に測量は行わない。

(4) 遺構、遺物の有無、堆積土層の厚さ、遺物包含層を確認し記録する。遺跡全体と発掘状況の写真は必ず撮影する。

(5) 遺跡の立地条件等に即した適切な調査を実施する。

3．調査主体者

秋田県教育委員会

4．調査担当者

秋田県教育庁文化課　学芸主事　冨樫　泰時
秋田県埋蔵文化財センター　学芸主事　船木　義勝
文化財主事　桜田　隆
文化財主事　高橋　忠彦
補佐員　竹村　昭雄　栗沢　光男
池田　洋一　高橋　修
佐藤　雅子　佐藤　司

5．事業名及び調査対象遺跡 他

第2表　事業名及び範囲確認調査対象遺跡

事業名	遺跡名及び所在地	調査期間	摘要
臨空港七曲工業団地造成	松木台II遺跡（河辺町） 風無台IV遺跡（　〃　） 風無台V遺跡（　〃　） 餅田沢I遺跡（　〃　） 餅田沢II遺跡（　〃　） 石坂台II遺跡（　〃　） 石坂台III遺跡（　〃　）	昭和58年4月11日～5月14日	
山村基幹農道整備	土井遺跡（八森町）	昭和58年6月13日～6月17日	
宅地造成	細長根遺跡（天王町）	昭和58年7月11日～7月16日	調査の結果遺構・遺物の検出はなかった
国道バイパス工事	蝦夷塚古墳（雄物川町）	昭和58年11月7日～11月12日	
本荘工業団地造成	（本荘市 由利町）	昭和58年12月12日～12月20日	

第3章　調 査 の 記 録

第1節　遺跡分布調査

東北横断自動車道秋田線（横手市～秋田市間）

1．調査期間　昭和58年5月30日～6月6日、11月14日～11月25日

2．調査担当者　大野憲司、児玉　準

第3表　東北横断自動車道秋田線遺跡地名表

遺跡No.	遺跡名	種別	所在地	土地所有形態	現況	時代
1	小松原	遺物包含地	横手市大屋新町字小松原230～300	公有地	水田・畑地	縄文
2	柳田 I	〃	横手市新藤柳田字柳田70～80	私有地	畑地・果樹園	〃
3	〃 II	〃	横手市新藤柳田字柳田60～80	〃	果樹園	〃
4	朴田館	館跡	平鹿郡平鹿町上吉田間内字朴田270―1、215他	〃	山林・果樹園	中世
5	中山 I	遺物包含地	平鹿郡平鹿町上吉田間内字中山50の1	〃	果樹園	近世
6	〃 II	〃	平鹿郡平鹿町上吉田間内字中山41、60	〃	果樹園	平安
7	竹原	窯跡群	平鹿郡平鹿町上吉田間内字竹原118～121	〃	果樹園	縄文 奈良～平安
8	上猪岡	遺物包含地	横手市猪岡字上猪岡	〃	水田・畑地	奈良～平安
9	手取清水	〃	横手市清水町新田字皿川端22	〃	水田・畑地	縄文、弥生
10	下田	〃	平鹿郡大森町板井田字下田7	〃	畑地	縄文、平安
11	下田谷地	〃	大曲市内小友字下田谷地130他	〃	畑地	〃
12	九十九沢窯跡	〃	大曲市内小友字下田谷地130他	〃	山林	平安
13	太田	〃	大曲市内小友字太田133の1他	〃	畑地・山林	縄文
14	大関	〃	大曲市内小友字大関73	〃	山林	
15	石神	館跡	大曲市内小友字石神98―1、99	私有地	畑地・山林	中世
16	大畑潜沢 II	遺物包含地	仙北郡南外村字大畑潜沢241―1	〃	山林・畑地	縄文
17	〃 III	〃	仙北郡南外村字大畑潜沢251	〃	山林・畑地	〃
18	小出 I	〃	仙北郡南外村字小出450	〃	山林・畑地	〃
19	〃 II	〃	仙北郡南外村字小出455	〃	山林・畑地	〃
20	〃 III	〃	仙北郡南外村字小出461―1	〃	山林・畑地	〃
21	〃 IV	〃	仙北郡南外村字小出466―3、467―17	〃	畑地・宅地	〃
22	小沢	〃	仙北郡南外村字小沢	〃	山林	〃
23	堤沢 I	遺物包含地	仙北郡西仙北町大沢郷寺字戸川堤沢1～45	〃	山林・畑地	縄文
24	〃 II	〃	仙北郡西仙北町大沢郷寺字戸川堤沢1～45	〃	山林・畑地	〃
25	上野台	〃	仙北郡西仙北町強首字上野台23の1	公有地	牧草地	〃
26	寺沢	遺物包含地	仙北郡西仙北町九升田字寺沢1～11	私有地	畑地	縄文
27	大巻野	〃	仙北郡西仙北町大巻字大巻野570～640 字コケラ1～20	〃	水田・畑地	〃
28	半仙	〃	仙北郡協和町峰吉川字半仙48	〃	山林	〃
29	上ノ山 I	〃	仙北郡協和町中淀川字千着上ノ山70	〃	水田・山林	〃
30	〃 II	〃	仙北郡協和町中淀川字千着上ノ山	〃	水田・山林	〃
31	石坂台 I	〃	河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台271他	〃	牧草地・山林	〃
32	〃 II	〃	河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台247他	〃	畑地	〃
33	〃 III	〃	河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台233他	〃	畑地・山林	〃
34	〃 IV	〃	河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台214他	〃	山林	〃
35	〃 V	〃	河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台	〃	畑地・山林	〃
36	〃 VI	〃	河辺郡河辺町戸島字石坂台	〃	畑地・山林	〃
37	松木台	〃	河辺郡河辺町松渕字松木台	〃	山林	〃

3. 東北横断自動車道 秋田線（横手市～秋田市間）の遺跡面積及び路線内の面積、発掘予定面積の大略

遺跡NO	遺跡面積	路線内の面積	発掘予定面積	遺跡NO	遺跡面積	路線内の面積	発掘予定面積
1	25.240㎡	7.520㎡	5.264㎡	20	21.320㎡	5.042㎡	3.529㎡
2	8.960㎡	6.530㎡	4.571㎡	21	12.360㎡	8.057㎡	5.640㎡
3	6.920㎡	4.600㎡	3.220㎡	22	4.560㎡	3.552㎡	2.486㎡
4	7.760㎡	3.712㎡	2.598㎡	23	11.600㎡	6.040㎡	4.228㎡
5	7.080㎡	5.184㎡	3.629㎡	24	5.040㎡	3.542㎡	2.479㎡
6	7.920㎡	6.418㎡	4.493㎡	25	32.920㎡	1.896㎡	1.327㎡
7	79.786㎡	12.786㎡	8.950㎡	26	12.080㎡	7.208㎡	5.046㎡
8	9.640㎡	6.707㎡	4.695㎡	27	12.520㎡	3.612㎡	2.528㎡
9	38.040㎡	~~[illegible]~~ 14.704㎡	10.293㎡	28	10.280㎡	6.852㎡	4.796㎡
10	28.800㎡	10.831㎡	7.582㎡	29	7.240㎡	4.000㎡	2.800㎡
11	32.320㎡	10.785㎡	7.550㎡	30	28.920㎡	12.040㎡	8.428㎡
12	26.600㎡	9.930㎡	6.951㎡	31	4.800㎡	3.574㎡	2.502㎡
13	22.080㎡	2.716㎡	1.901㎡	32	6.240㎡	2.372㎡	1.660㎡
14	12.680㎡	0㎡	0㎡	33	8.240㎡	3.996㎡	2.797㎡
15	28.840㎡	11.873㎡	8.311㎡	34	12.240㎡	6.149㎡	4.304㎡
16	11.880㎡	7.424㎡	5.197㎡	35	20.280㎡	10.336㎡	7.235㎡
17	6.560㎡	3.991㎡	2.794㎡	36	10.200㎡	5.500㎡	3.850㎡
18	9.960㎡	5.387㎡	3.771㎡	37	8.800㎡	5.629㎡	3.940㎡
19	9.840㎡	368㎡	258㎡	合計	~~[illegible]~~ 610.546㎡	230.863㎡	161.604㎡

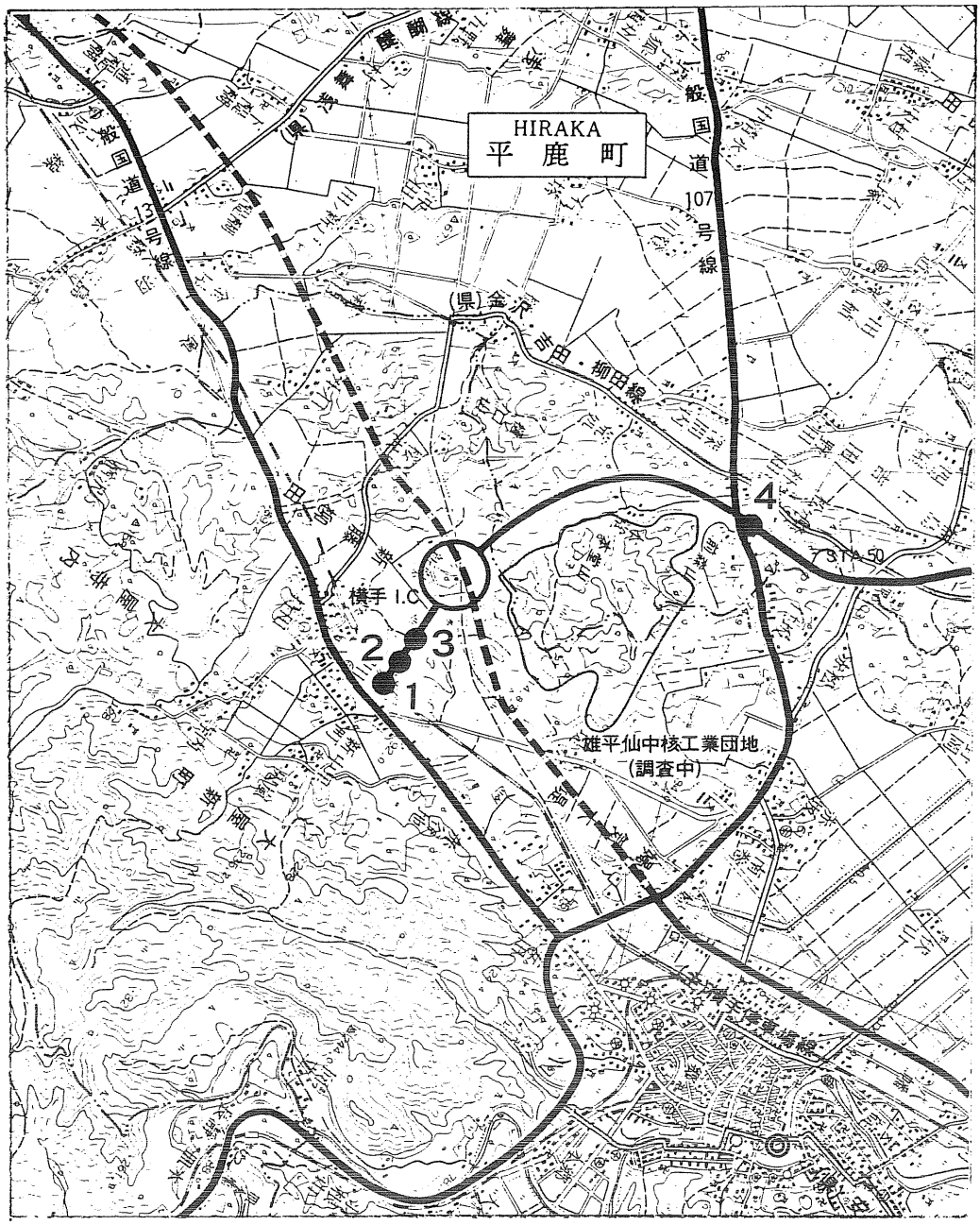
遺跡No.	遺跡名	種別
1	小松原	遺物包含
2	柳田 I	〃
3	〃 II	〃
4	朴田館	館跡
5	中山 I	遺物包含
6	〃 II	〃
7	竹原	窯跡
8	上猪岡	遺物包含
9	手取清水	〃
10	下田	〃
11	下田谷地	〃
12	九十九沢窯跡	〃
13	太田	〃
14	大関	〃
15	石神	館跡
16	大畑沢 II	遺物包含
17	〃 III	〃
18	小出 I	〃
19	〃 II	〃
20	〃 III	〃
21	〃 IV	〃
22	小沢	〃
23	堤沢 I	遺物包含
24	〃 II	〃
25	上野台	〃
26	寺沢	遺物包含
27	大巻野	〃
28	半仙	〃
29	上ノ山 I	〃
30	〃 II	〃
31	石坂台 I	〃
32	〃 II	〃
33	〃 III	〃
34	〃 IV	〃
35	〃 V	〃
36	〃 VI	〃
37	松木台	〃

① 遺跡と路線内の面積は道路公団 1/2000 地形図から算定、発掘予定面積＝路線内の面積×0.7と従来からの文化課の方式にならった。

② 1遺跡の平均面積　16.488㎡

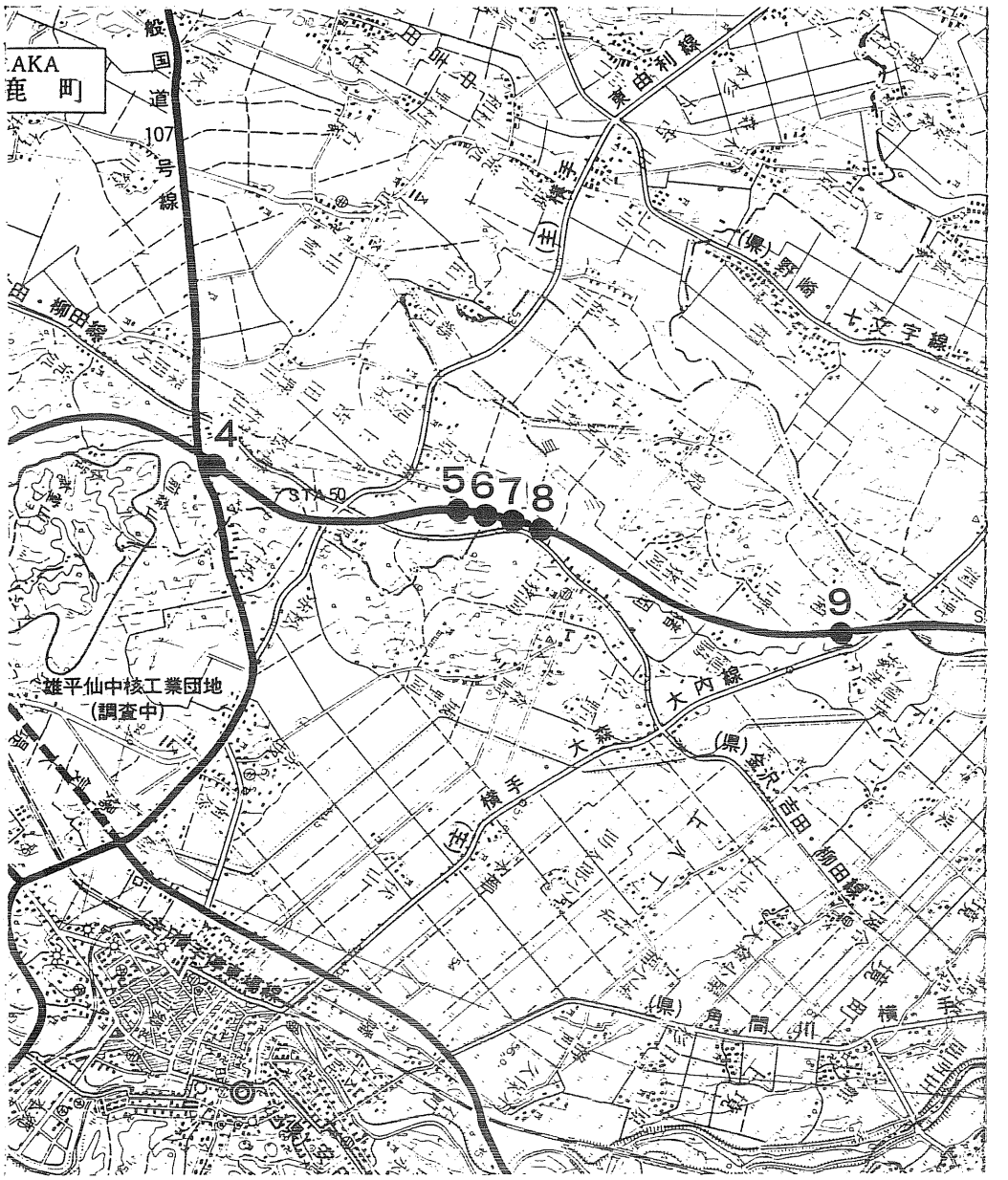
③ 1遺跡の平均路線内の面積　6.240㎡

④ 1遺跡の平均発掘予定面積　4.368㎡



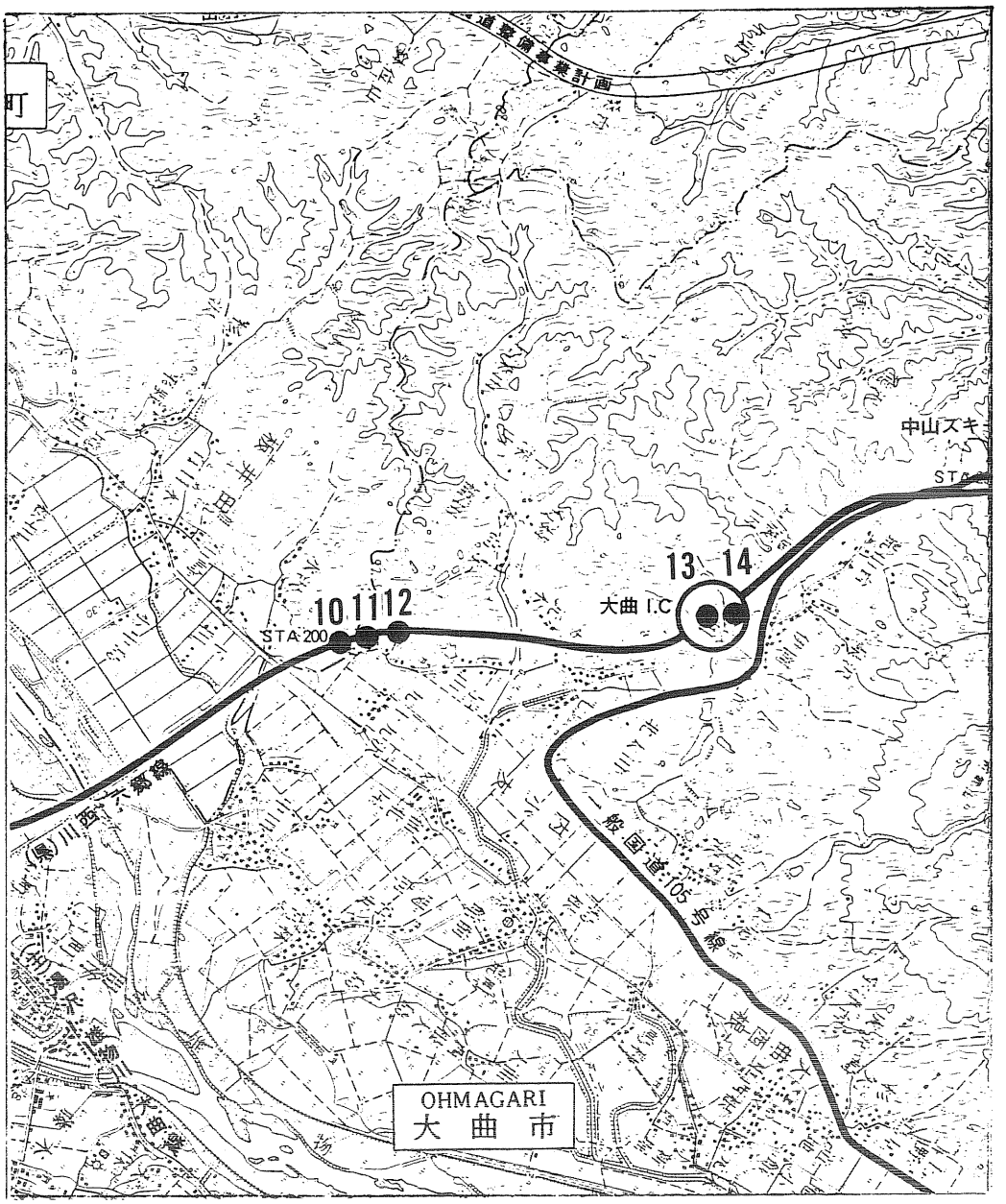
遺跡No.	遺跡名	時代
1	小松原	縄文
2	柳田 I	〃
3	〃 II	〃
4	朴田館	中世

第1図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市・平鹿町）



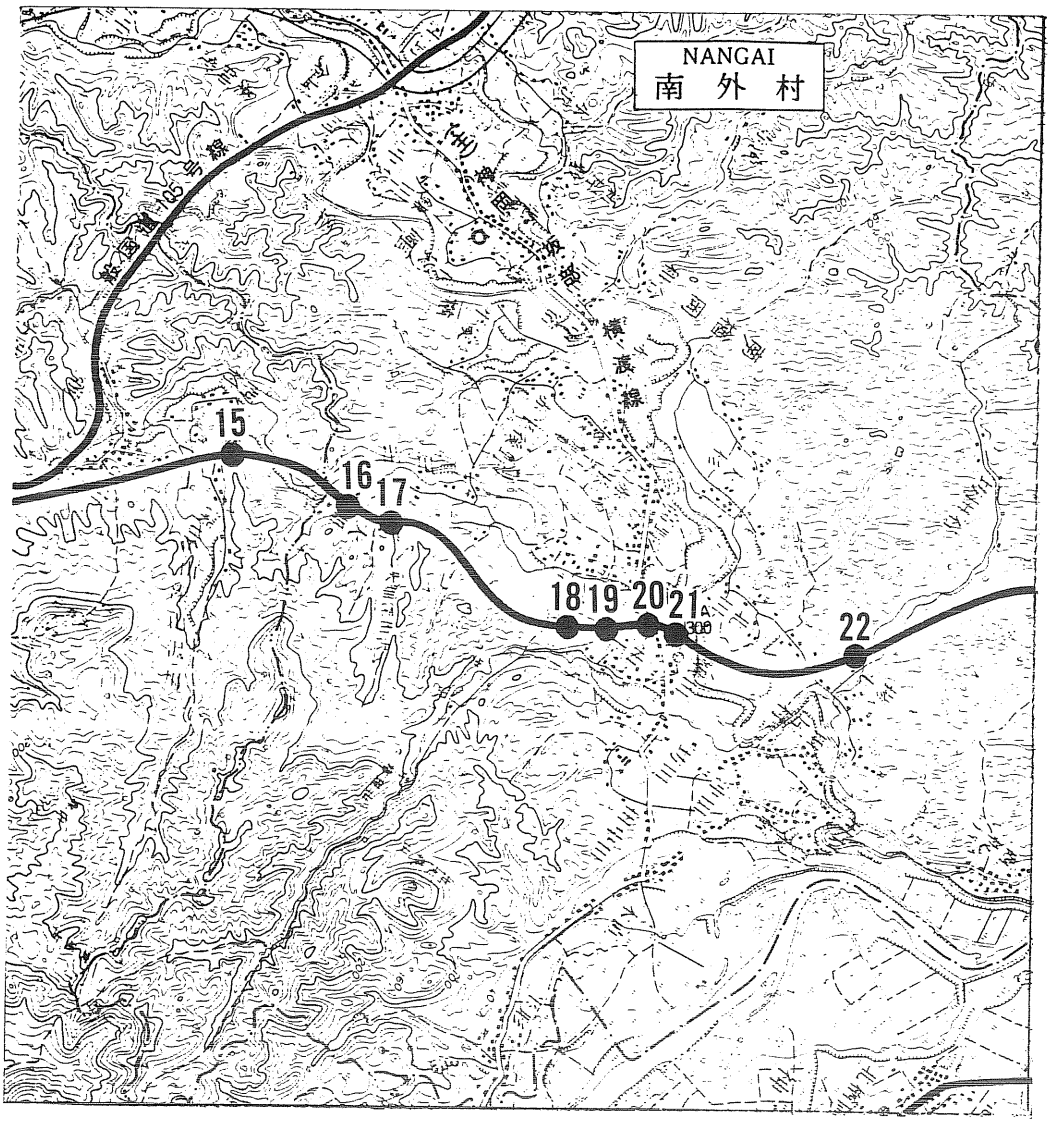
遺 跡 No.	遺 跡 名	時 代
4	朴 田 館	中 世
5	中 山 I	近 世
6	〃 II	平 安
7	竹 原	縄文、奈良～平安
8	上 猪 岡	奈 良 ～ 平 安
9	手 取 清 水	縄 文 、 弥 生

第2図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（平鹿町・横手市）



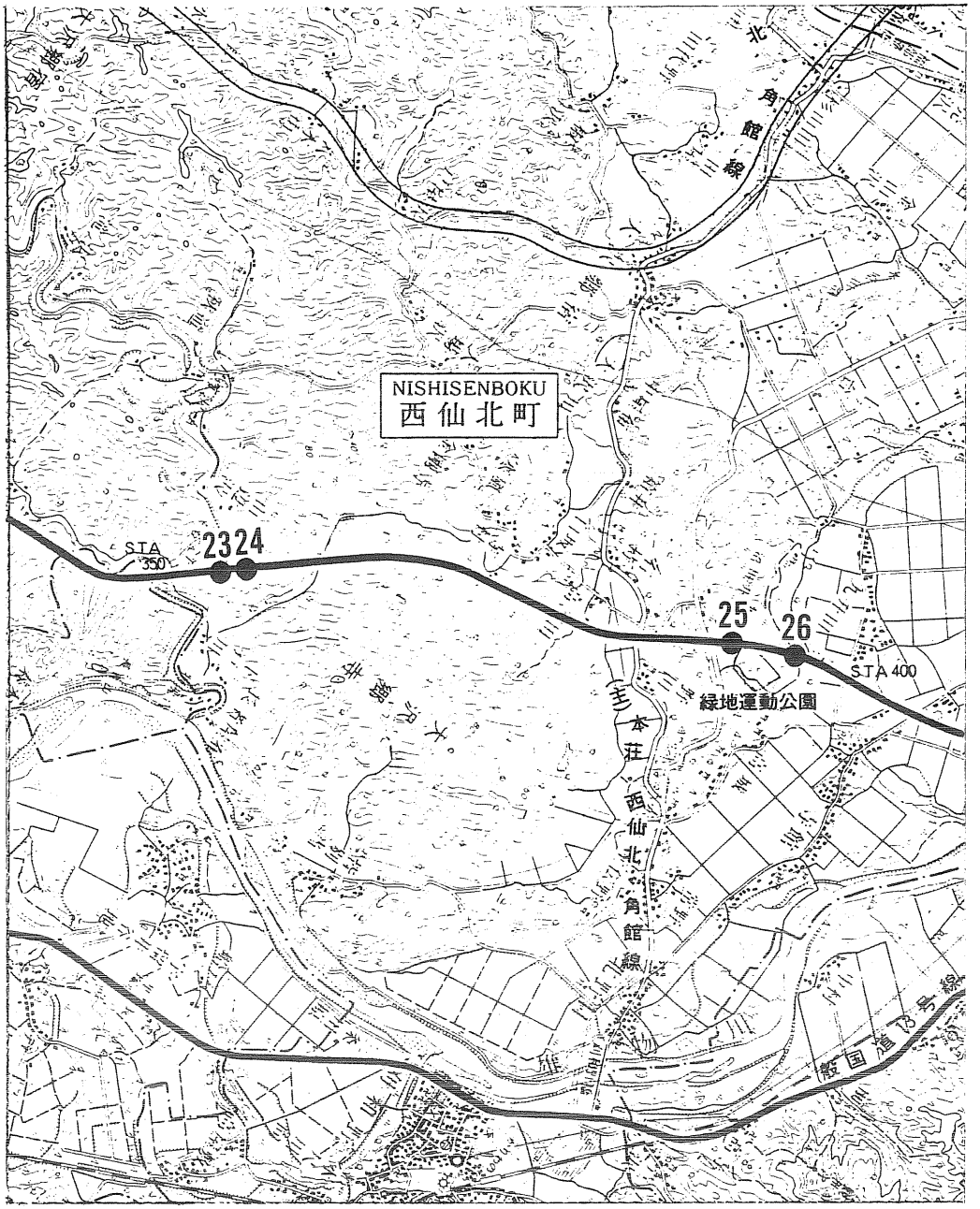
遺跡No.	遺跡名	時代
10	下田	縄文、平安
11	下田谷地	〃、〃
12	九十九沢窯跡	平安
13	太田	縄文
14	大関	〃

第3図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大森町・大曲市）



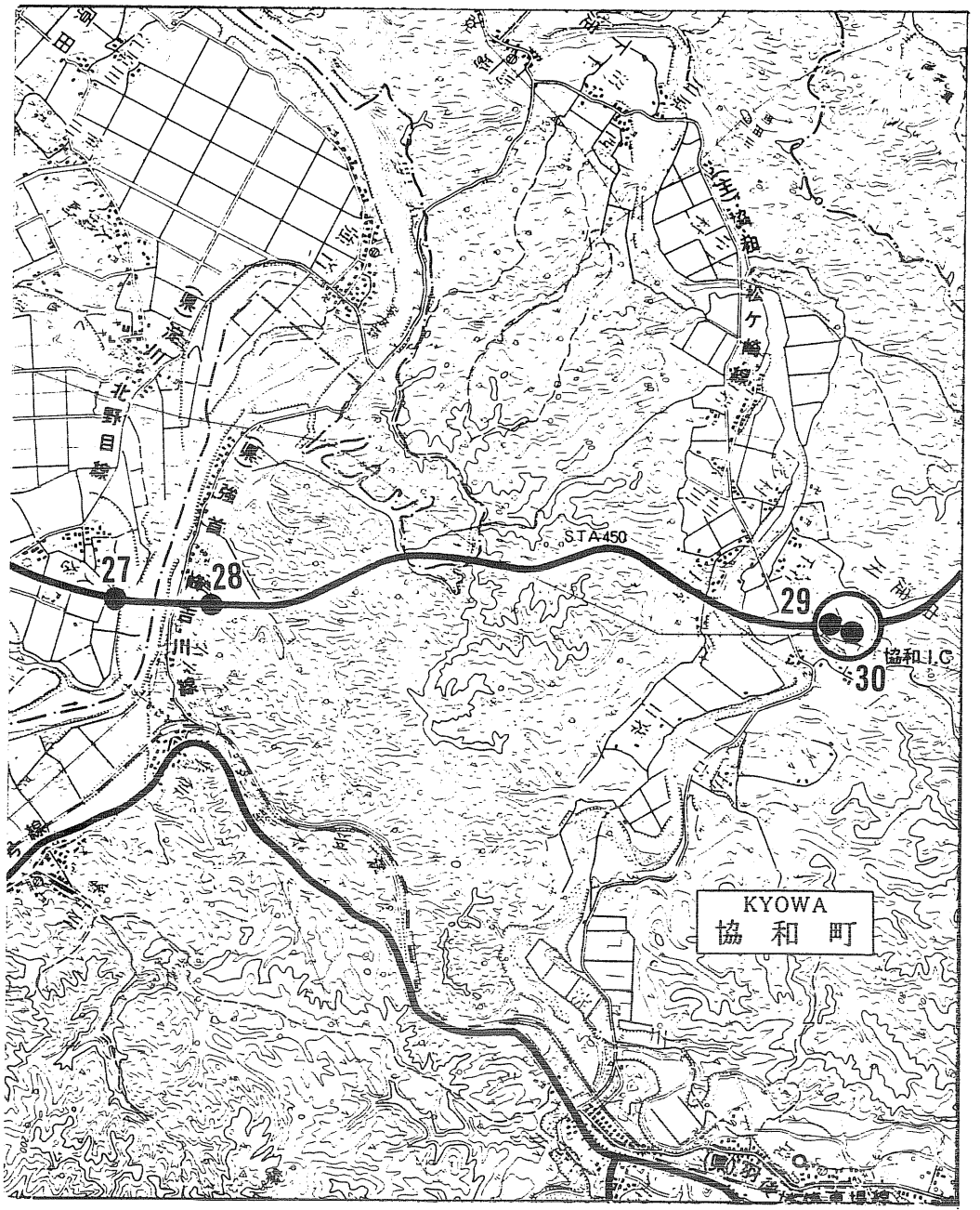
遺跡No.	遺跡名	時代
15	石神	中世
16	大畑潜沢 II	縄文
17	〃 III	〃
18	小出 I	〃
19	〃 II	〃
20	〃 III	〃
21	〃 IV	〃
22	小沢	

第4図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大曲市・南外村）



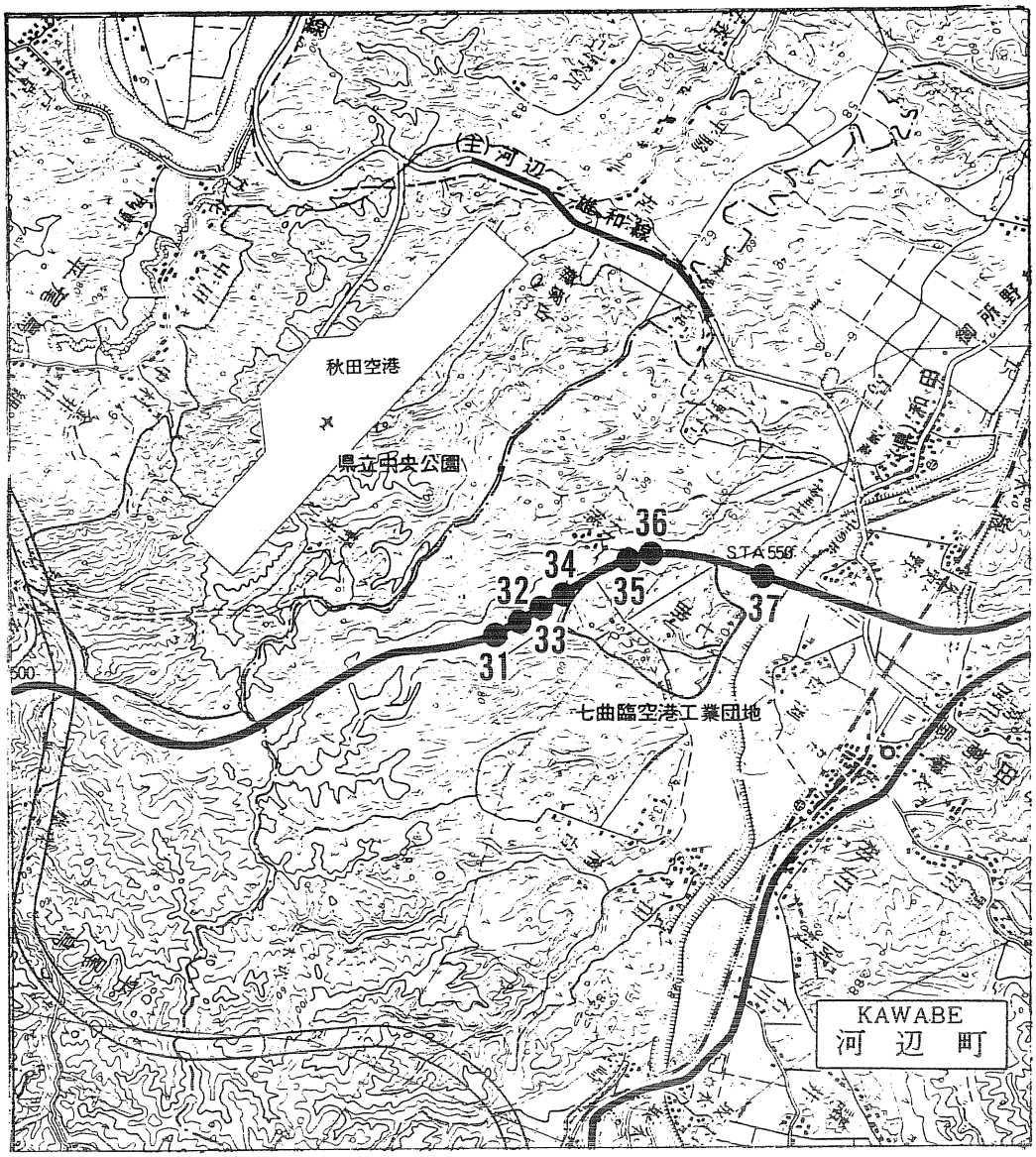
遺跡No.	遺跡名	時代
23	堤沢 I	縄文
24	〃 II	〃
25	上野台	
26	寺沢	縄文

第5図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町）



遺跡No.	遺跡名	時代
27	大巻野	縄文
28	半仙	〃
29	上ノ山 I	〃
30	〃 II	〃

第6図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町・協和町）

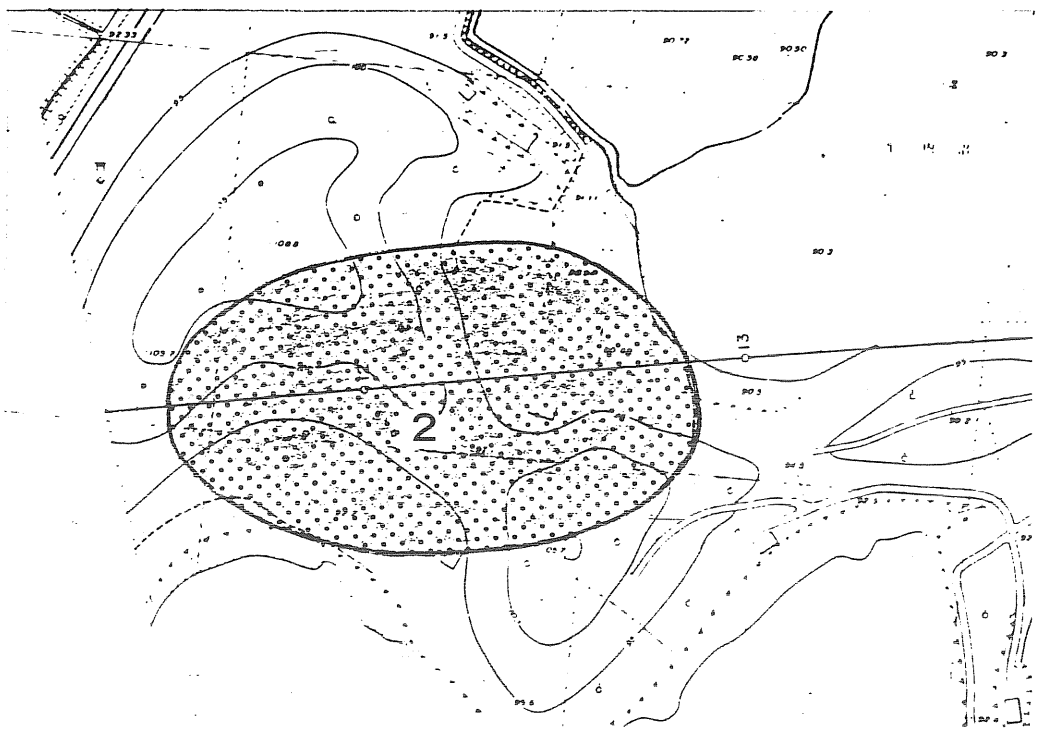


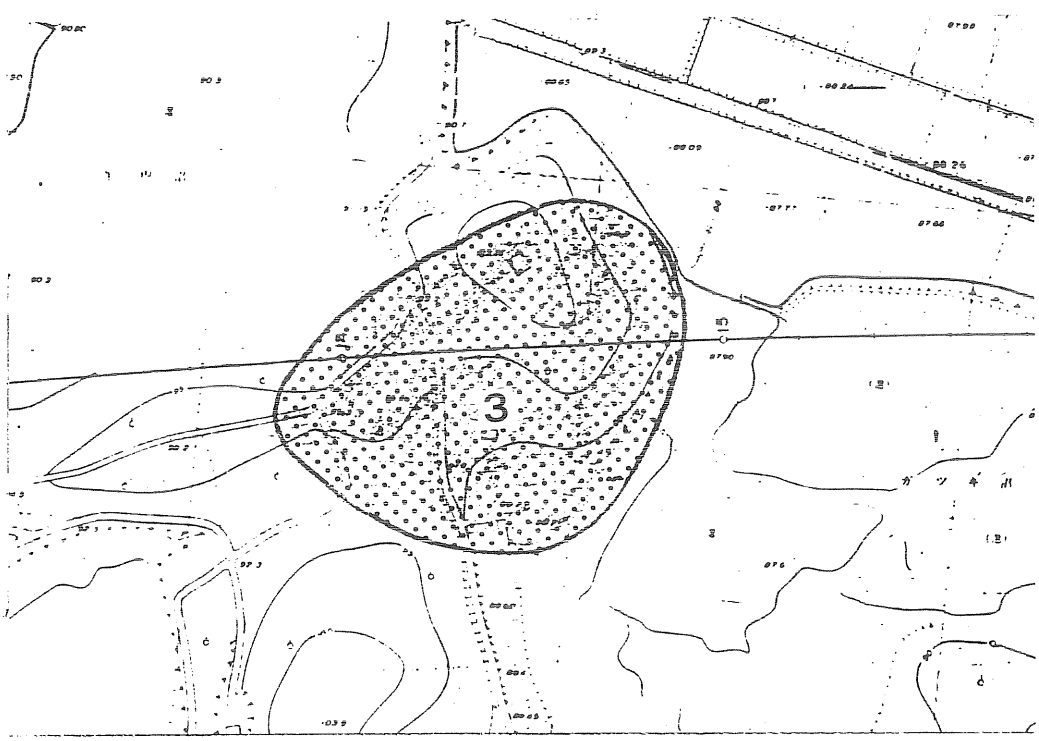
遺跡No.	遺跡名	時代
31	石坂台 I	縄文
32	〃 II	〃
33	〃 III	〃
34	〃 IV	〃
35	〃 V	〃
36	〃 VI	〃
37	松木台	〃

第7図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）

No.1　小松原遺跡

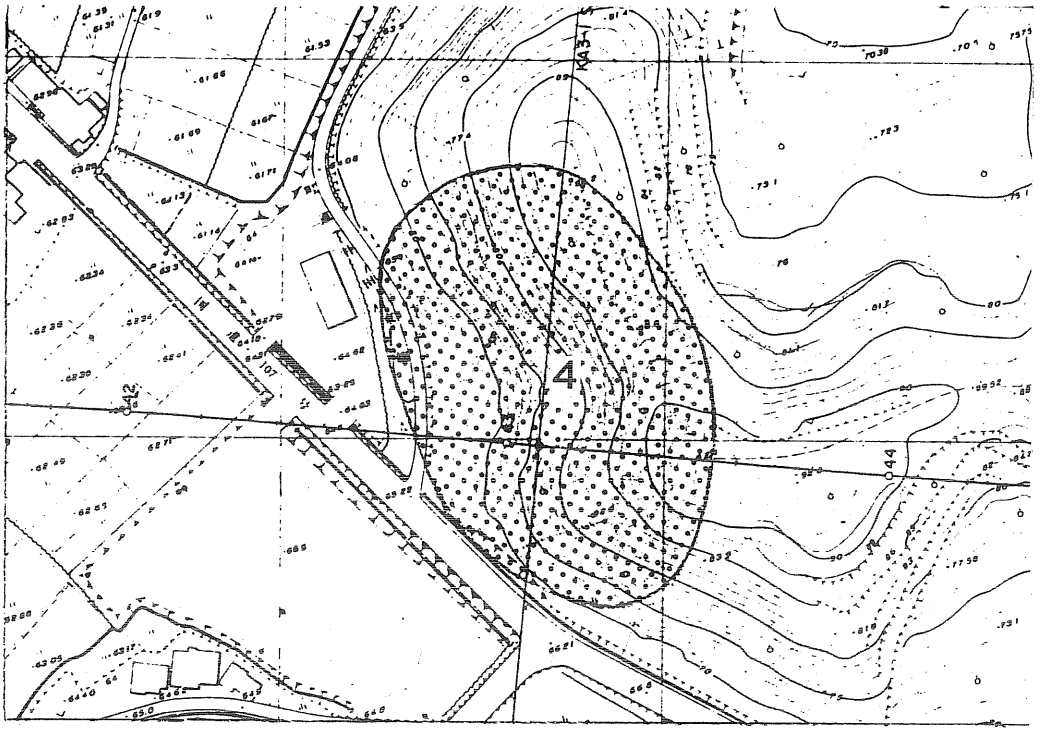
第8図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市）

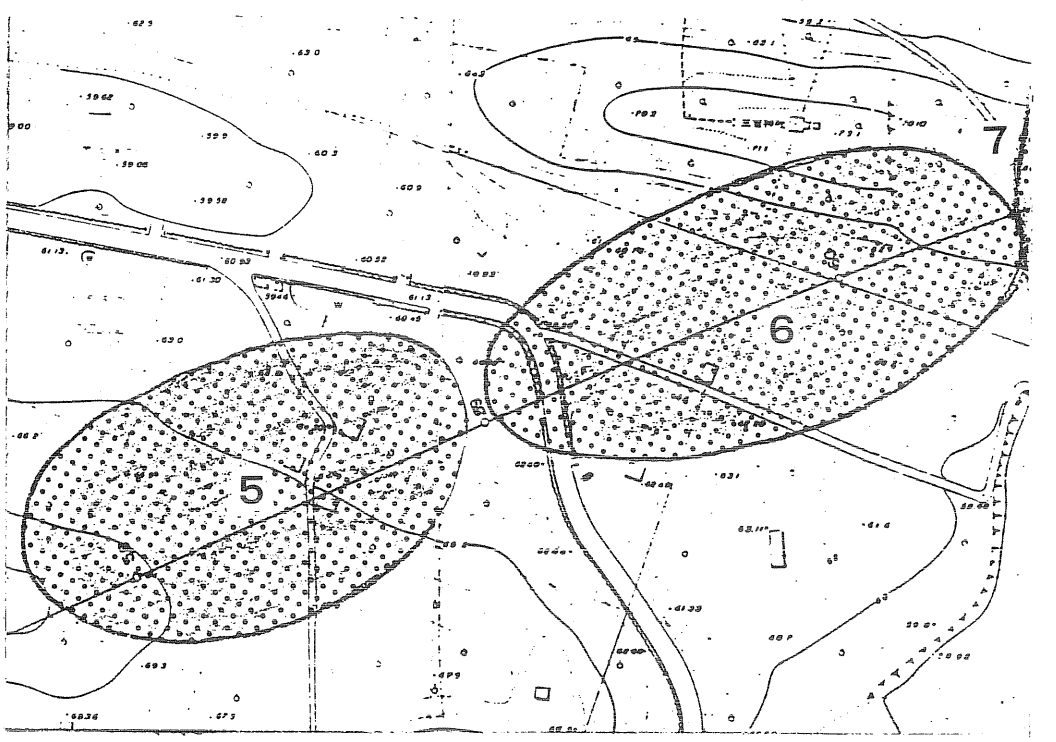




No. 2　柳田Ⅰ遺跡　　No. 3　柳田Ⅱ遺跡

第９図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市）



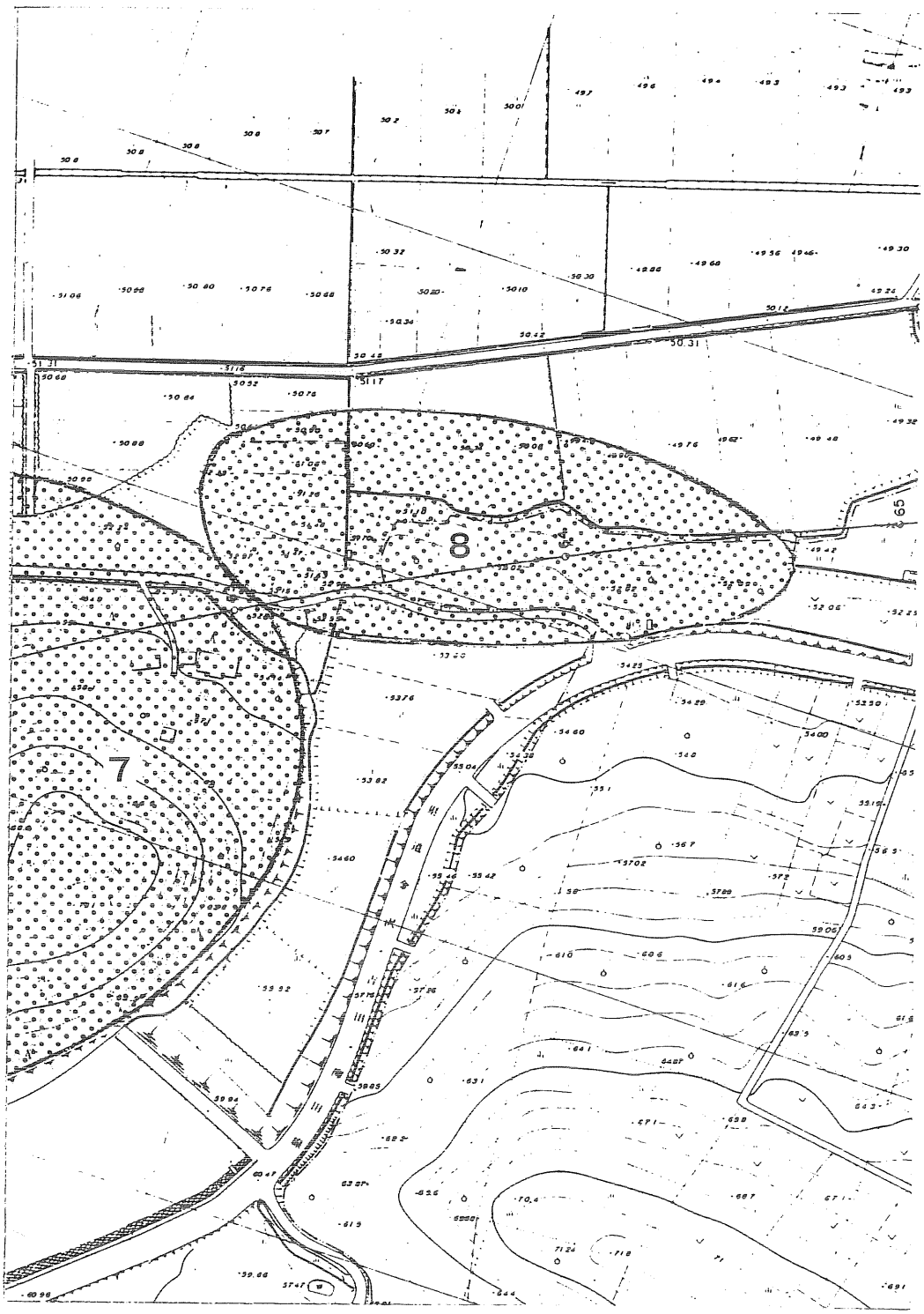


No.4　朴田館遺跡　　No.5　中山Ⅰ遺跡　　No.6　中山Ⅱ遺跡

第10図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市・平鹿町）

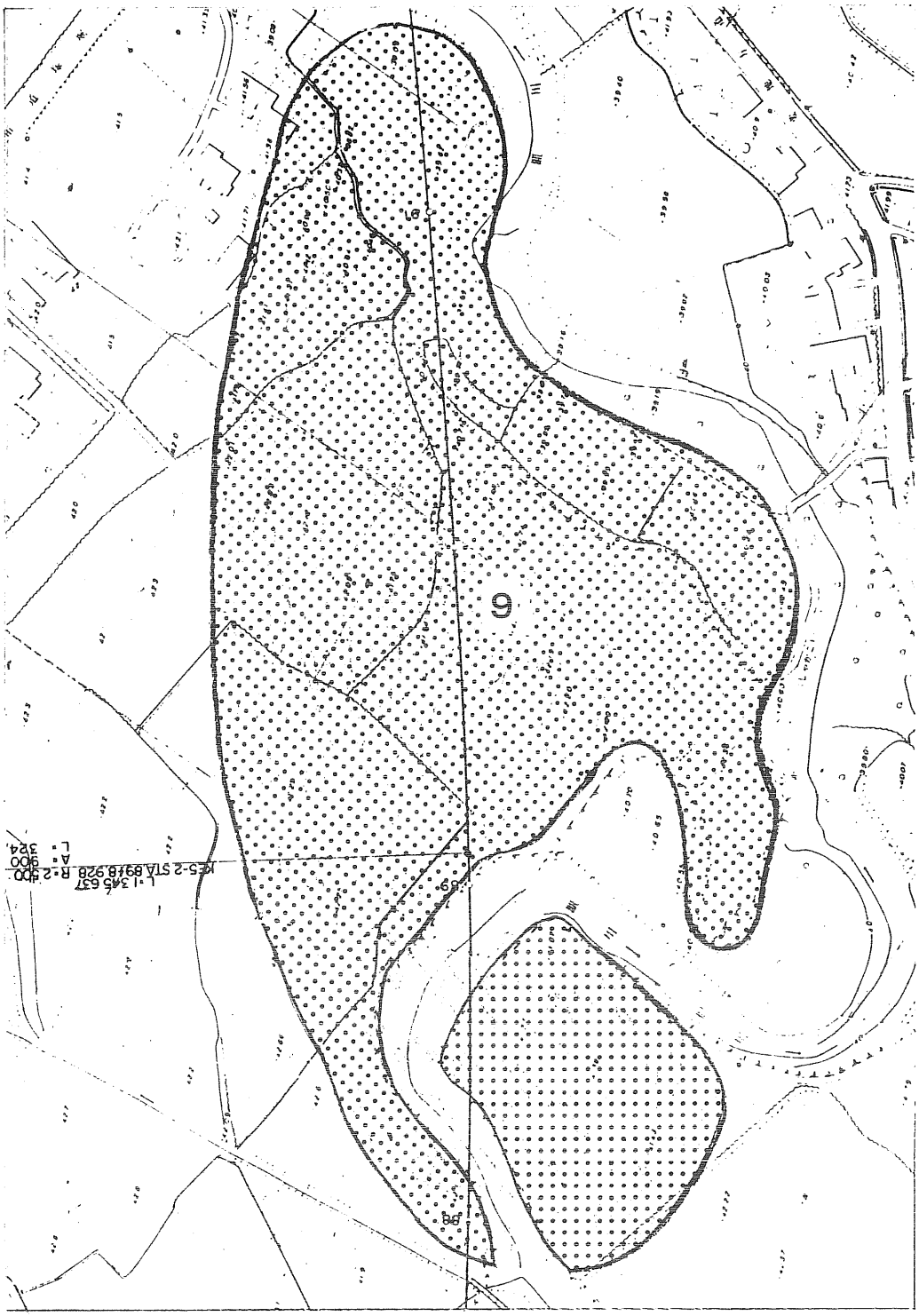
No.7　竹原遺跡　　No.8　上猪岡遺跡

第11図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（平鹿町・横手市）



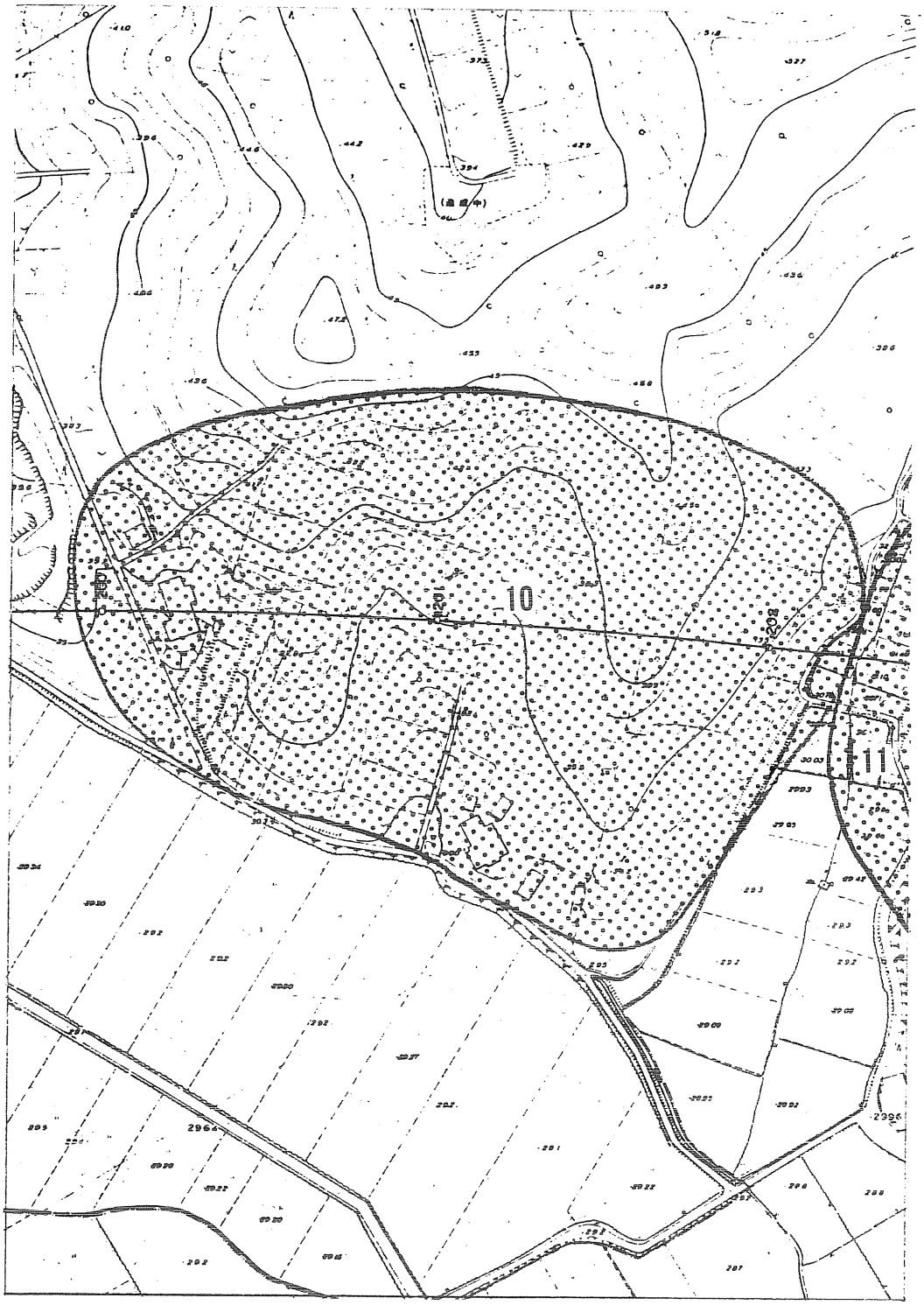
No.7　竹原遺跡　　No.8　上猪岡遺跡

第12図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（平鹿町・横手市）



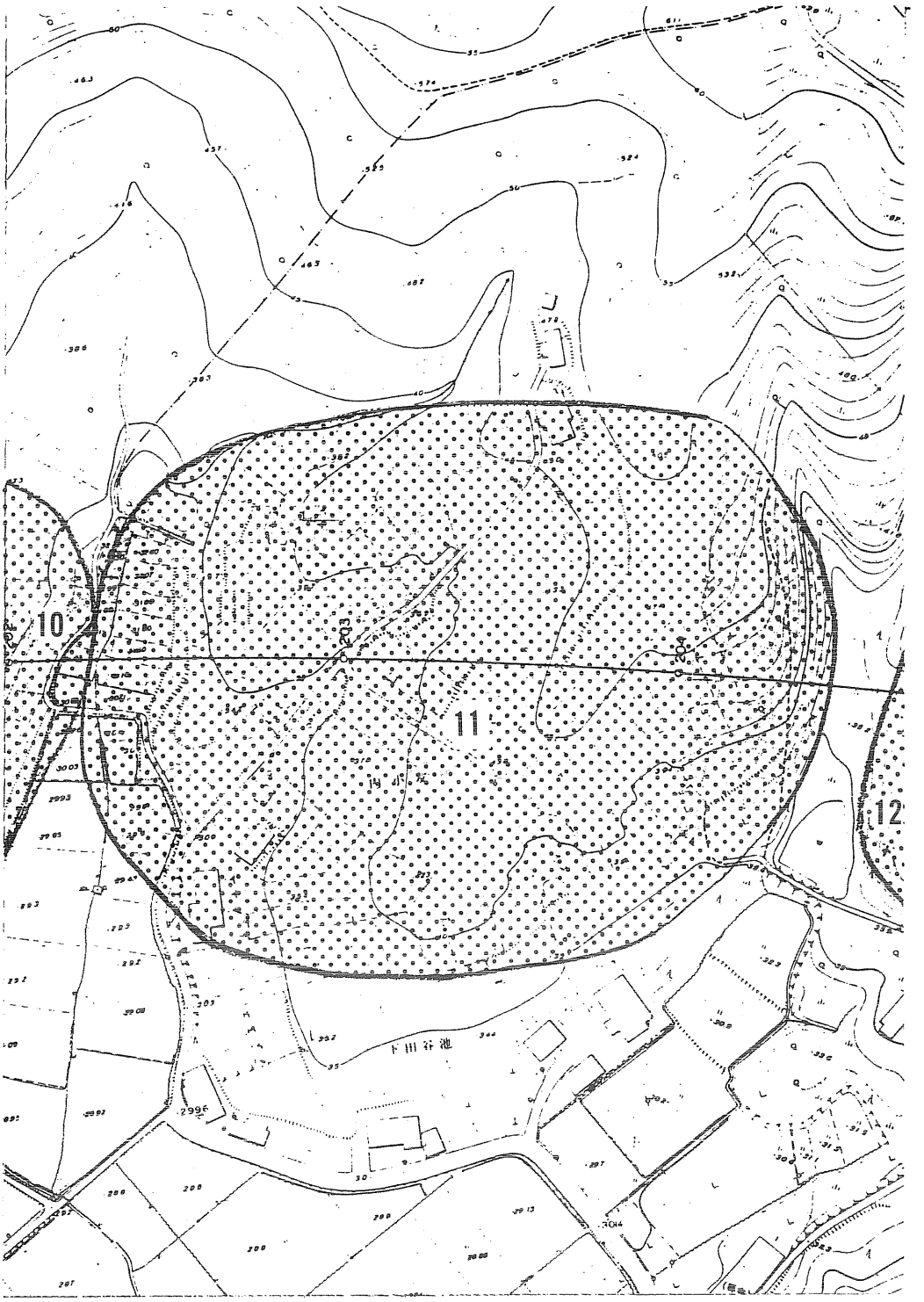
No.9 手取清水遺跡

第13図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（横手市）



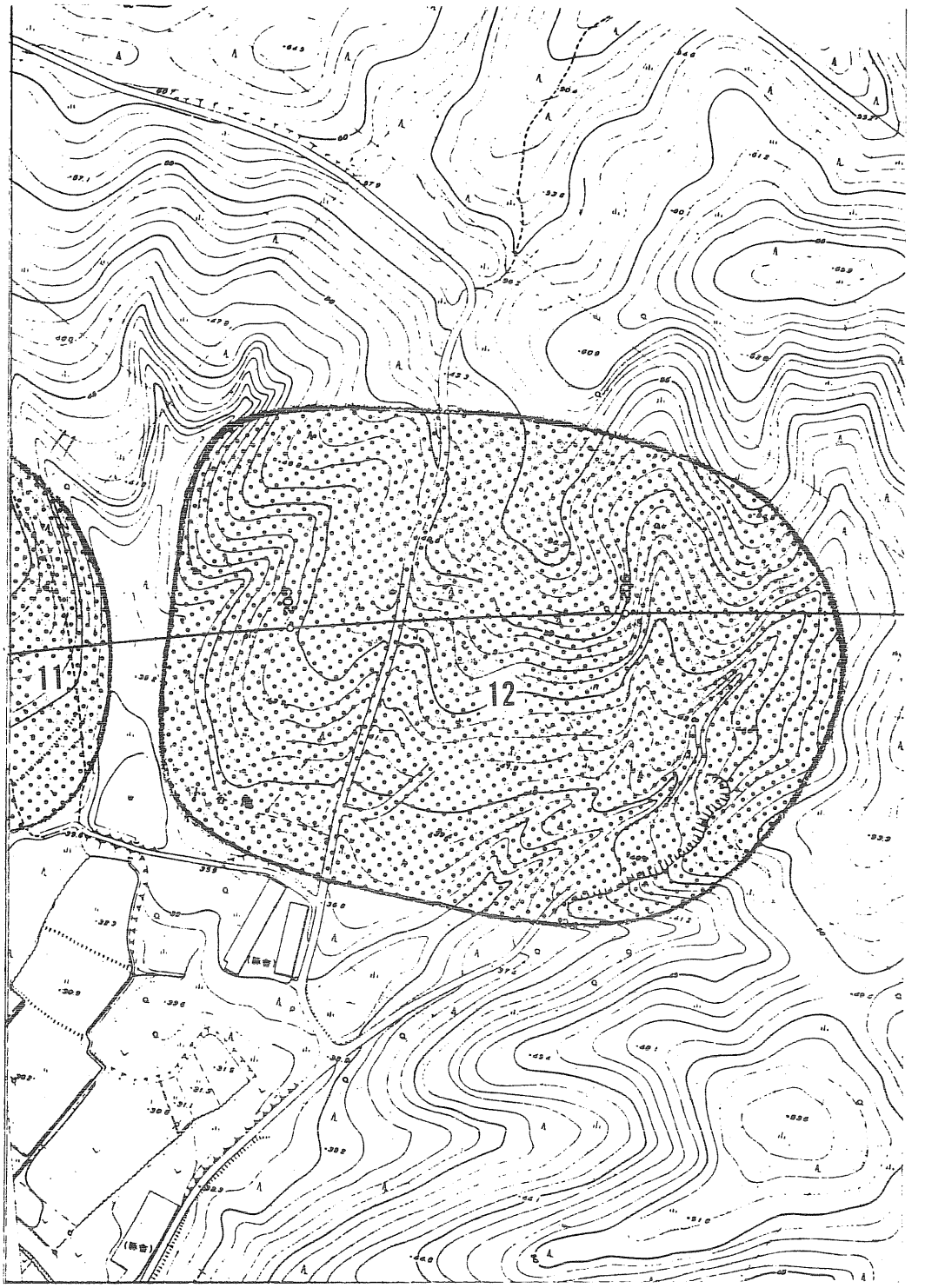
No.10 下田遺跡　　No.11 下田谷地遺跡

第14図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大森町・大曲市）



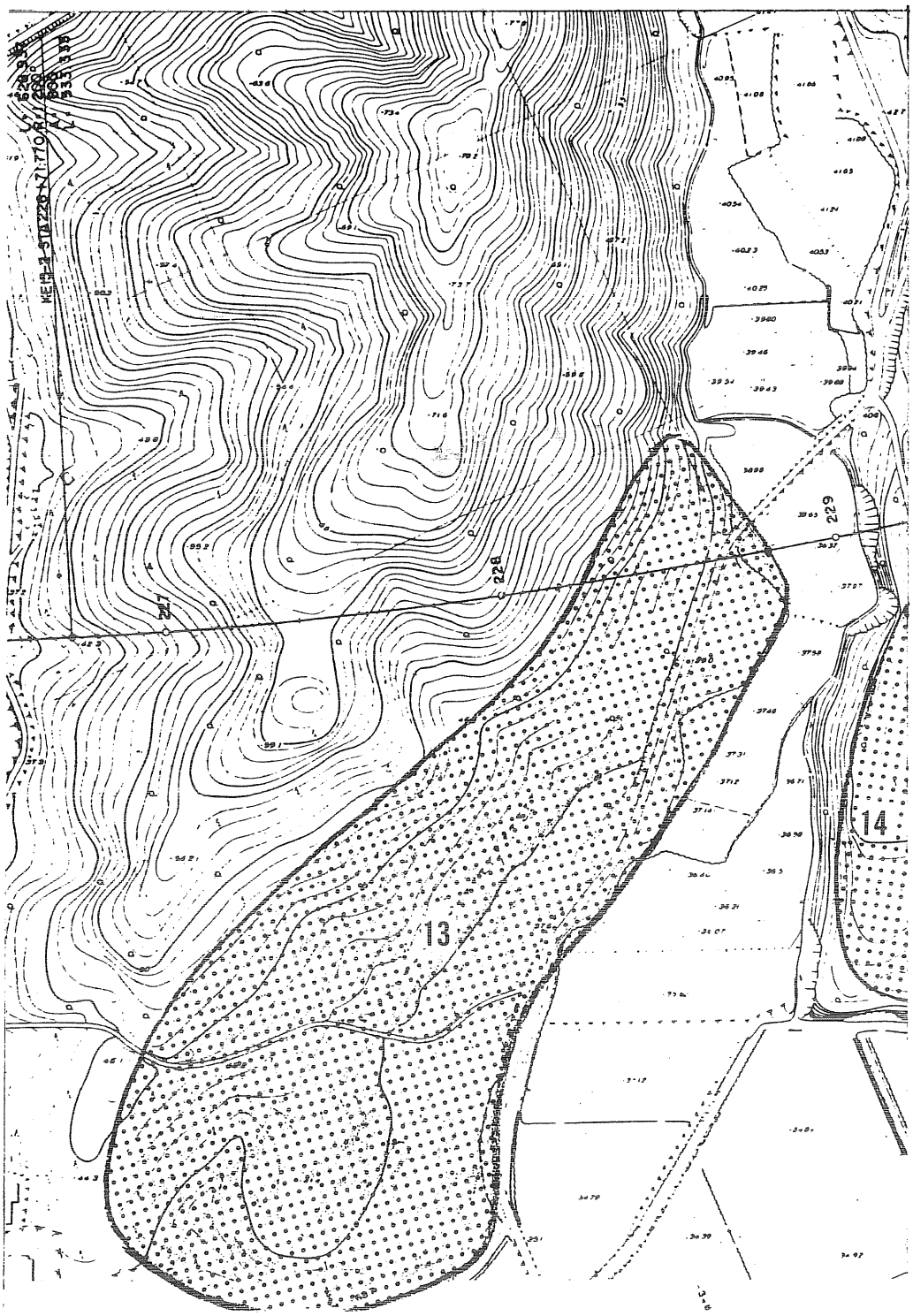
No.10 下田遺跡　No.11 下田谷地遺跡　No.12 九十九沢遺跡

第15図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大森町・大曲市）



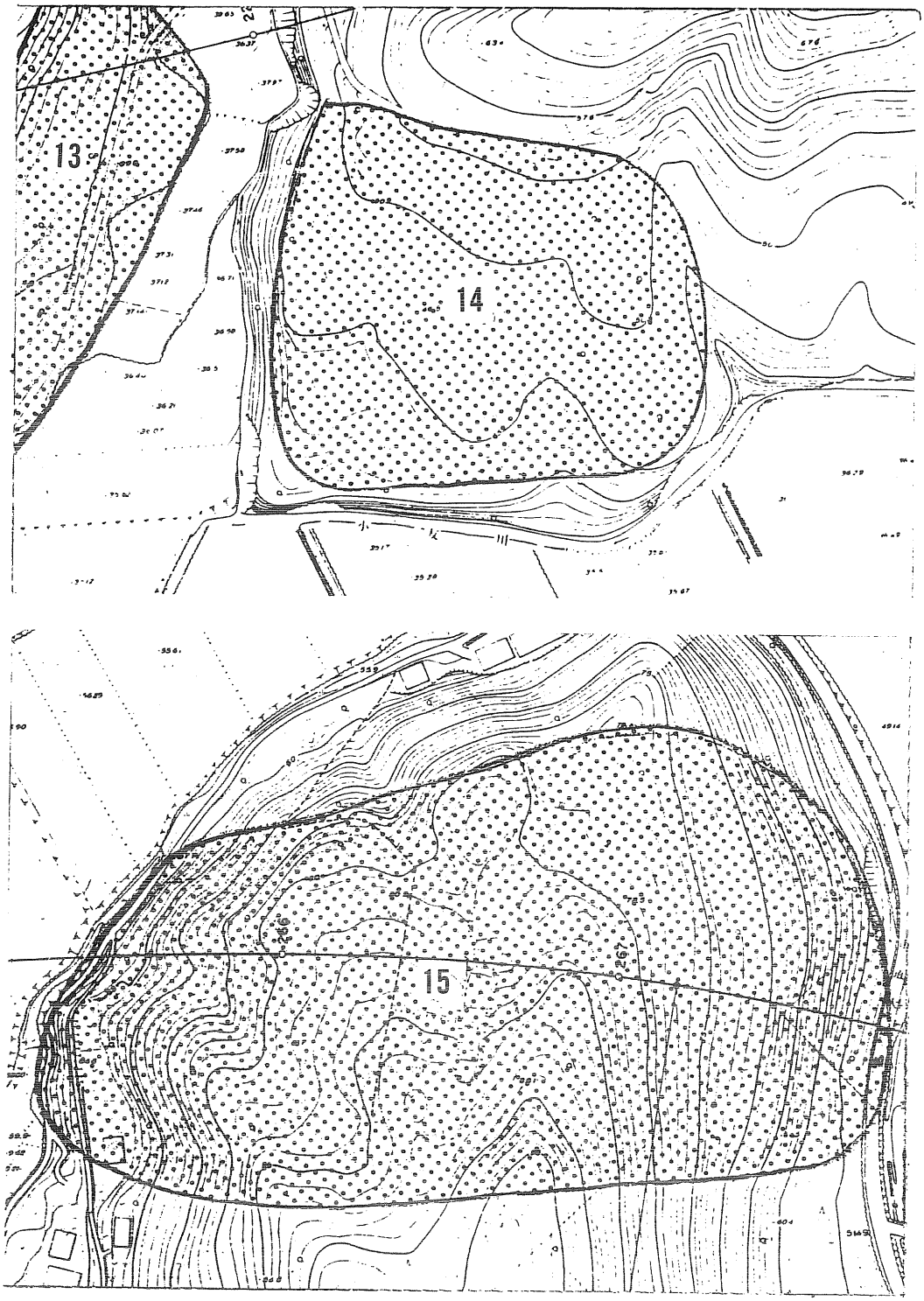
No.11 下田谷地遺跡　　No.12 九十九沢遺跡

第16図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大曲市）



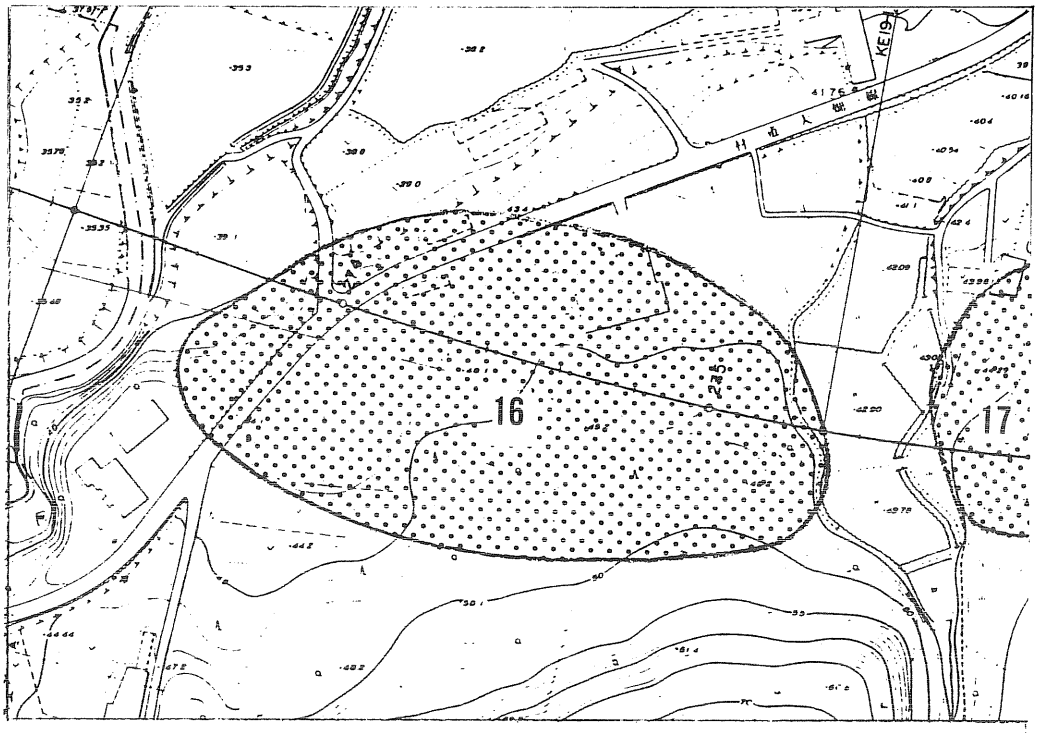
No.13 太田遺跡　　No.14

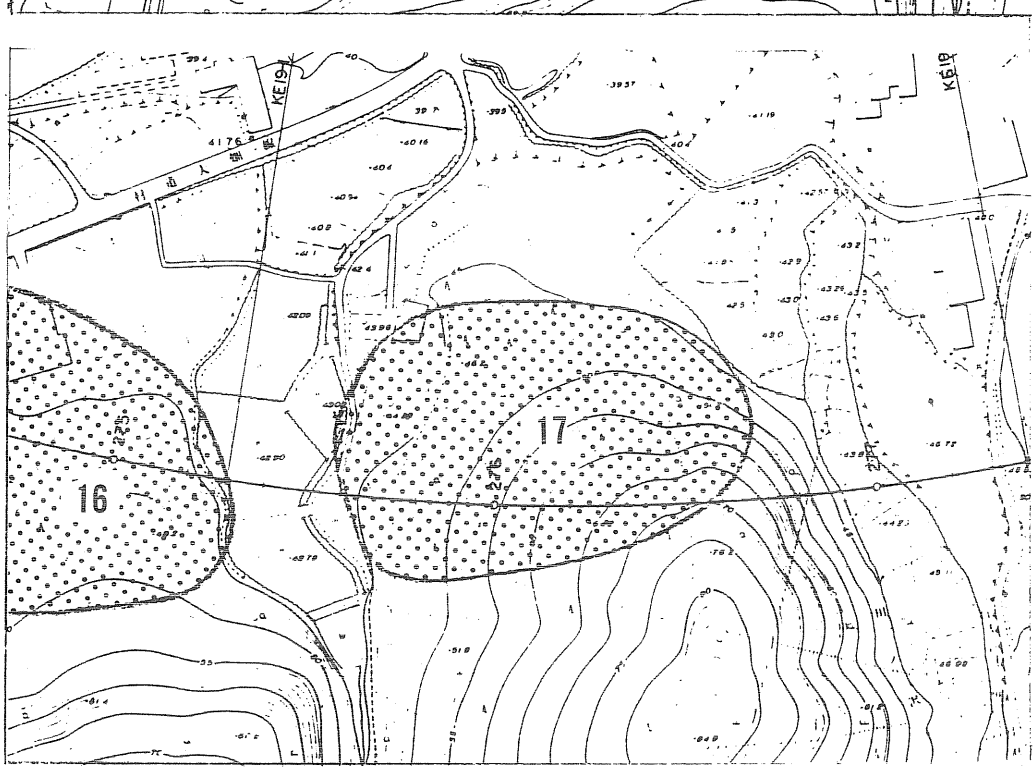
第17図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大曲市）



No.13 太田遺跡　No.14　　No.15 石神遺跡

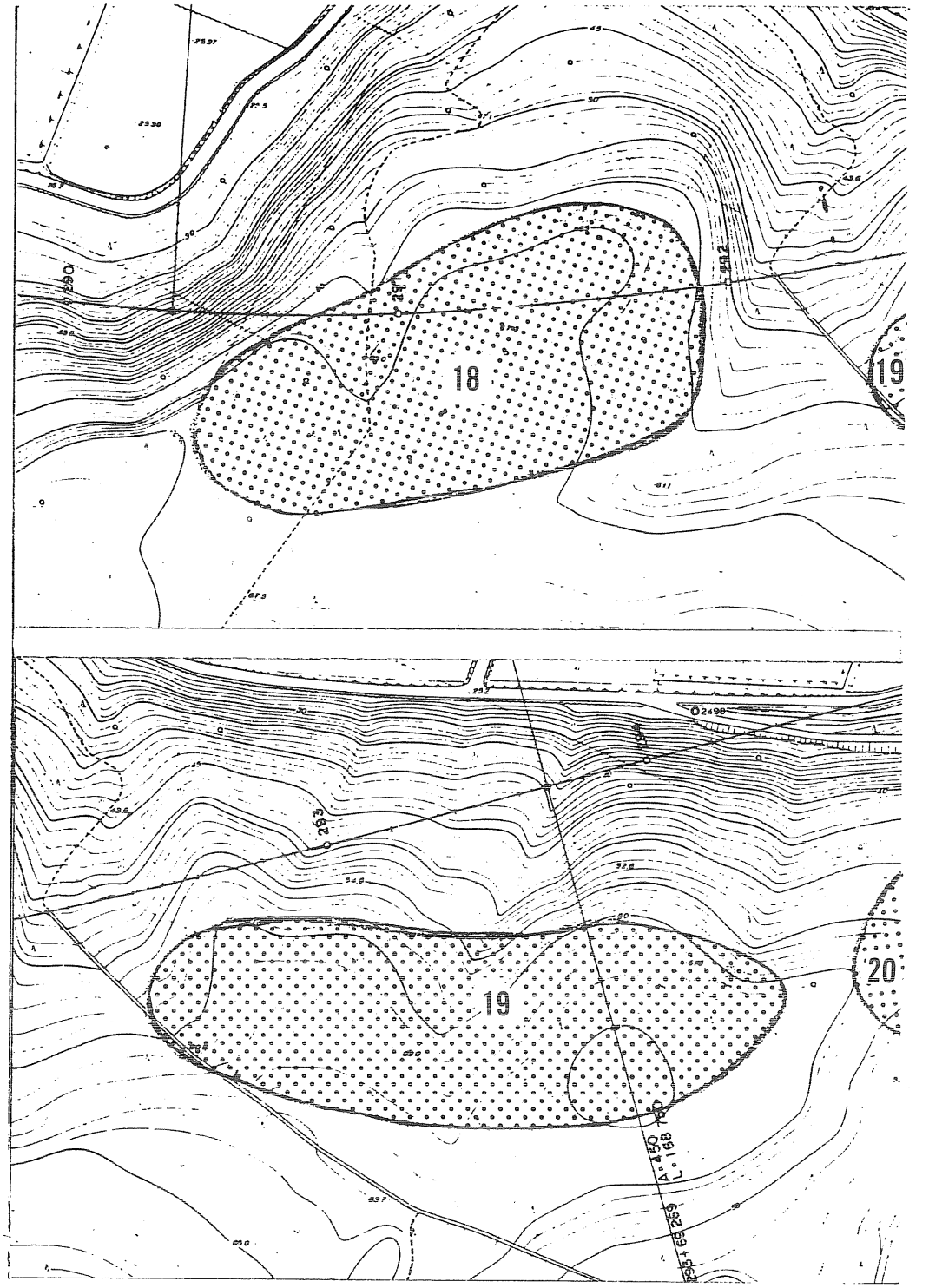
第18図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（大曲市）





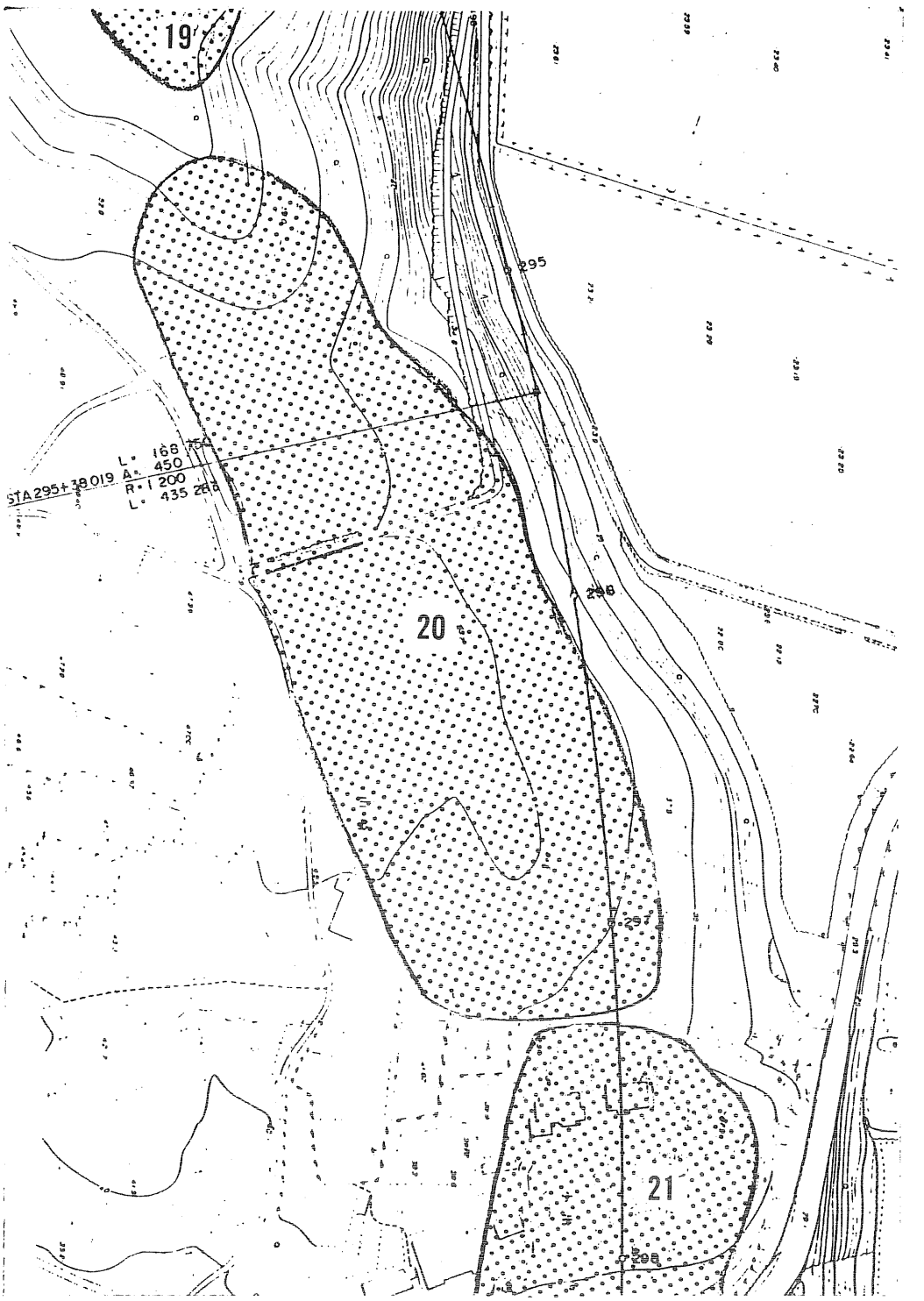
No.16 大畑潜沢Ⅱ遺跡　　No.17 大畑潜沢Ⅲ遺跡

第19図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（南外村）



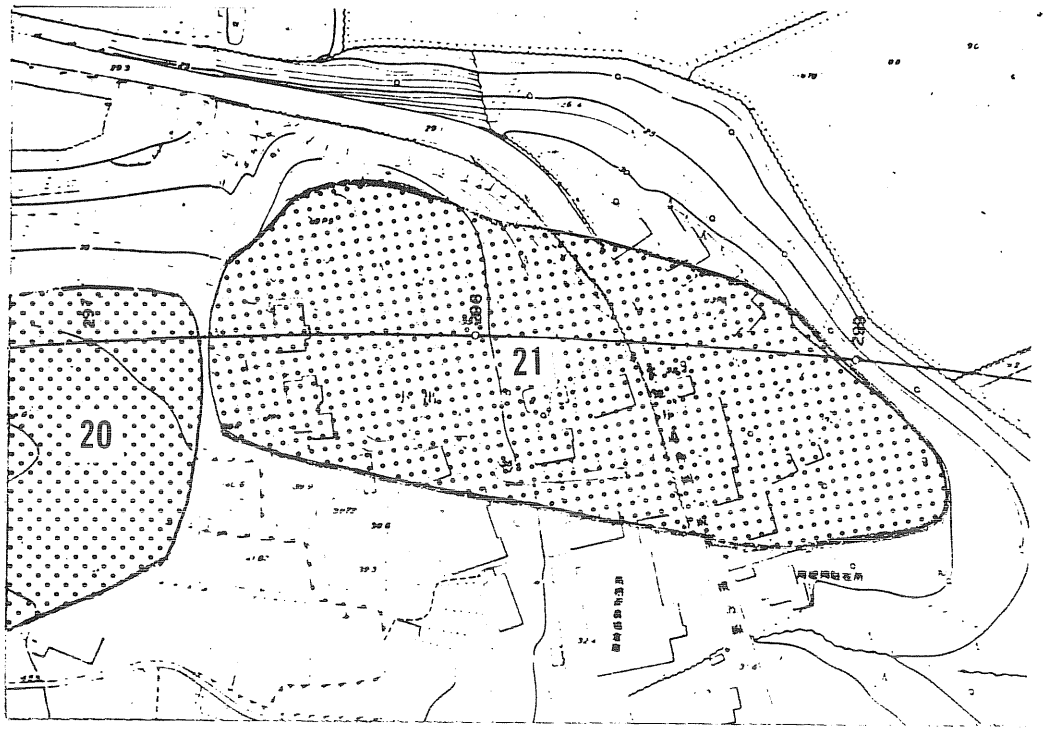
No.18 小出Ⅰ遺跡　No.19 小出Ⅱ遺跡　No.20 小出Ⅲ遺跡

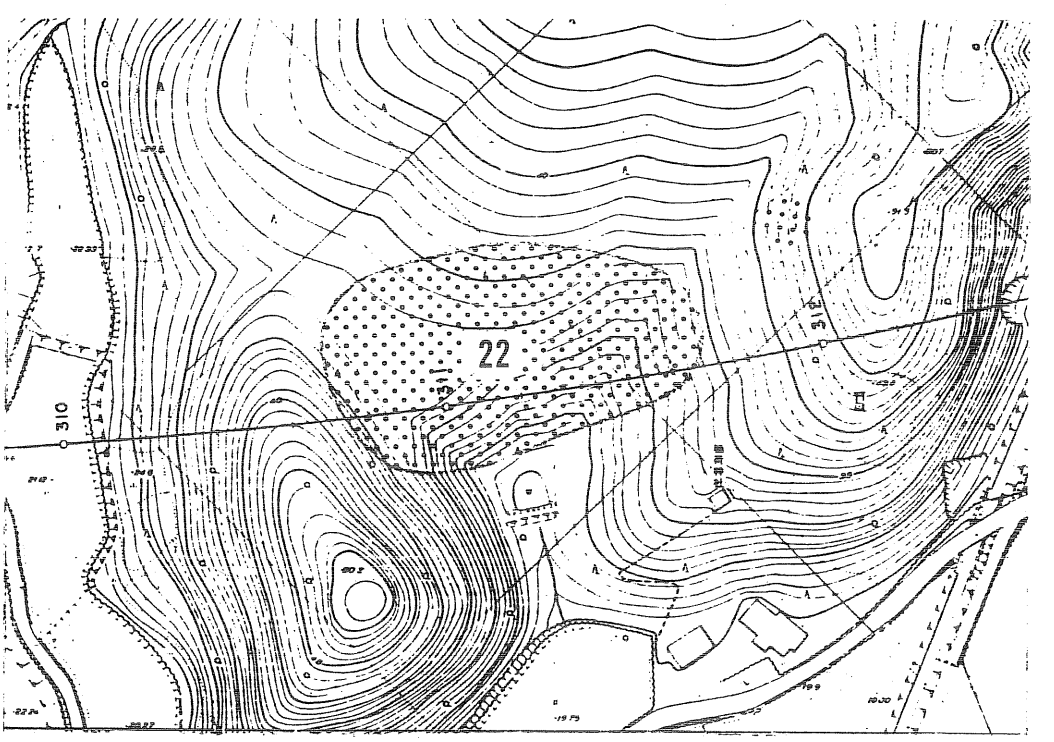
第20図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（南外村）



No.19 小出II遺跡　No.20 小出III遺跡　No.21 小出IV遺跡

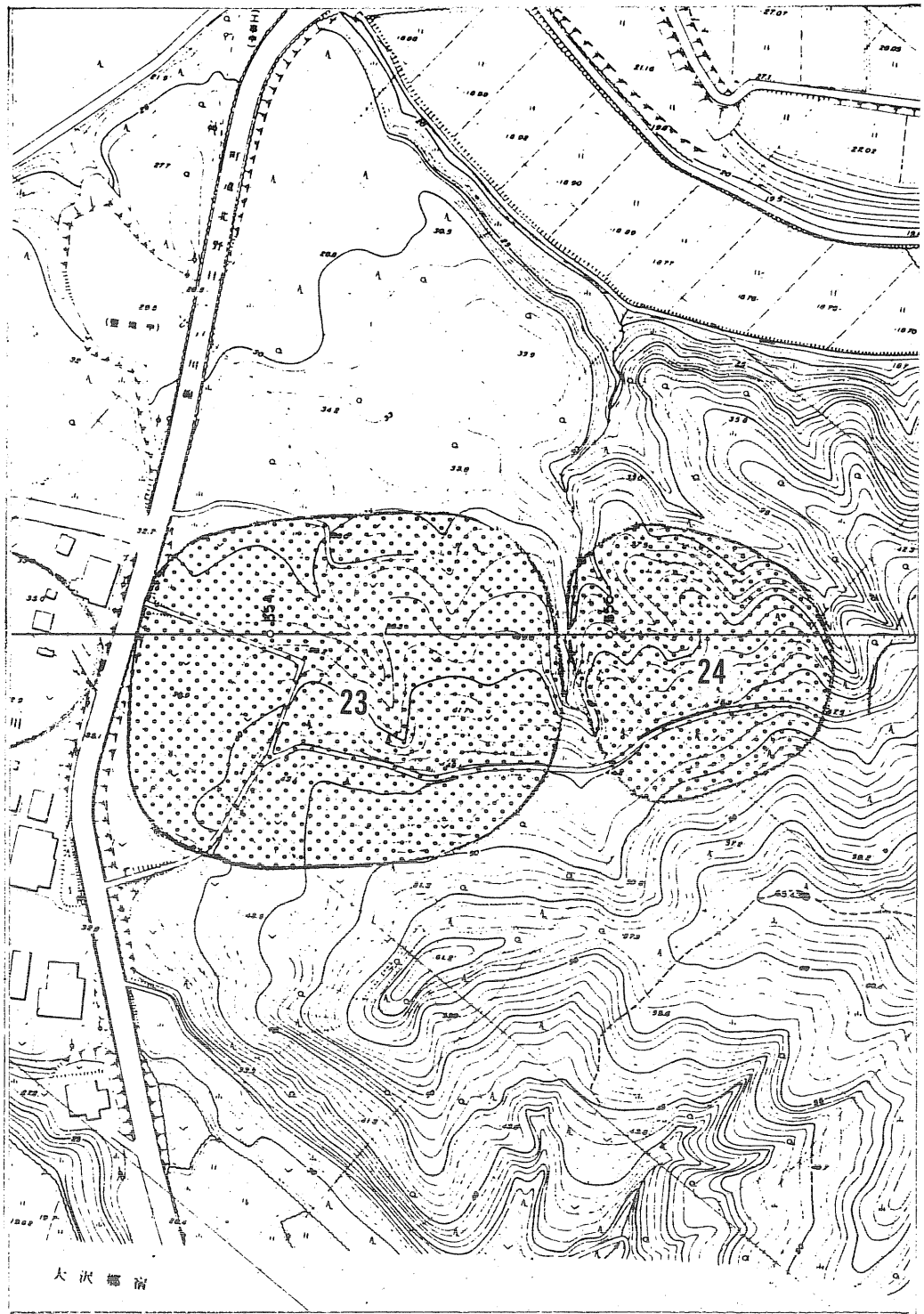
第21図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（南外村）





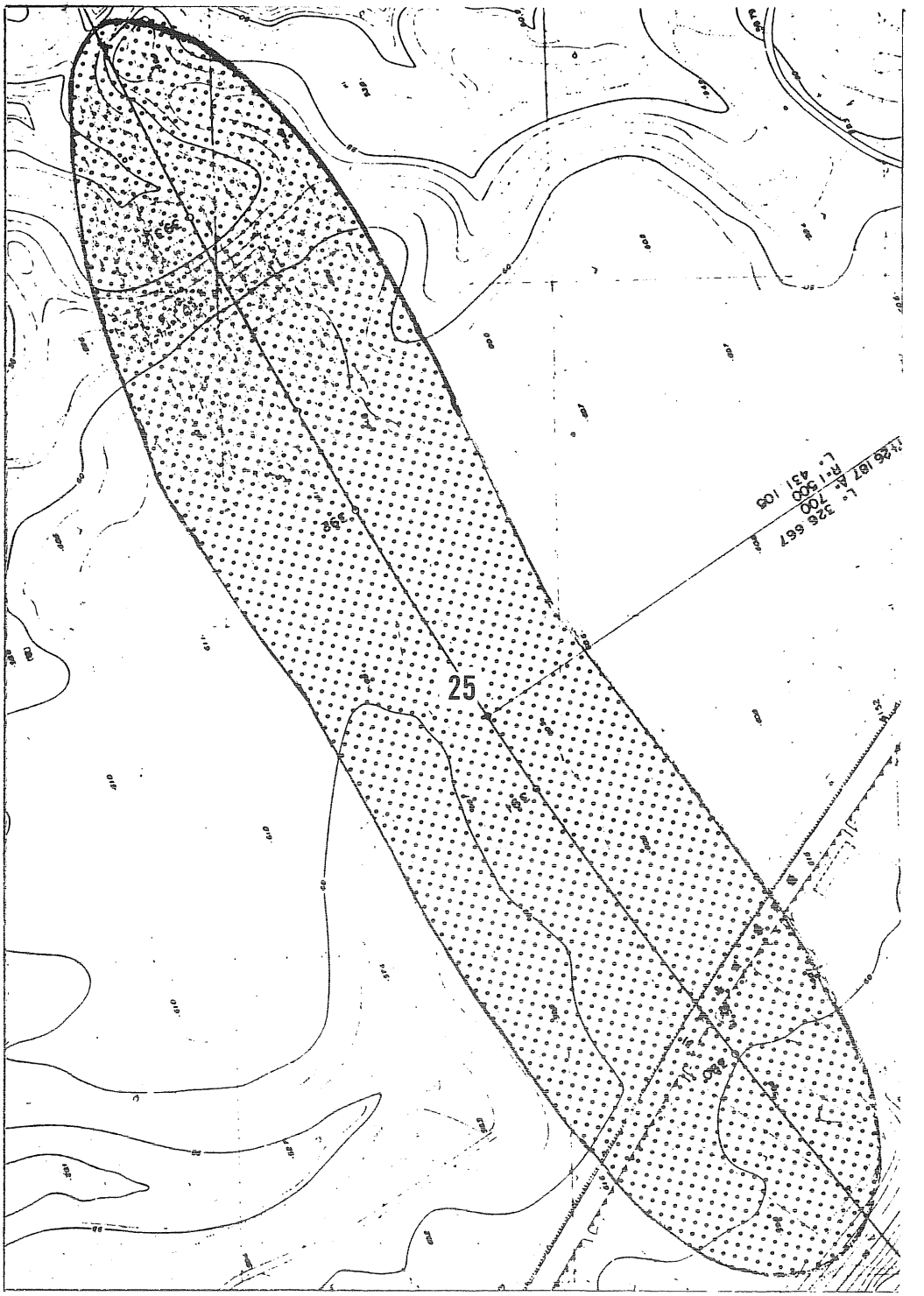
No.20 小出II遺跡　No.21 小出III遺跡　No.22 小沢遺跡

第22図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（南外村）



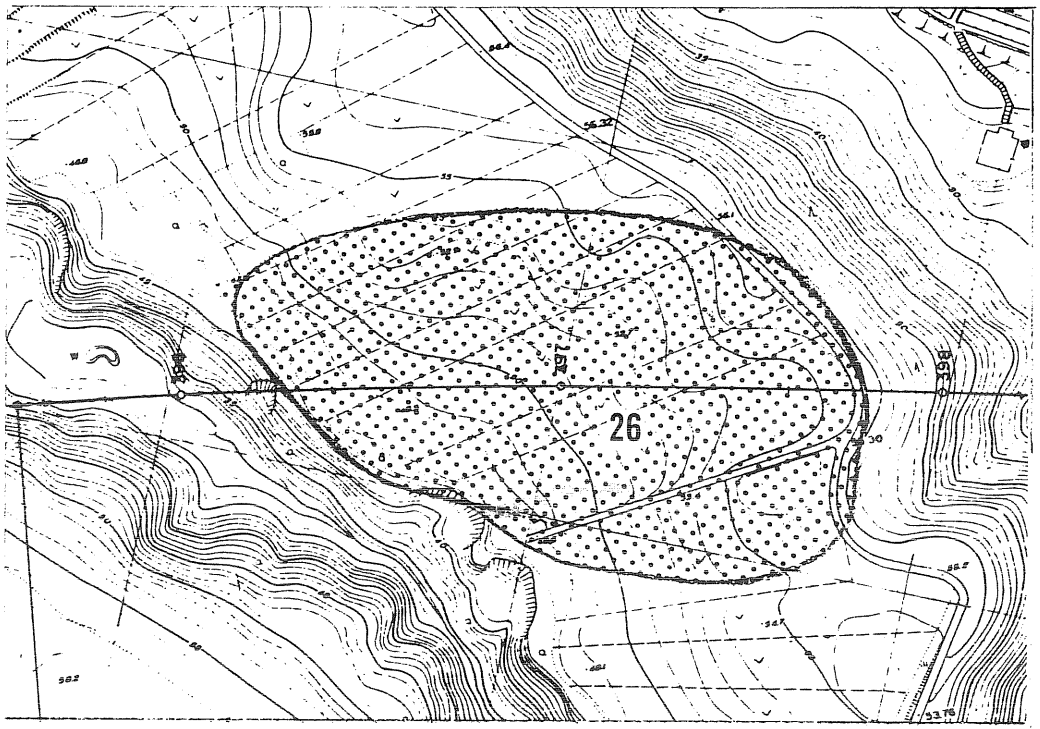
No.23 堤沢Ⅰ遺跡　　No.24 堤沢Ⅱ遺跡

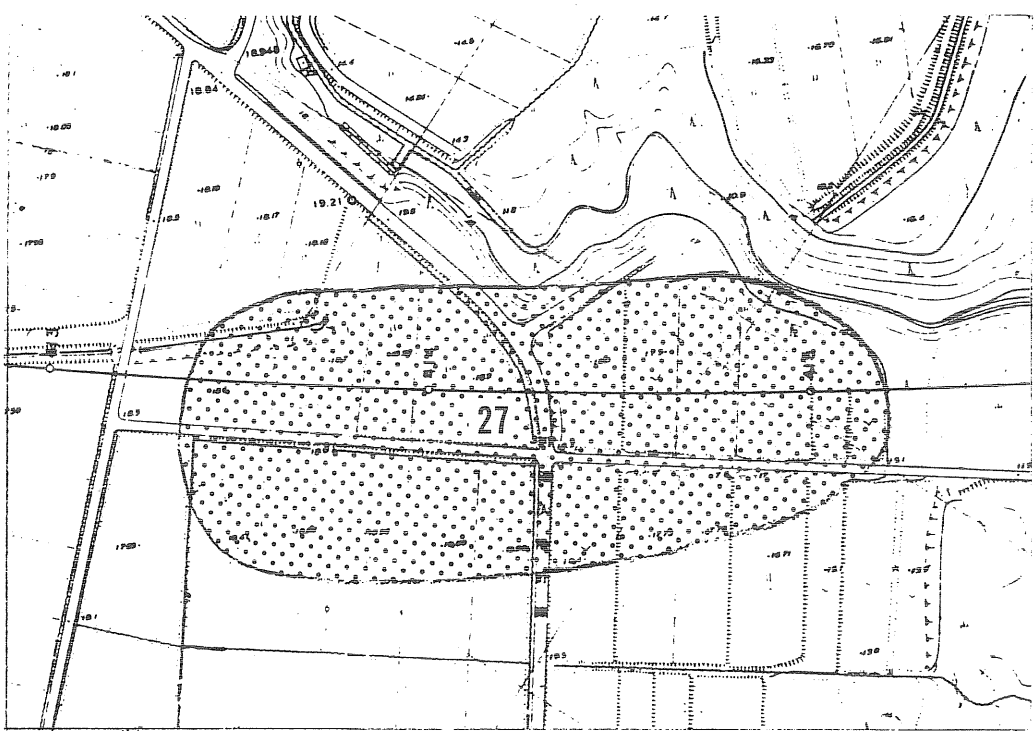
第23図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町）



No.25 上 野 台 遺 跡

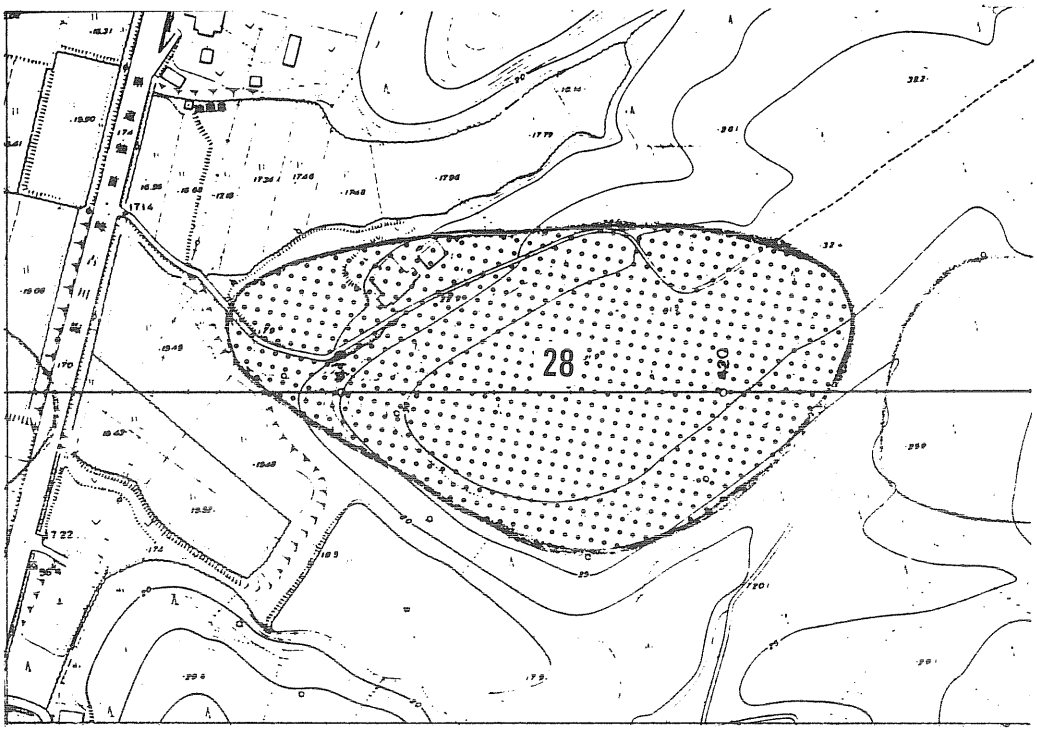
第24図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町）





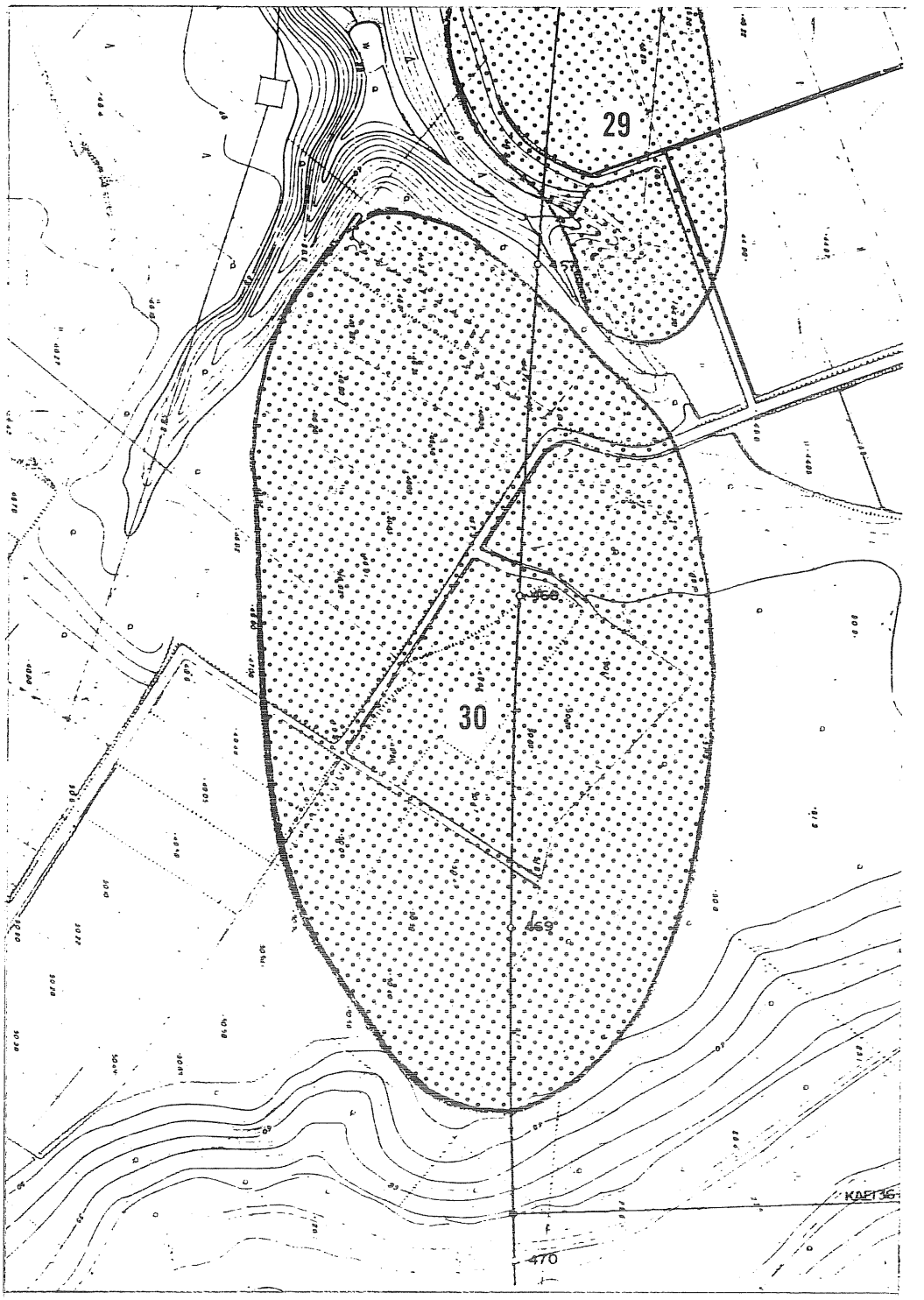
No.26 寺沢遺跡　　No.27 大巻野遺跡

第25図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（西仙北町）



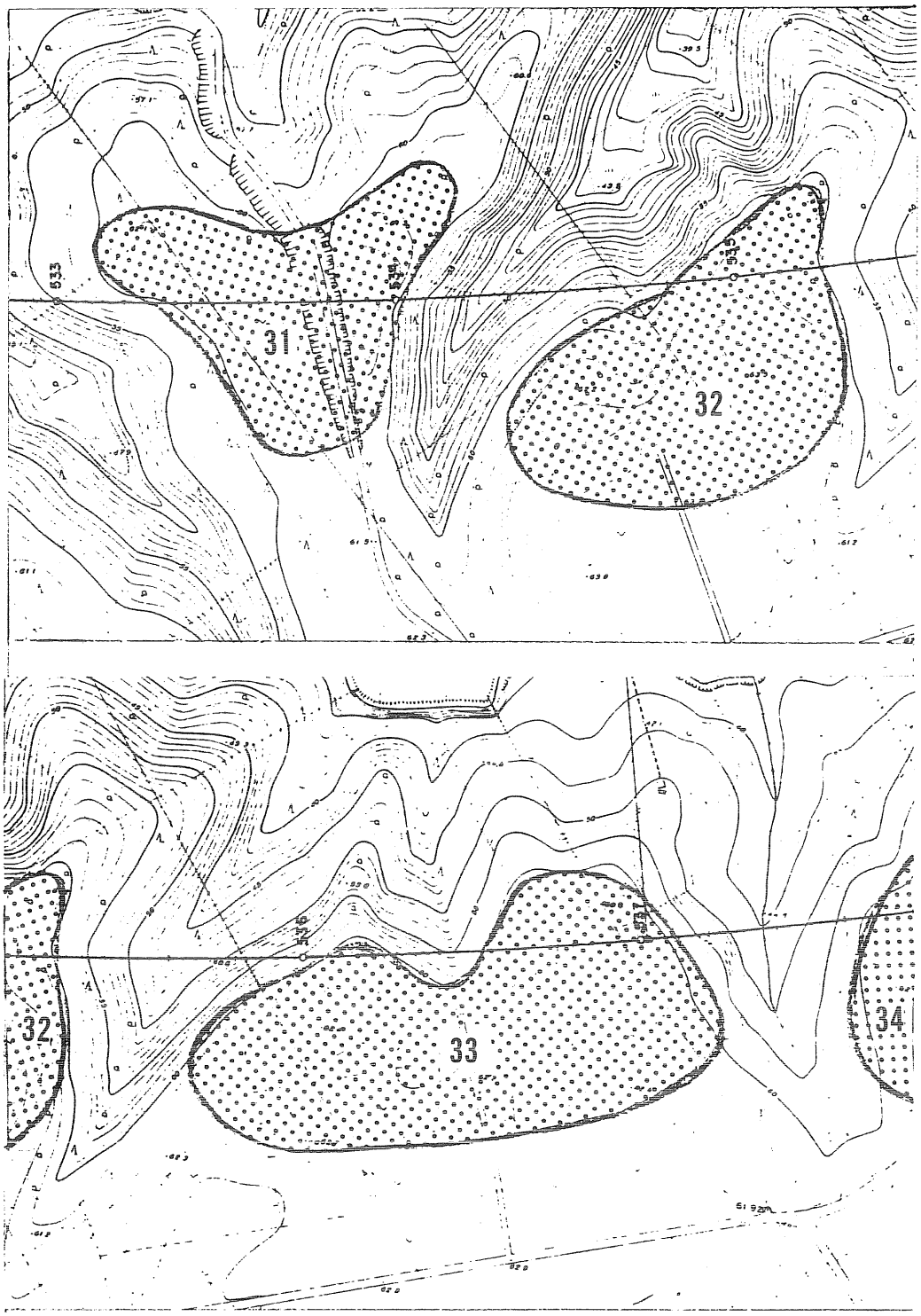
No.28 半仙遺跡　No.29 上ノ山Ⅰ遺跡　No.30 上ノ山Ⅱ遺跡

第26図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（協和町）



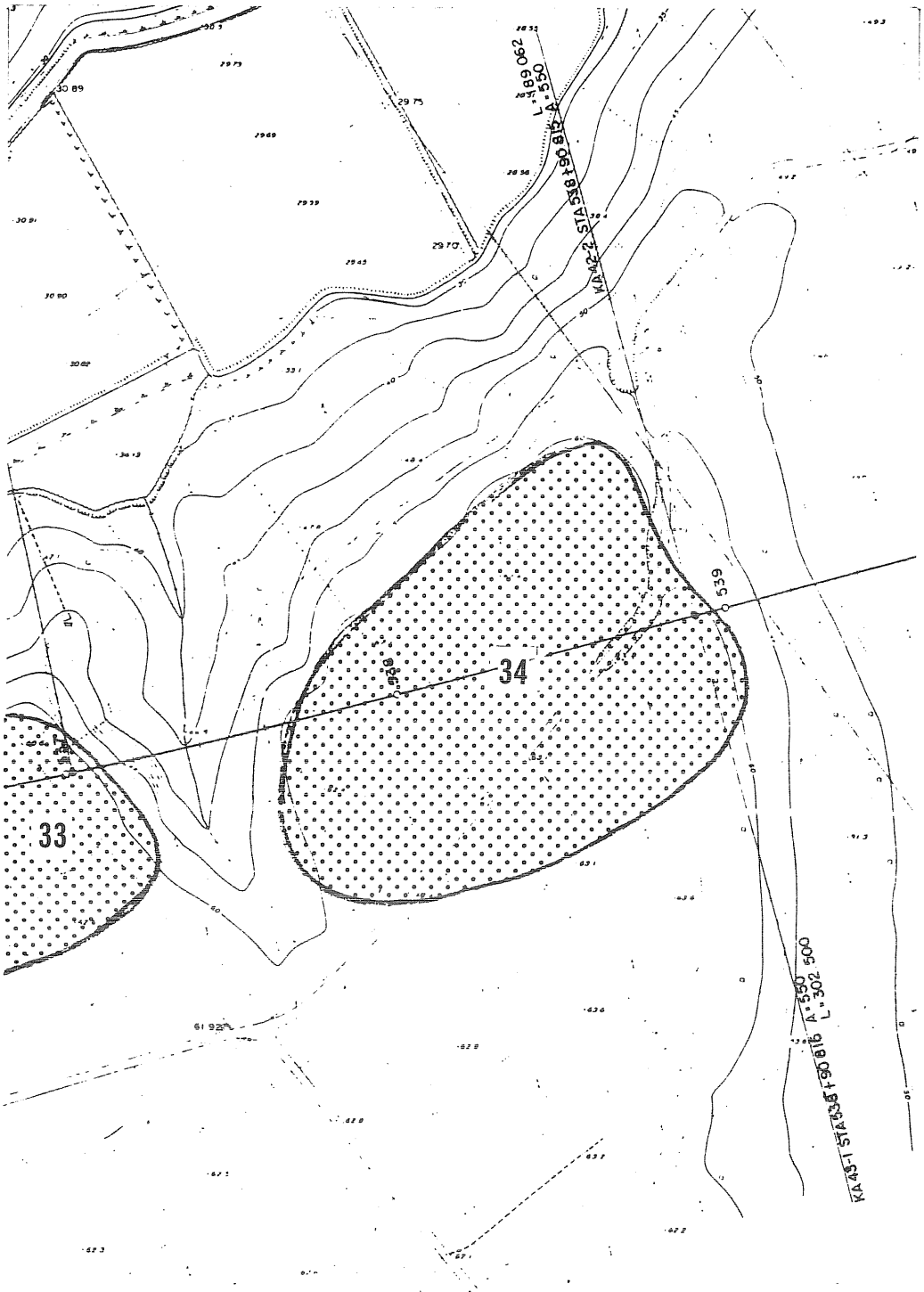
No.29 上ノ山Ⅰ遺跡　　No.30 上ノ山Ⅱ遺跡

第27図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（協和町）



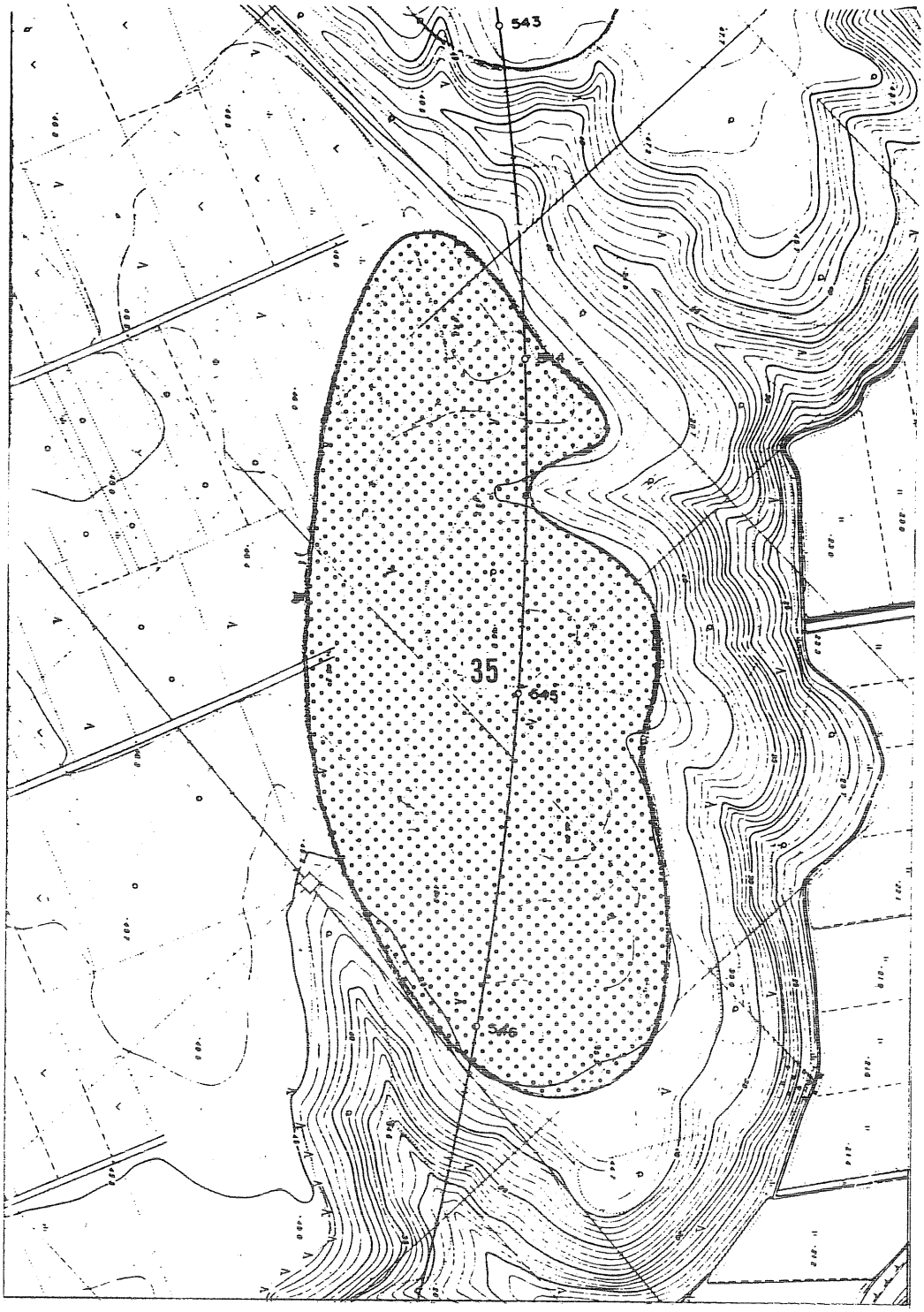
No.31 石坂台Ⅰ遺跡　No.32 石坂台Ⅱ遺跡　No.33 石坂台Ⅲ遺跡

第28図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）



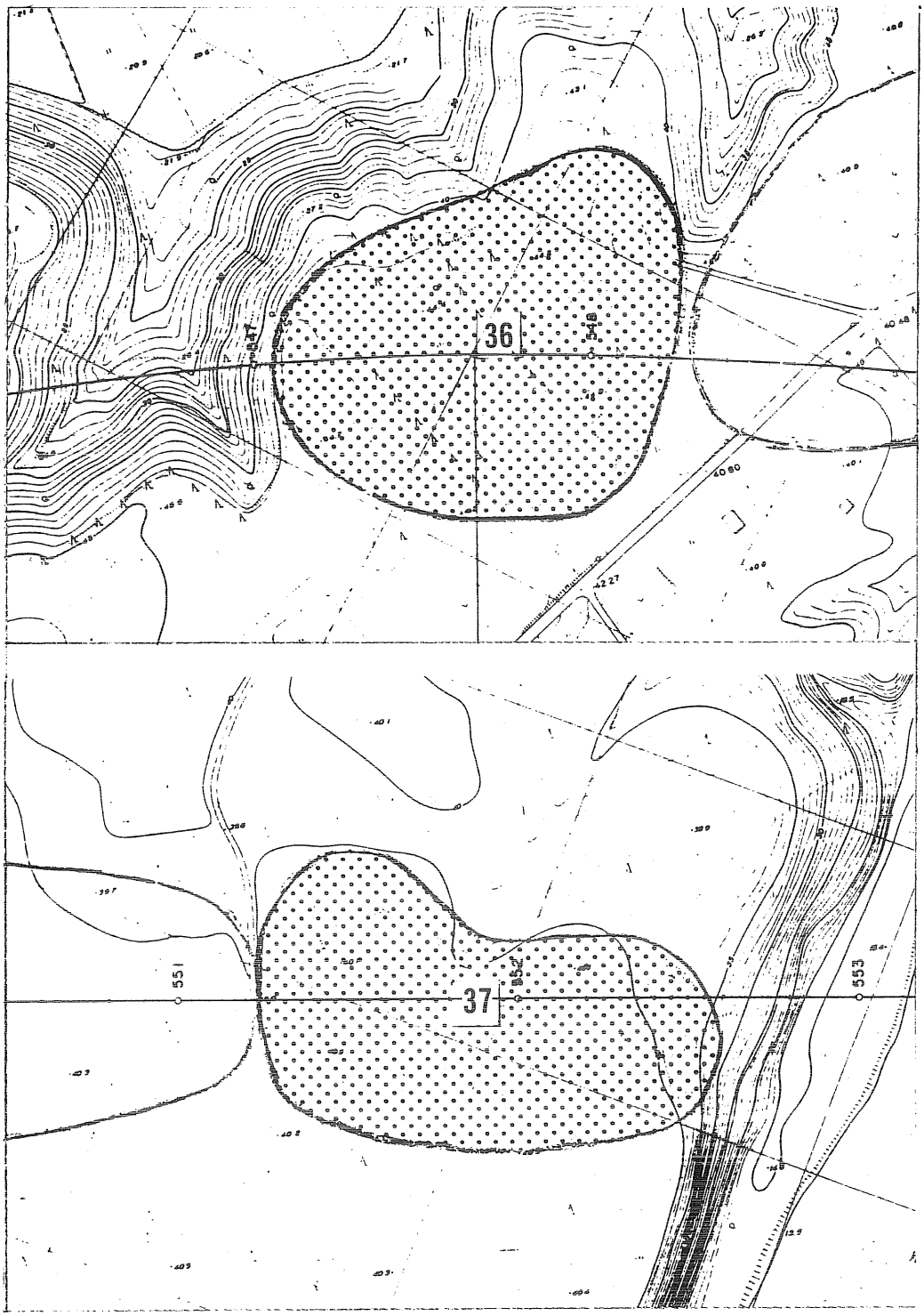
No.33 石坂台Ⅲ遺跡　　No.34 石坂台Ⅳ遺跡

第29図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）



No.35　石坂台Ⅴ遺跡

第30図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）



No.36 石坂台Ⅵ遺跡　　No.37 松木台遺跡

第31図　東北横断自動車道秋田線遺跡位置図（河辺町）

第２節　遺跡範囲確認調査

１．臨空港七曲工業団地

(1)　調査地区の概要

臨空港七曲工業団地は、雄物川の一支流、岩見川の中流左岸の河辺町松渕及び戸島地区の台地上に位置する。この地域の岩見川左岸には下位から赤平面、新大張野面、古大張野面、高位Ⅲ面と呼ばれる四段の段丘面があり、工業団地は下位から二段目の新大張野面、標高30～45ｍほどの段丘上に立地している。[註1] 工業団地の規模は東西 1.0km、南北 1.1kmの方形の範囲で、ここは畑、牧草地、杉、松林から成る平担面である。東側は直ちに岩見川に臨み、南側と北側に沢をとり込んでおり、遺跡はこの沢に面した所に多く、平担面の所々には開拓農家が点在している。

本年度の範囲確認調査は、昨年11月に実施した範囲確認調査に継続するもので、昨年用地の関係で調査できなかった西部地区一帯の調査である。この工業団地の北から西方にかけての隣接地帯を、東北横断自動車道秋田線が通過することに予定されており、西方１kmの丘陵上には、大型ジェット機の発着する秋田新空港が所在する。

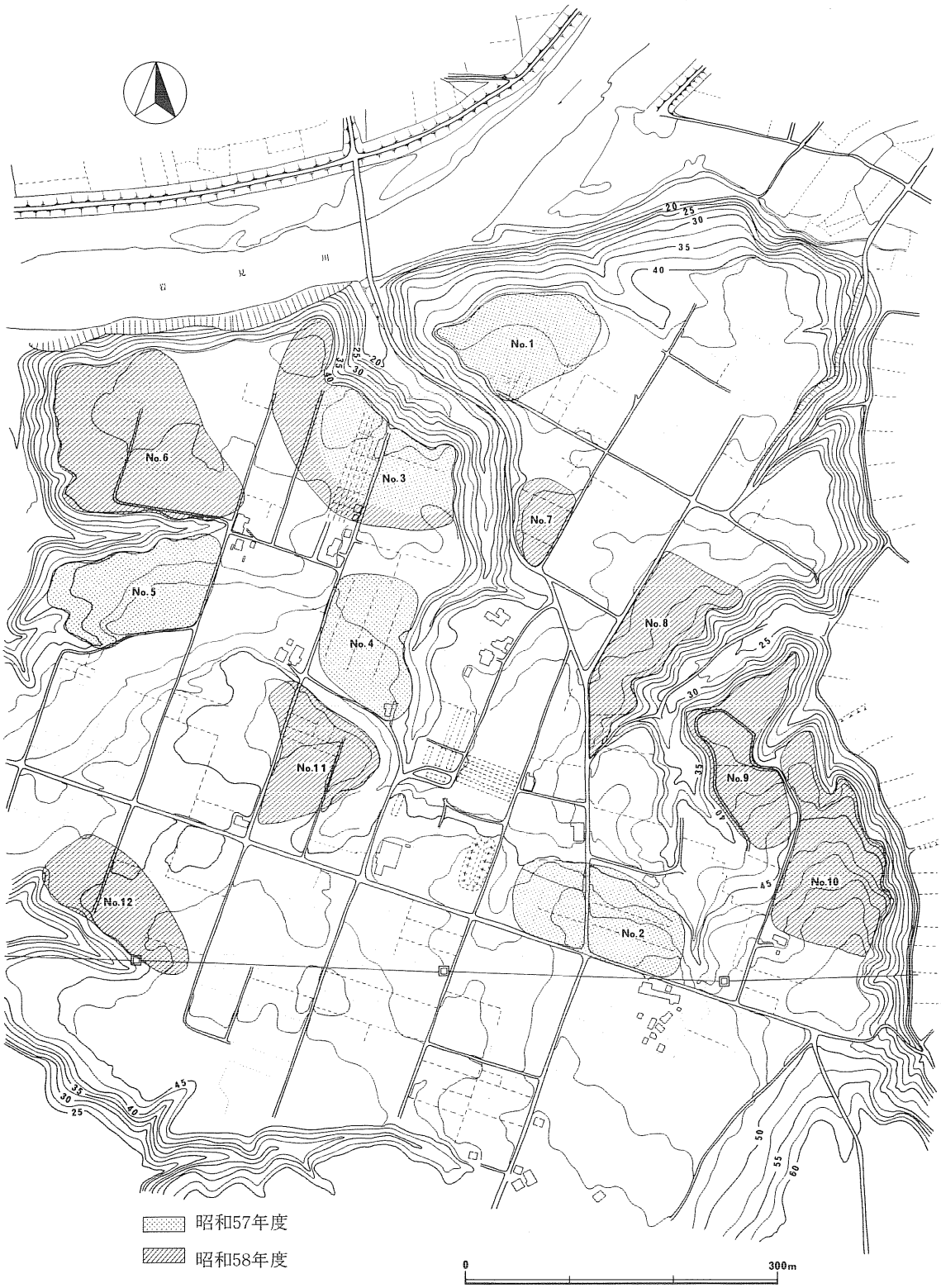
註１　室田　弘「岩見川流域の地形発達について　－とくに段丘地形の考察を中心として－」　秋田県教育研究所年報　ほか

(2)　範囲確認調査遺跡

第４表　臨空港七曲工業団地範囲確認調査遺跡地名表

番号	遺跡名(遺跡番号)	所在地	面積	調査期間	調査員	時代
1	松木台Ⅱ遺跡(No.６)	河辺郡河辺町松渕字松木台81他	19,630㎡	昭和58年４月11日～昭和58年５月14日	高橋忠彦 竹村昭雄 高橋　修	縄文時代後期 弥生時代
2	風無台Ⅳ遺跡(No.７)	河辺郡河辺町松渕字風無台84他	3,410㎡			縄文時代中期
3	風無台Ⅴ遺跡(No.８)	河辺郡河辺町松渕字風無台72他	10,750㎡			旧石器時代 縄文時代中期
4	餅田沢Ⅰ遺跡(No.９)	河辺郡河辺町松渕字餅田沢58他	9,950㎡			縄文時代後期
5	餅田沢Ⅱ遺跡(No.10)	河辺郡河辺町松渕字餅田沢56他	14,540㎡			縄文時代中期
6	石坂台Ⅱ遺跡(No.11)	河辺郡河辺町戸島字石坂台52他	9,350㎡			旧石器時代 縄文時代中期
7	石坂台Ⅲ遺跡(No.12)	河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台232他	9,660㎡			縄文時代後期

図版1　七曲台全景



第32図　七曲工業団地関係遺跡位置図

松木台II遺跡（遺跡番号No.6）

1．立地と現況

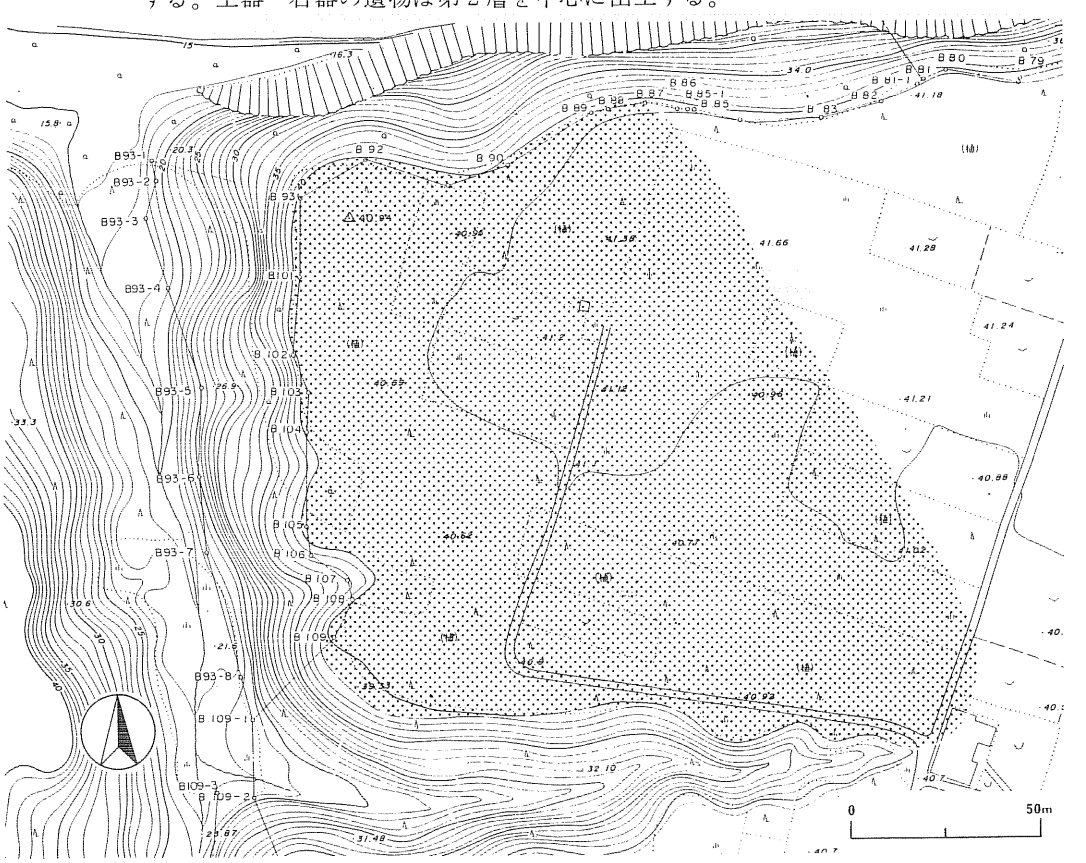
遺跡は台地北縁に位置し、眼下に岩見川を臨む位置にある。標高は41ｍ前後で、西から南側にかけて沢に面している。現状は畑地と杉の造成林である。

2．範囲・時代・性格

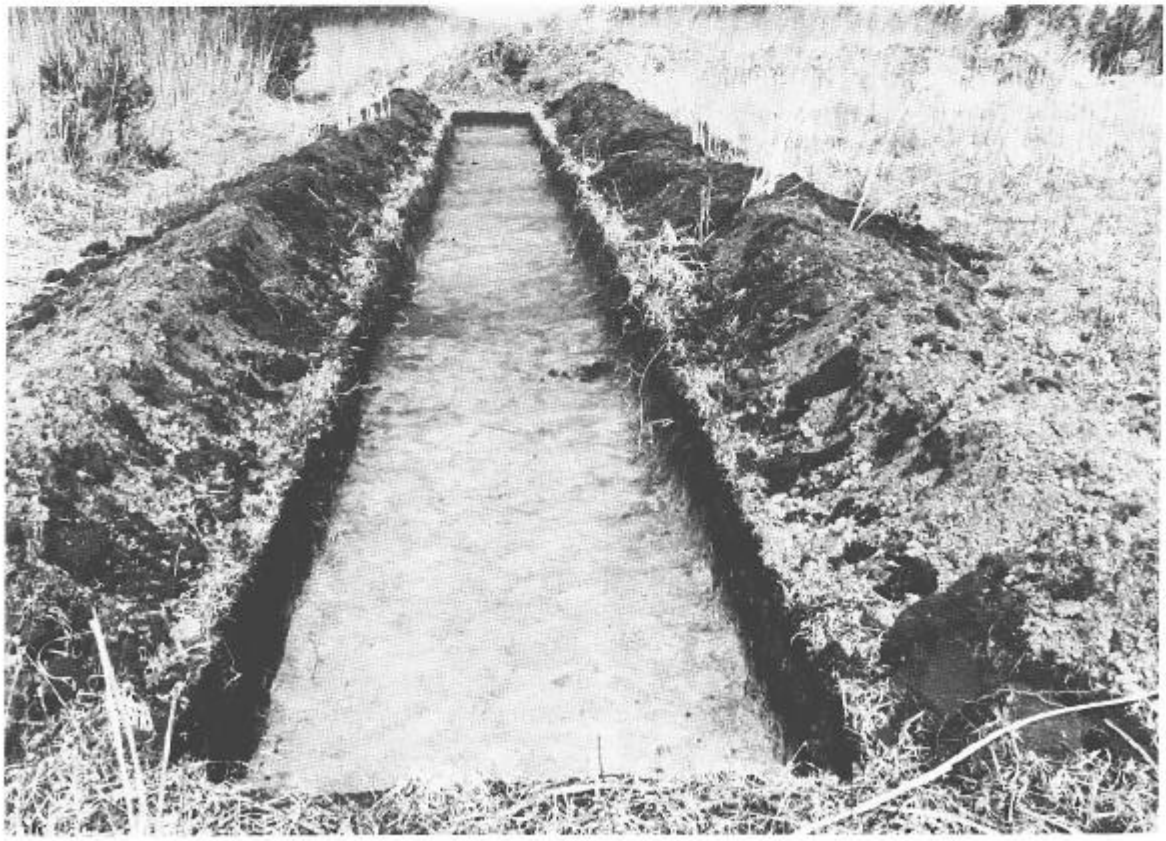
遺跡は中央部と南部では時期が異なるようで、中央部からは縄文時代後期、南部は弥生時代の遺物が多く出土している。沢に面した所が遺跡範囲で、面積19,360㎡と広大である。

3．土　層

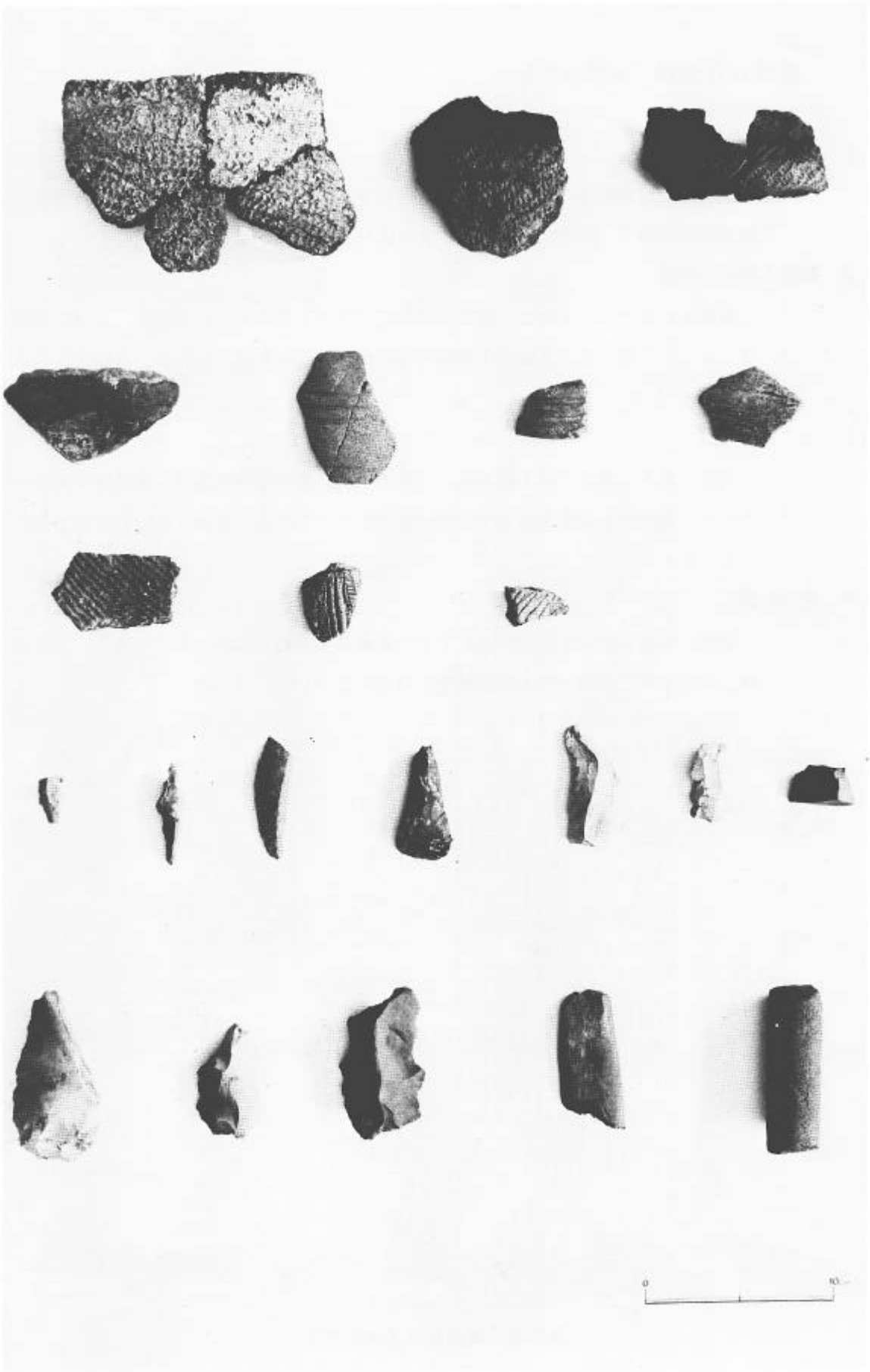
遺跡の基本土層は、第１層黒褐色土、第II層褐色土、第III層黄褐色ロームである。地表から第III層上面までは50～70cmほどの深さであるが、部分的には第２層堆積の欠けている所もあり、この場合は第一層の黒褐色土が20cmの厚さで直接第III層に達する。土器・石器の遺物は第２層を中心に出土する。



第33図　松木台II遺跡範囲図



図版２　上・遺跡近景　下・調査トレンチ



図版3　出　土　遺　物

風無台Ⅳ遺跡（遺跡番号No.７）

１．立地と現況

遺跡は台地北東部、風無台Ⅰ遺跡（遺跡番号No.１）の南側に位置する。標高45ｍ前後の平坦地で、西側に大きな沢が入り込む。現状は畑地である。

２．範囲・時代・性格

遺跡から出土した遺物は、縄文時代中期後半の土器片とフレイクで、遺構の検出はなかった。同時期の風無台Ⅰ遺跡と関連のある遺跡と考えられる。遺跡の広さは3,410㎡である。

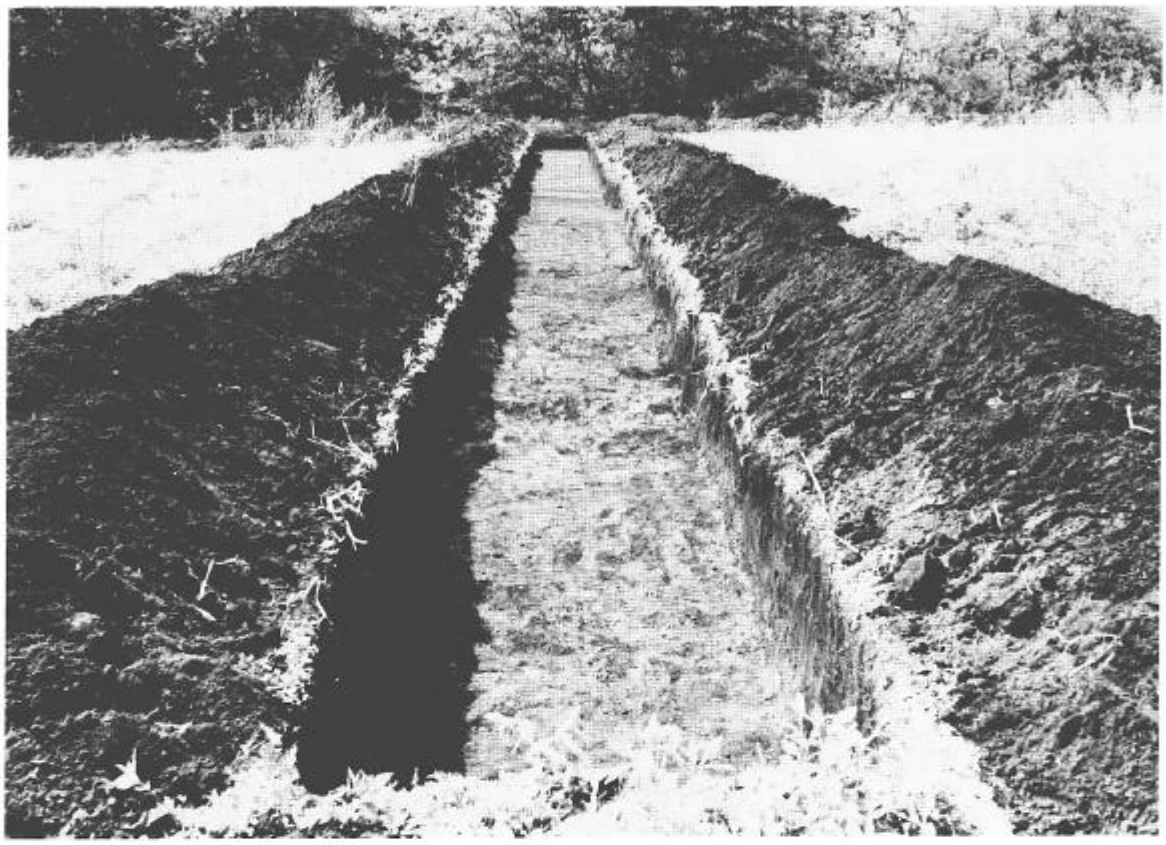
３．土　　層

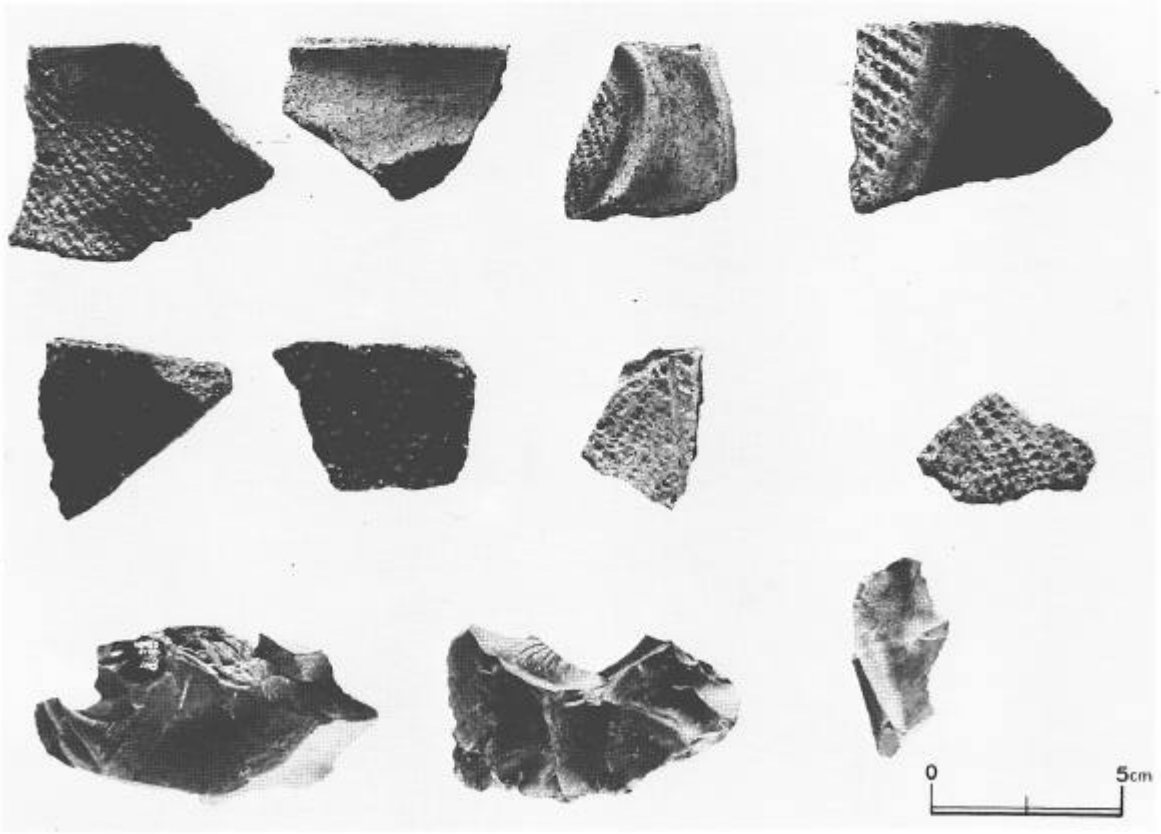
遺跡の基本土層は、第Ⅰ層黒色土（耕作土）、第Ⅱ層黒褐色土、第Ⅲ層黄褐色ローム で、地表からⅢ層上面までは70cm前後の深さである。遺物は主に第Ⅱ層下部から出土する。

４．そ の 他

遺跡の北側に広がる平坦地は、すでに第Ⅲ層も含めて土取りされており、地下遺構も破壊されたものと考え遺跡範囲には含めていない。

第34図　風無台Ⅳ遺跡範囲図





図版4　上・調査トレンチ　下・出土遺物

風無台Ⅴ遺跡（遺跡番号No.８）

１．立地と現況

遺跡は、台地東側の標高が北側で43.5ｍ、南側で42.5ｍ前後の傾斜地に位置し、遺跡の東側には沢が入り込む。北側では杉の造成林で南側は畑地である。

２．範囲・時代・性格

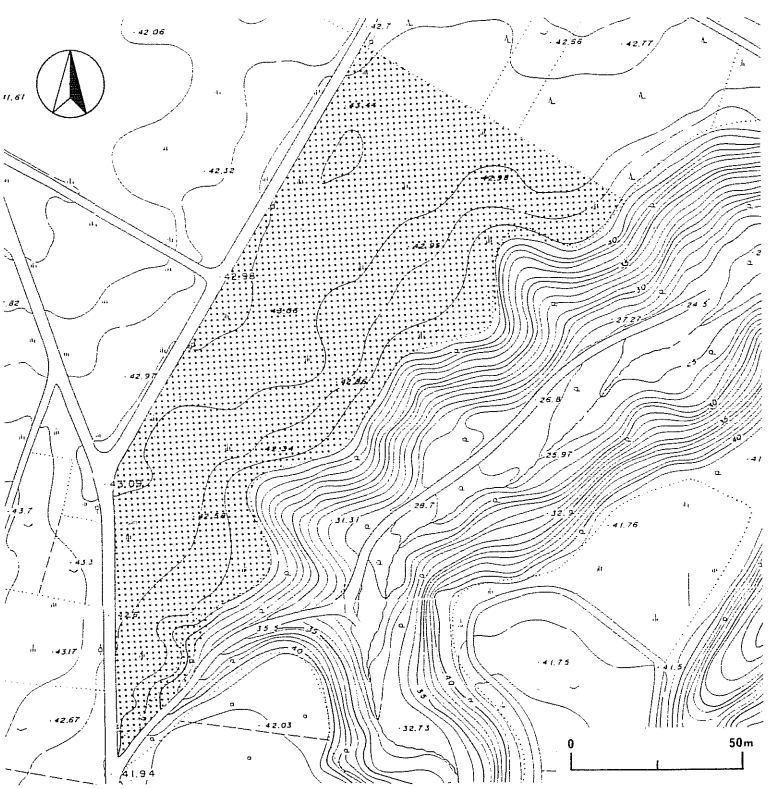
遺物としては、遺跡北側の台地縁辺部から旧石器時代の石核２点、縄文中期の土器とフレイクが出土している。特に遺跡中央西側からは大木10式土器を伴う配石遺構とフラスコ状ピットを確認している。面積は10,750㎡である。

３．土　　層

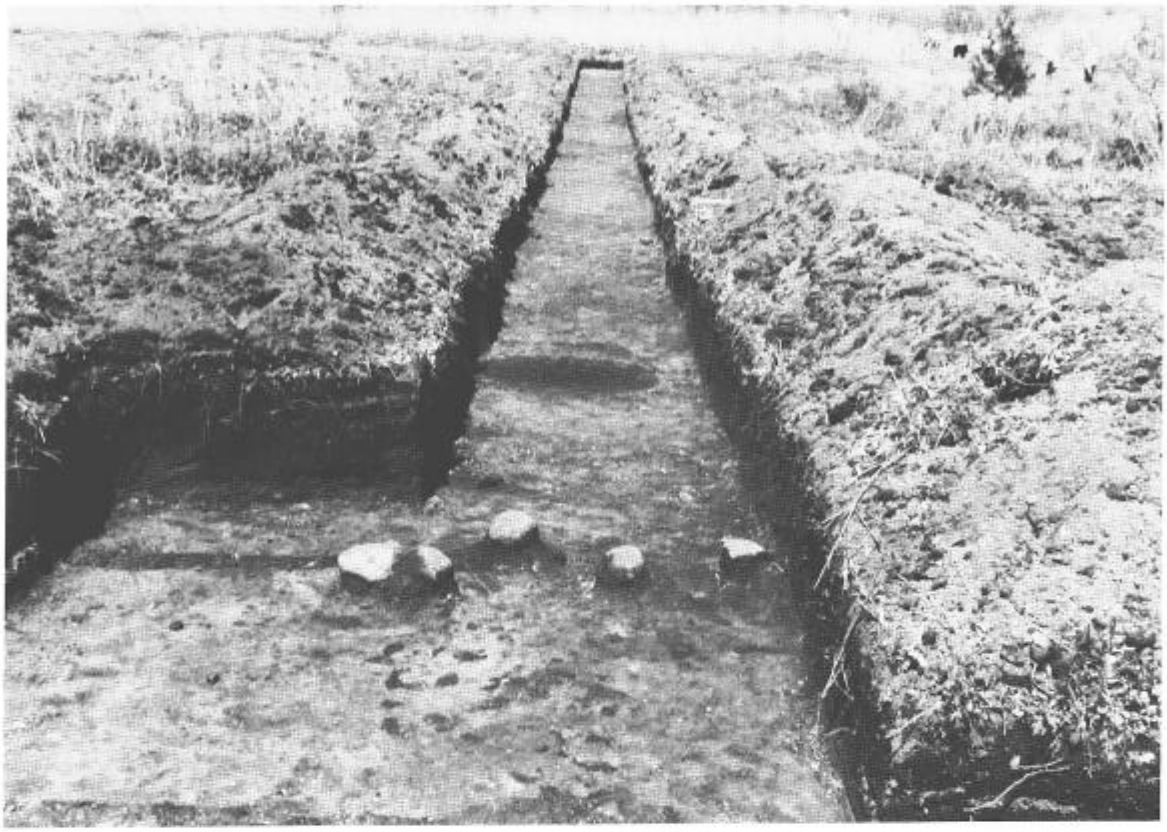
遺跡の基本土層は、第Ⅰ層黒色土、第Ⅱ層茶褐色土、第Ⅲ層黄褐色ロームで、地表から第Ⅲ層上面までの深さは70cmほどある。遺物は第Ⅱ層下部から出土する。

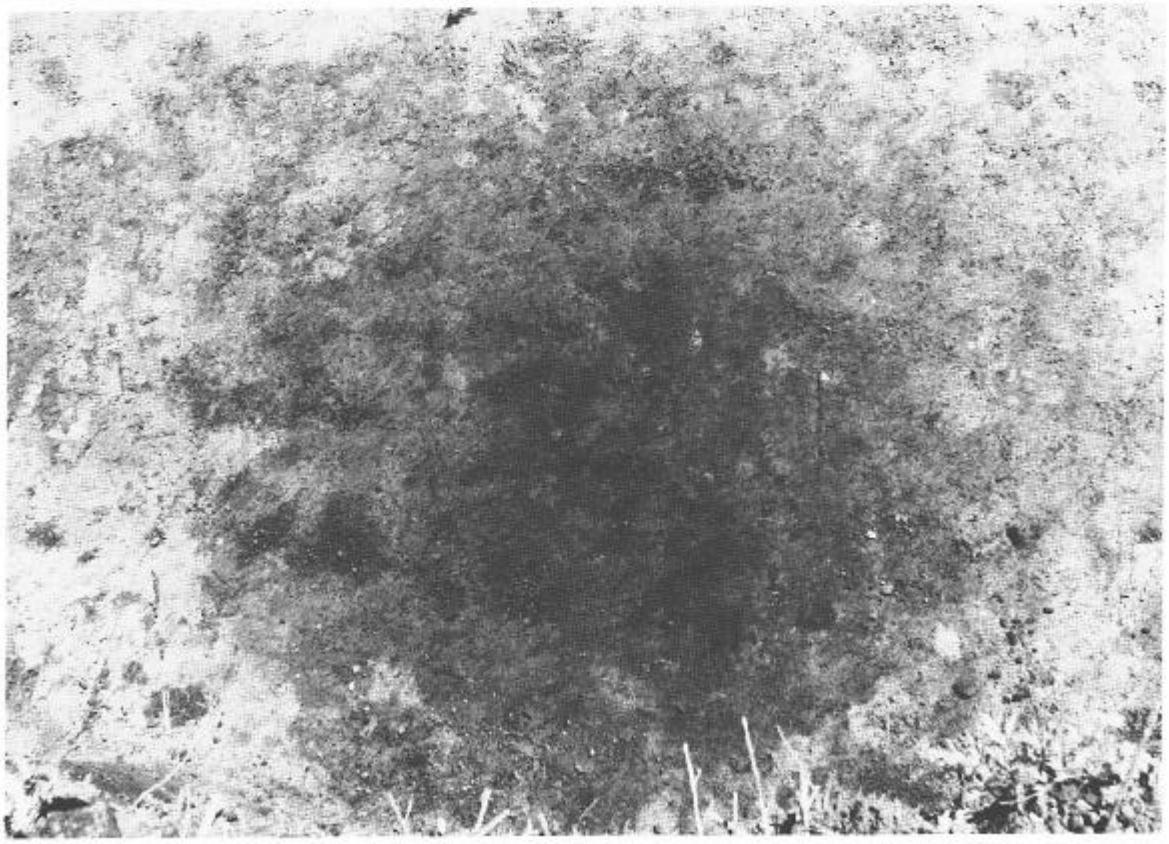
４．そ の 他

昭和58年度に遺跡の一部（800㎡）を調査して、縄文中期後半のフラスコ状ピット１基を検出している。

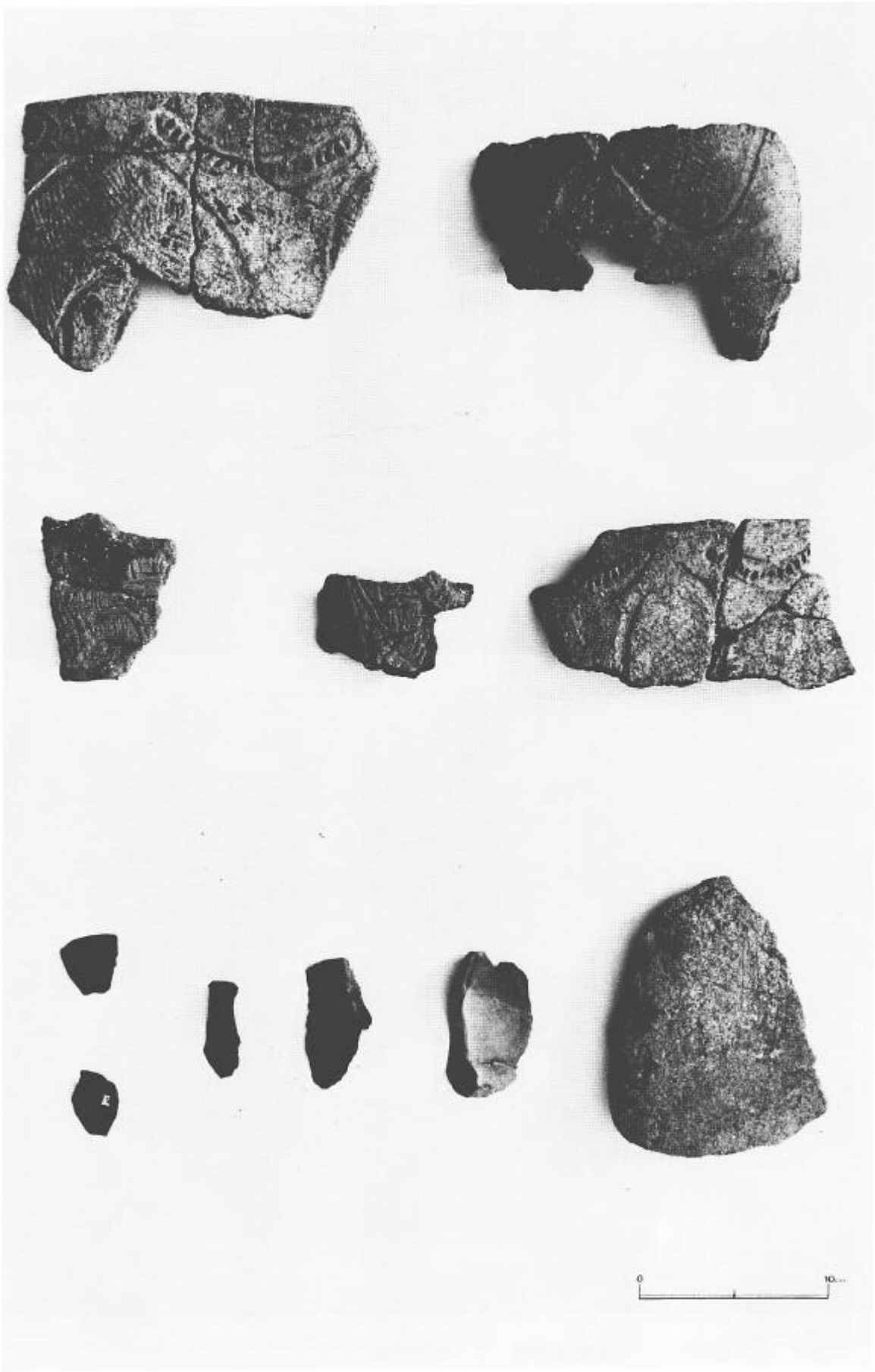


第35図　風無台Ⅴ遺跡範囲図





図版５　上・調査トレンチと配石遺構　下・確認遺構



図版6　出　土　遺　物

餅田沢Ⅰ遺跡（遺跡番号No.９）

１．立地と現況

遺跡は、台地西端で、その北側は細長く舌状に張り出し標高は41.7ｍ、南側は43.0ｍ前後で緩やかな傾斜地に位置する。現況は原野と畑地である。

２．範囲・時代・性格

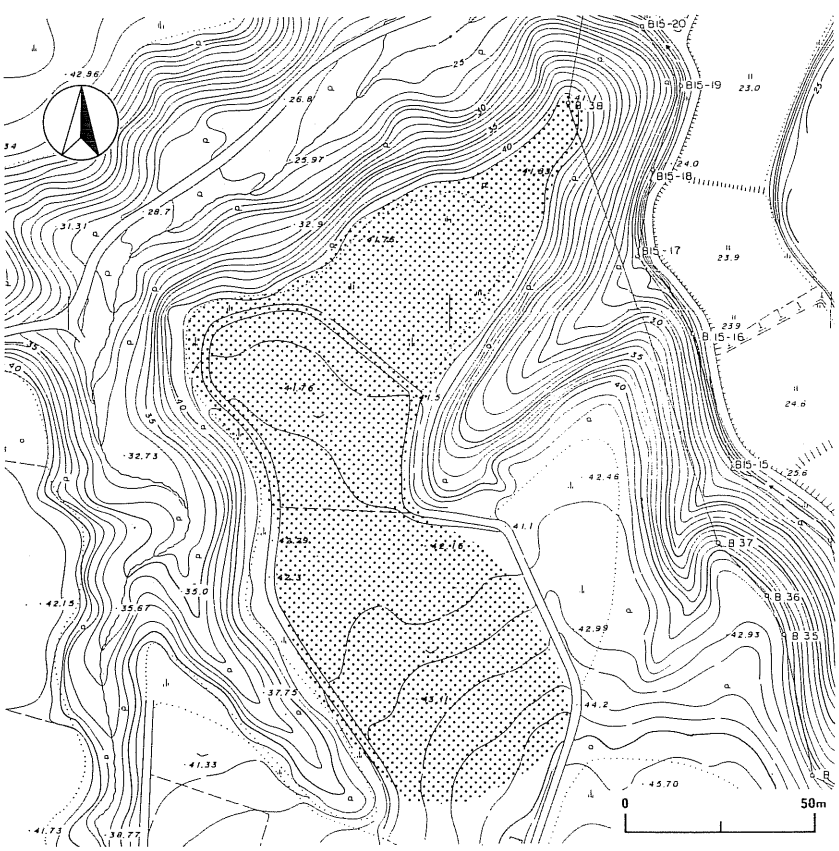
出土遺物は、縄文後期の土器・石器などで北側の畑地から多く出土している。遺構としては黒褐色土の円形の落ち込みを確認している。面積は 9,950㎡である。

３．土　　層

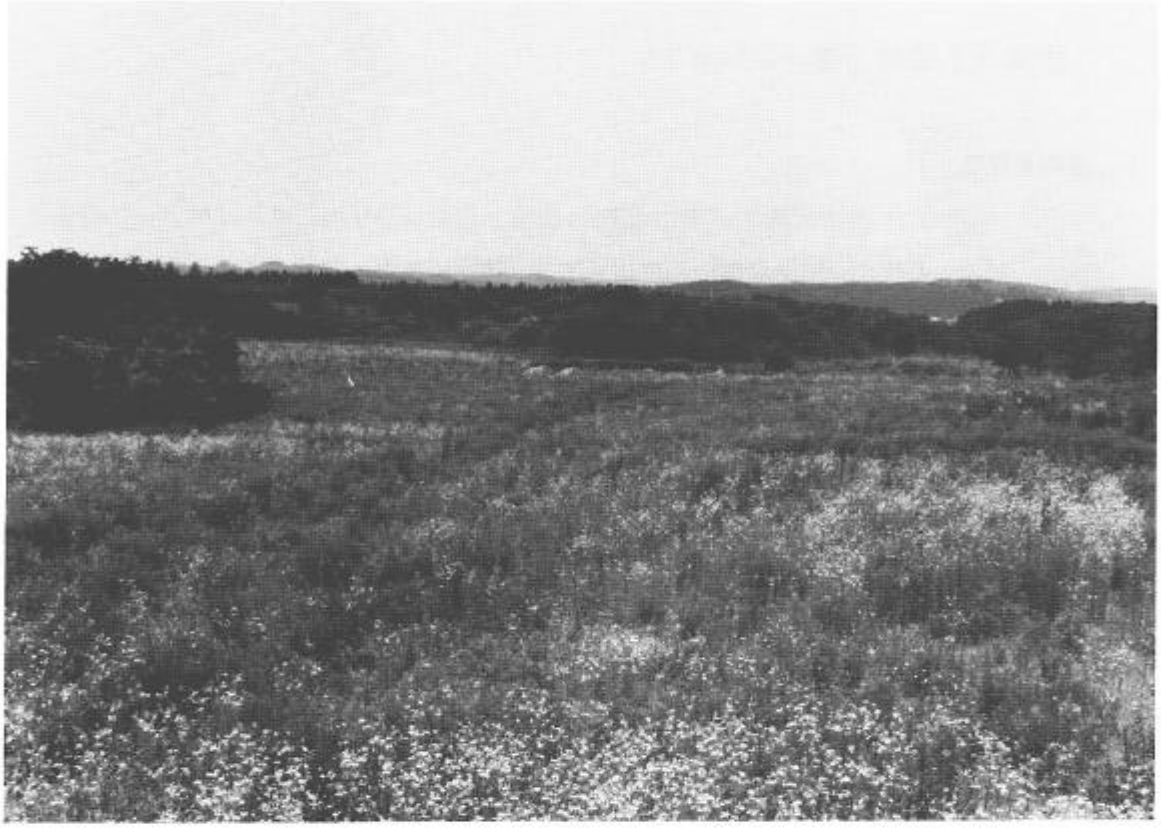
遺跡の基本土層は、北側でⅠ層黒色土、Ⅱ層黒褐色土、Ⅲ層褐色ロームである。地表からⅢ層上面までの深さは70cmであるが、南側ではⅠ層が20cmの深さでⅢ層に達する。

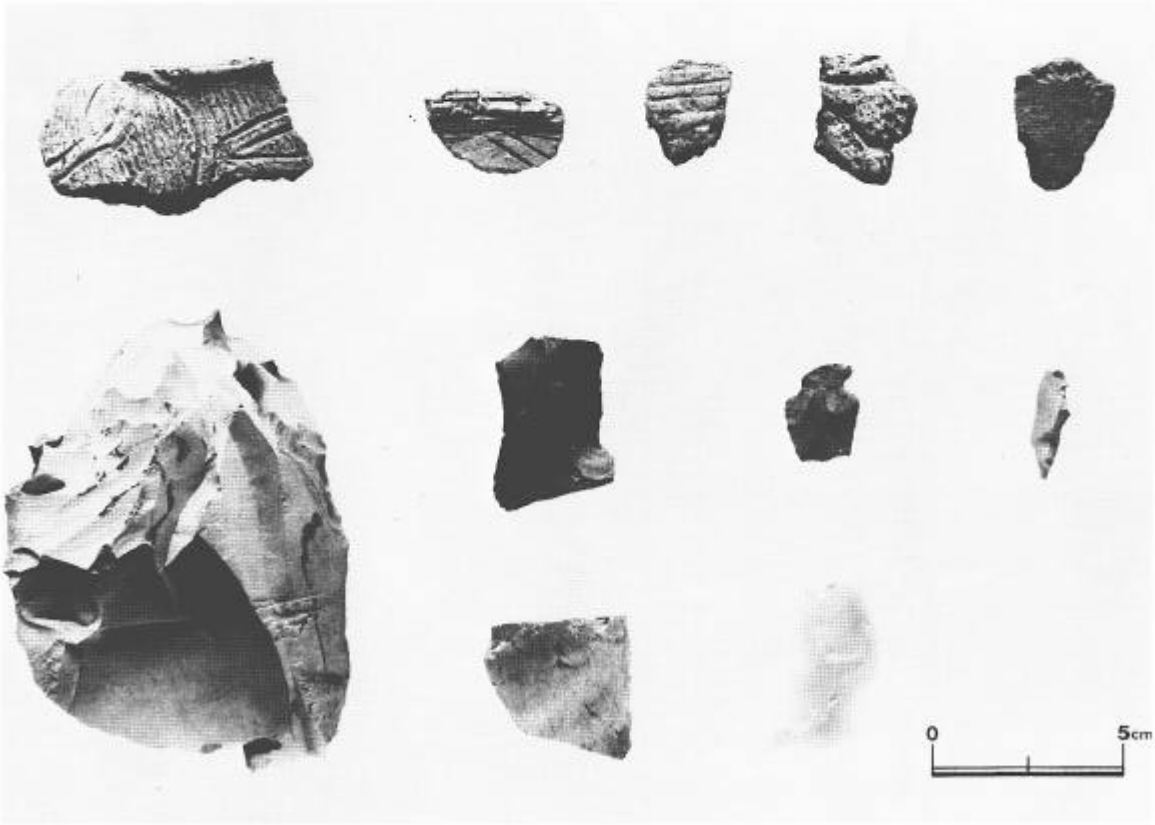
４．そ の 他

昭和58年度の本調査では、縄文中期の袋状土壙３基を検出している。



第36図　餅田沢Ⅰ遺跡範囲図





図版７　上・遺跡近景　下・出土遺物

餅田沢II遺跡（遺跡番号No.10）

1．立地と現況

遺跡は、台地西端で前述の餅田沢Ⅰ遺跡の南側に位置する。標高は北側で42.5m南側で49.0m前後と、遺跡内でかなりの比高差がある。現況は畑地と原野である。

2．範囲・時代・性格

出土遺物は、縄文中期・後期の土器・石器（磨製石斧等）が出土しており、特に遺跡中央部からの出土が多い。遺構は確認出来なかった。面積は14,450m²である。

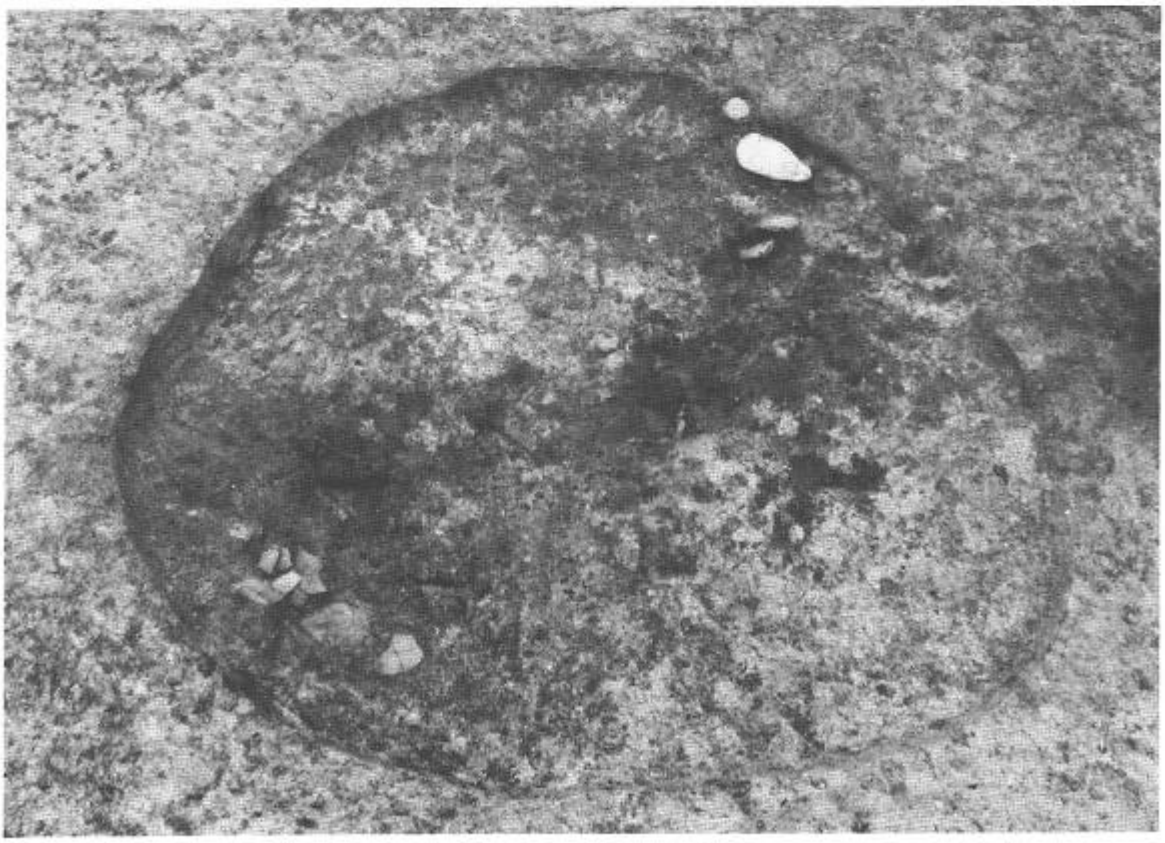
3．土　　層

遺跡の基本土層は、北側で第Ⅰ層黒色土（耕作土）、第II層黒褐色土、第III層褐色ロームで、地表面から第III層上面までの深さは70cm前後であるが、南側では第II層がなく地表下30cmで第III層に達する。

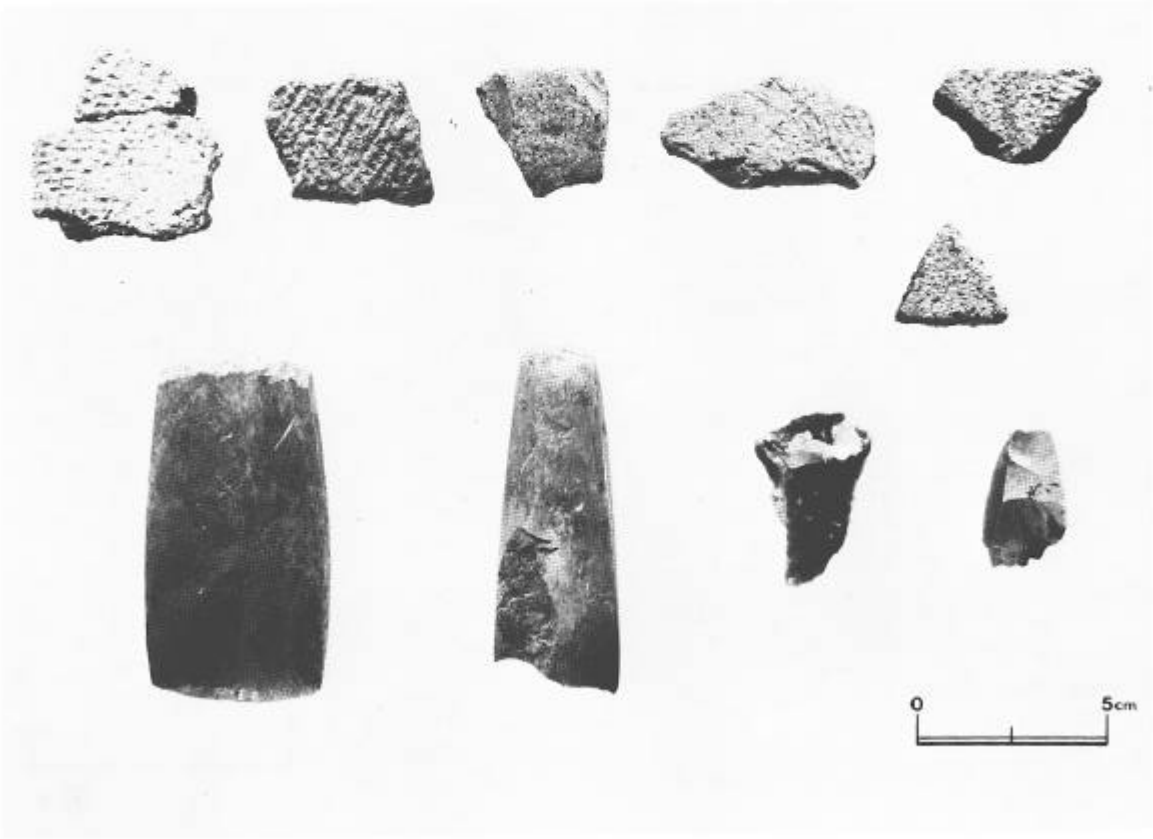
4．そ の 他

昭和58年度の本調査では、縄文中期末葉の竪穴住居跡4軒、土壙7基、縄文晩期の土壙1基が検出されている。

第37図　餅田沢II遺跡範囲図



図版8　上・調査トレンチ　下・住 居 跡



図版9　出　土　遺　物

石坂台II遺跡（遺跡番号No.11）

1．立地と現況

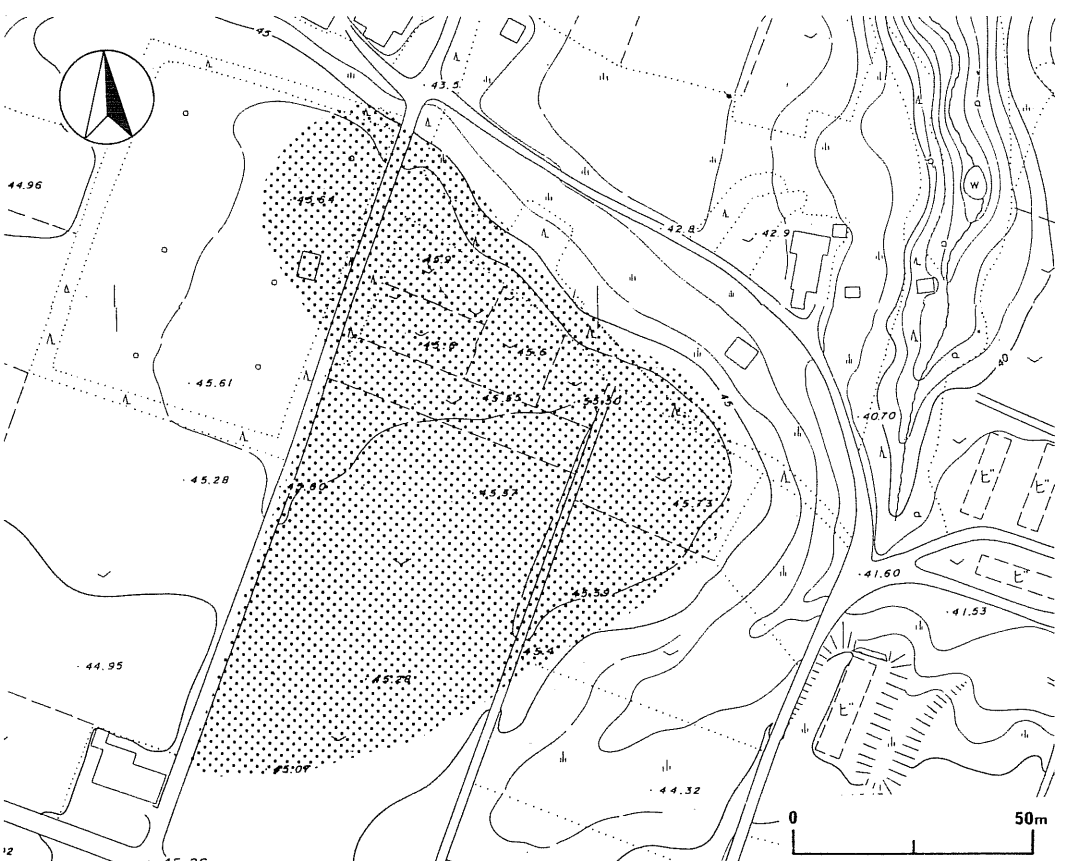
遺跡は、台地中央部風無台II遺跡（遺跡番号３）の南側にあり、標高45.3ｍ前後の平坦地に位置する。現況は畑地である。

2．範囲・時代・性格

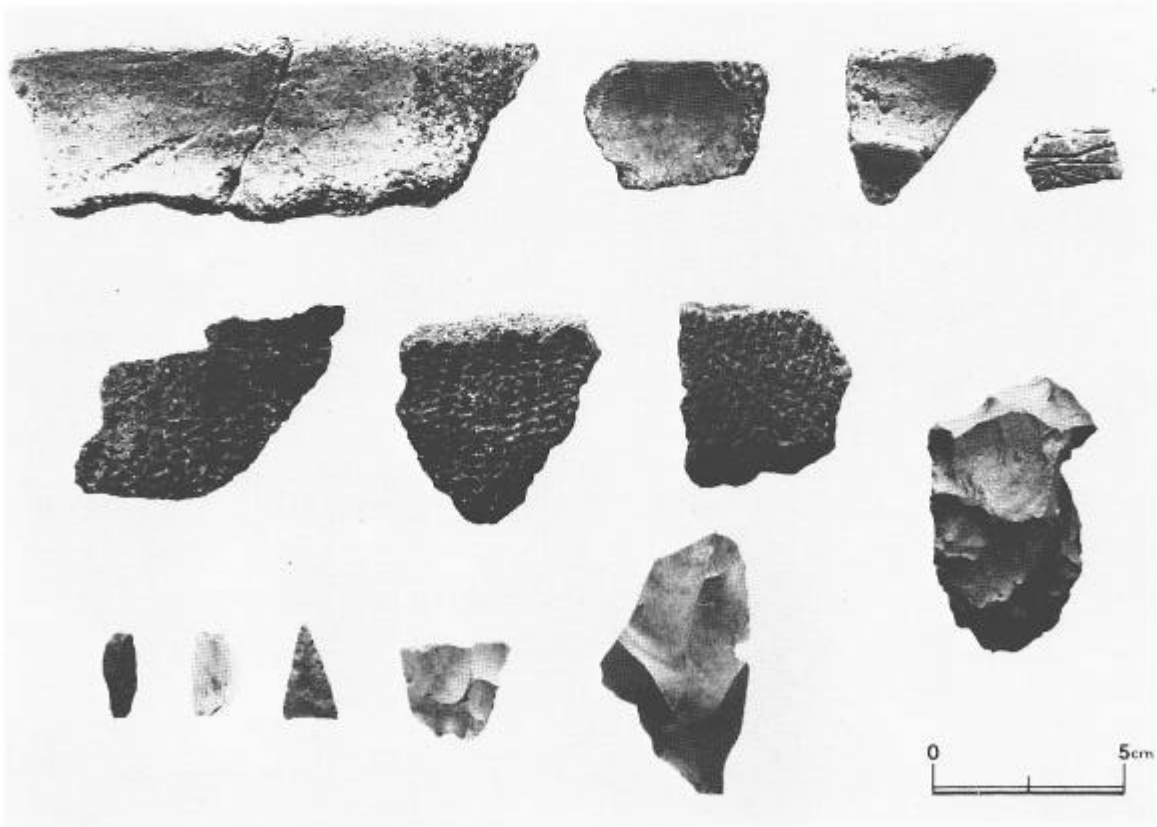
出土遺物は、遺跡中央部から旧石器時代の細石刃と縄文中期の土器・石器が多量に出土している。遺構としては、遺跡中央部に黒褐色土の円形の落ち込みを確認している。面積は 9,350㎡である。

3．土　　層（深さ）

遺跡の基本土層は第Ｉ層黒色土、第II層黒褐色土、第III層褐色ロームで、地表から第III層上面までは70cm前後の深さである。



第38図　石坂台II遺跡範囲図



図版10　上・遺跡近景　下・出土遺物

石坂台Ⅲ遺跡（遺跡番号No.12）

1．立地と現況

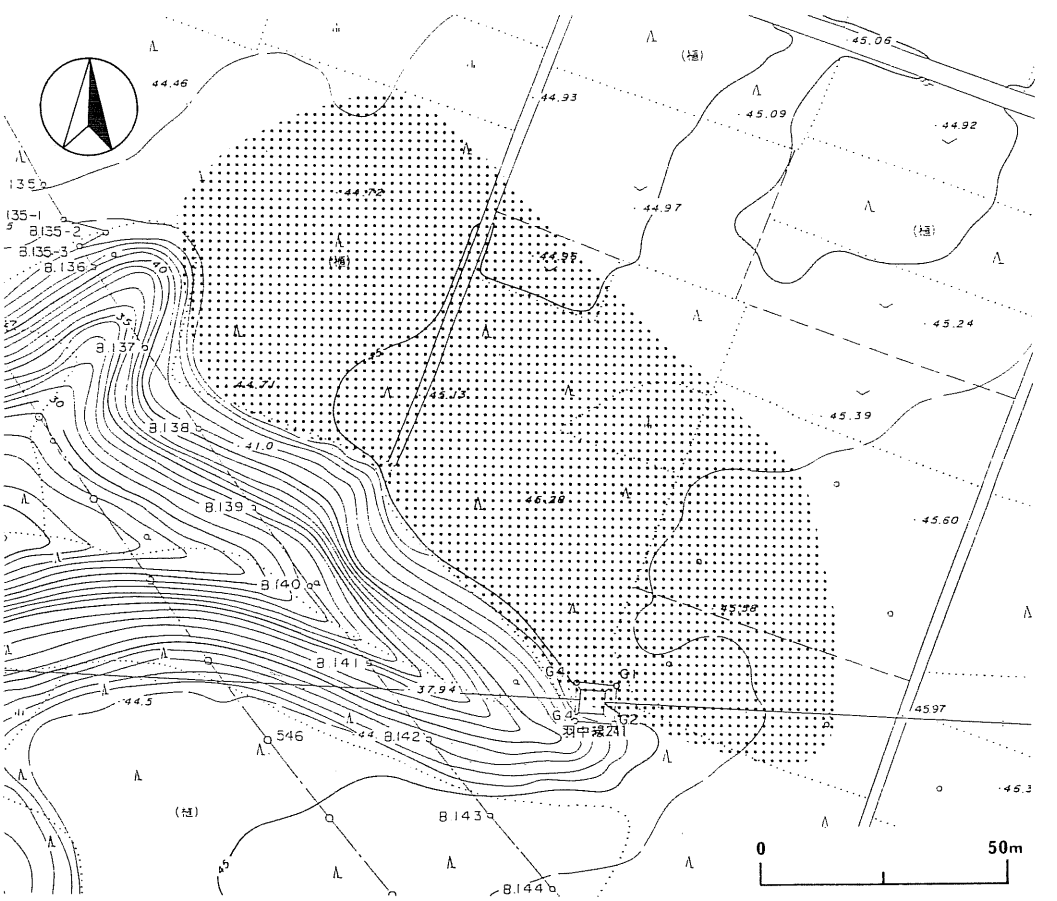
遺跡は、台地南側、標高45.5ｍの平坦地に位置し、西側には、深く沢が入り込む。現況は、畑地と杉の造成林である。

2．範囲・時代・性格

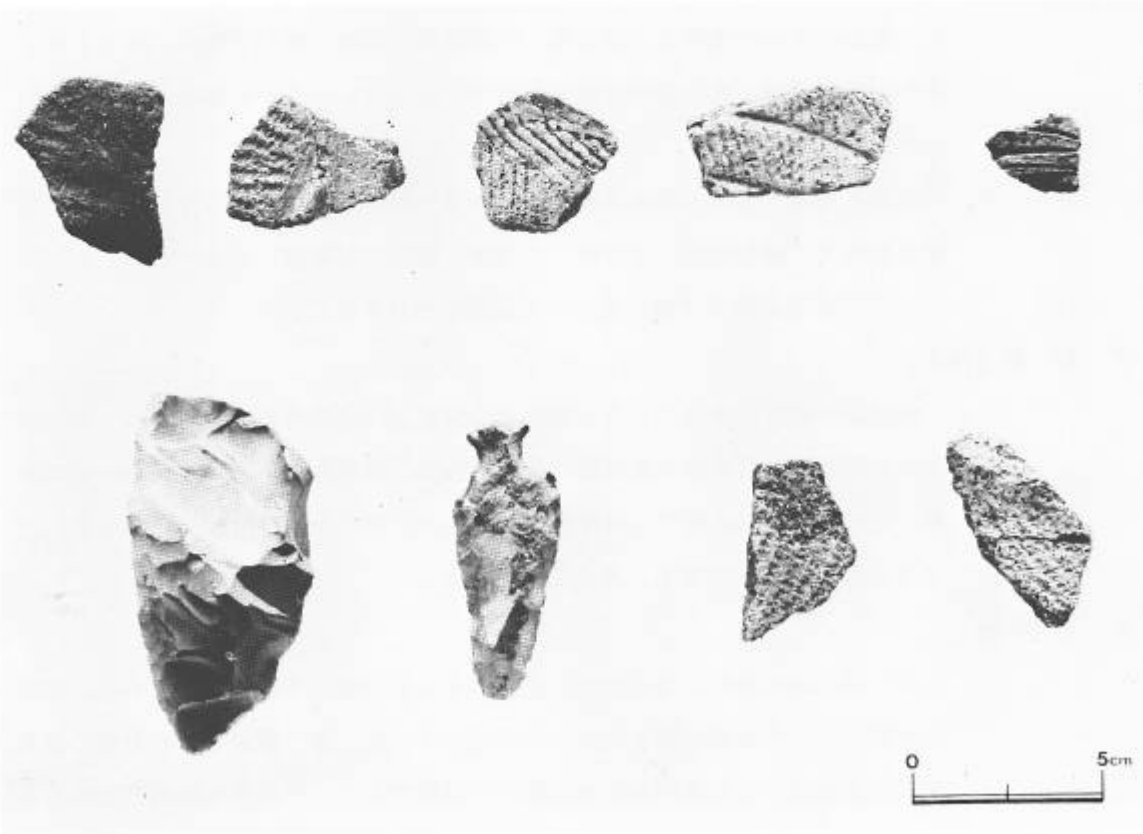
出土遺物は、縄文中期、後期の土器・石器で遺跡の中央西側で多く出土している。遺構は確認できなかった。面積は 9,660㎡である。

3．土　　層

遺跡の基本土層は、第Ⅰ層黒色土、第Ⅱ層黒褐色土、第Ⅲ層褐色ロームで、地表から第Ⅲ層上面までは50cm前後である。遺物は第Ⅱ層に包含される。



第39図　石坂台Ⅲ遺跡範囲図



図版11　上・遺跡近景　下・出土遺物

2．山村基幹農道整備事業

土 井 遺 跡

1．所 在 地　山本郡八森町土井29番地

2．面　　積　(1)　範囲確認調査発掘面積　280㎡

(2)　工事区域内遺跡面積　4,505㎡

3．調査期間　昭和58年６月13日～６月17日

4．調 査 者　桜田　隆、池田洋一

5．遺跡の立地と現況

秋田県北部日本海沿岸に位置する八森町八森地区の東側、薬師山の南麓で段丘上に張り出す尾根の南斜面に遺跡が立地する。前面に段丘面・砂丘・沖積地が広がり現汀線まで1.25kmの距離がある。遺跡の南側には上の川が流れている。現況は畑と杉林になっている。

6．範囲・時代・性格

地形と工事区域を勘案して12本のトレンチを設定し、No.２トレンチから石匙１点、No.３トレンチから旧石器１点、No.４トレンチから竪穴住居跡１軒とかまどと思われる焼土遺構と土製支脚・内黒坏形土師器・甕形土師器、No.９トレンチから溝状遺構・焼土遺構と鉄器・鉄滓、No.10トレンチから溝状遺構と人為的な平坦面を検出した。

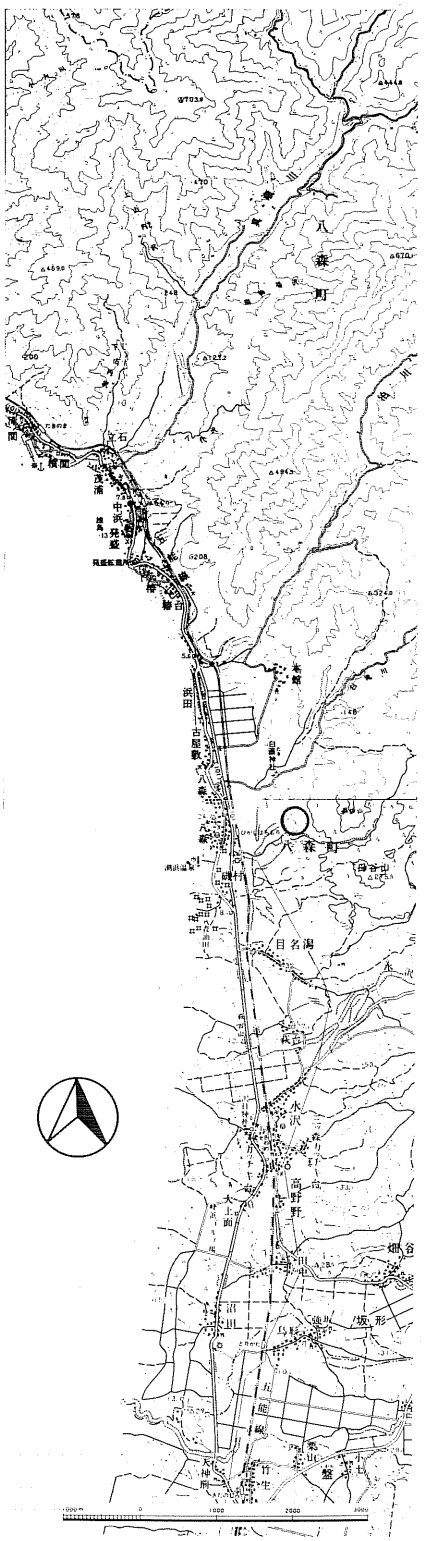
地形と遺構・遺物の検出状況から、No.２～No.５トレンチを設定した区域では旧石器時代・縄文時代・平安時代の遺構・遺物の包蔵地、No.８～No.11トレンチでは平安時代以降の遺構・遺物の包蔵地と推定された。

7．地　層（深さ）

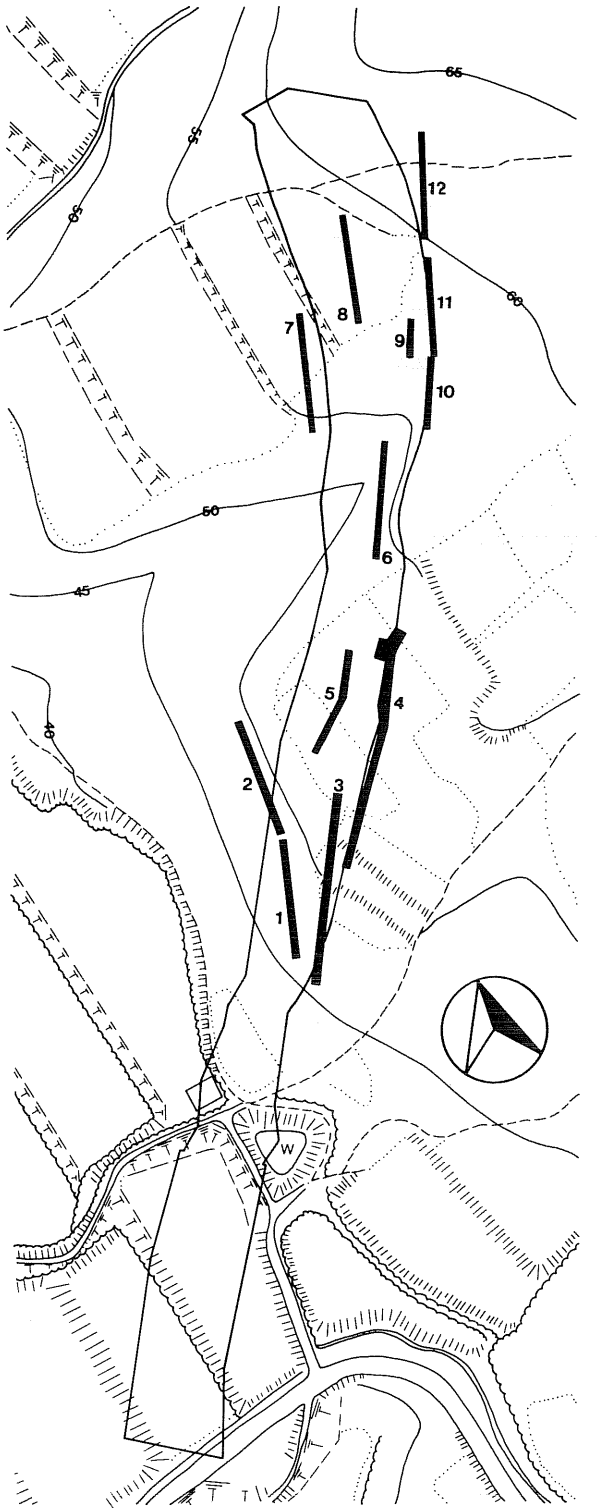
畑地中央部では地山である黄褐色火山灰層上に暗褐色の耕作土が15～20cmの堆積であるが、段々畑の縁辺部では暗褐色土、黒褐色土、褐色土が60～90cm堆積している。山林区域では腐植土が40～80cmと厚く堆積しており、地山面に近くなるにつれ硬度を増し、黒土化している。

8．そ の 他

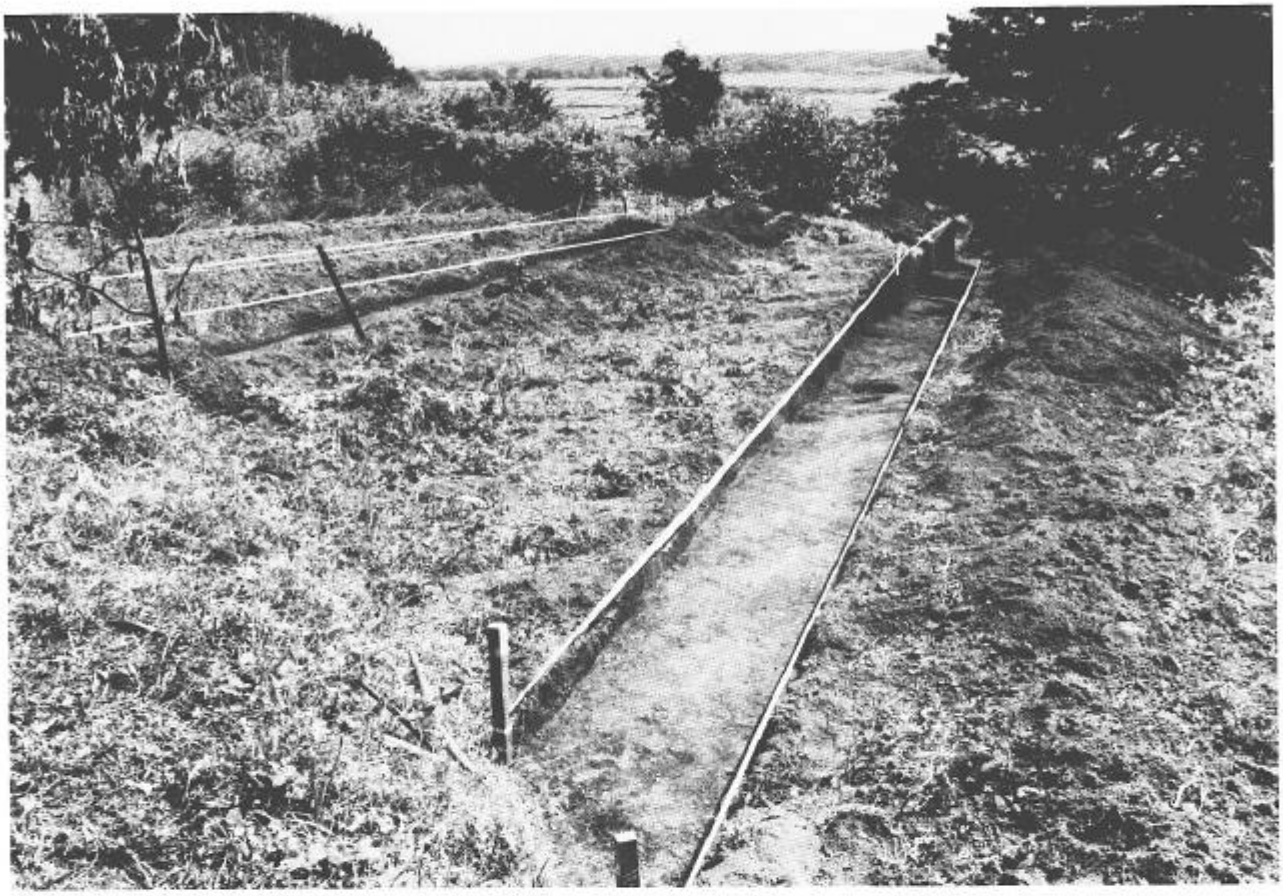
段々畑区域の地形については、近年削平した事実はないとの事である。薬師山南麓ではこの段状地形を利用した畑地が多いが、地元観海小学校教諭工藤英美氏によれば、自然地形か人為的削平か判断できないが自然地形の可能性もあるとの事であった。



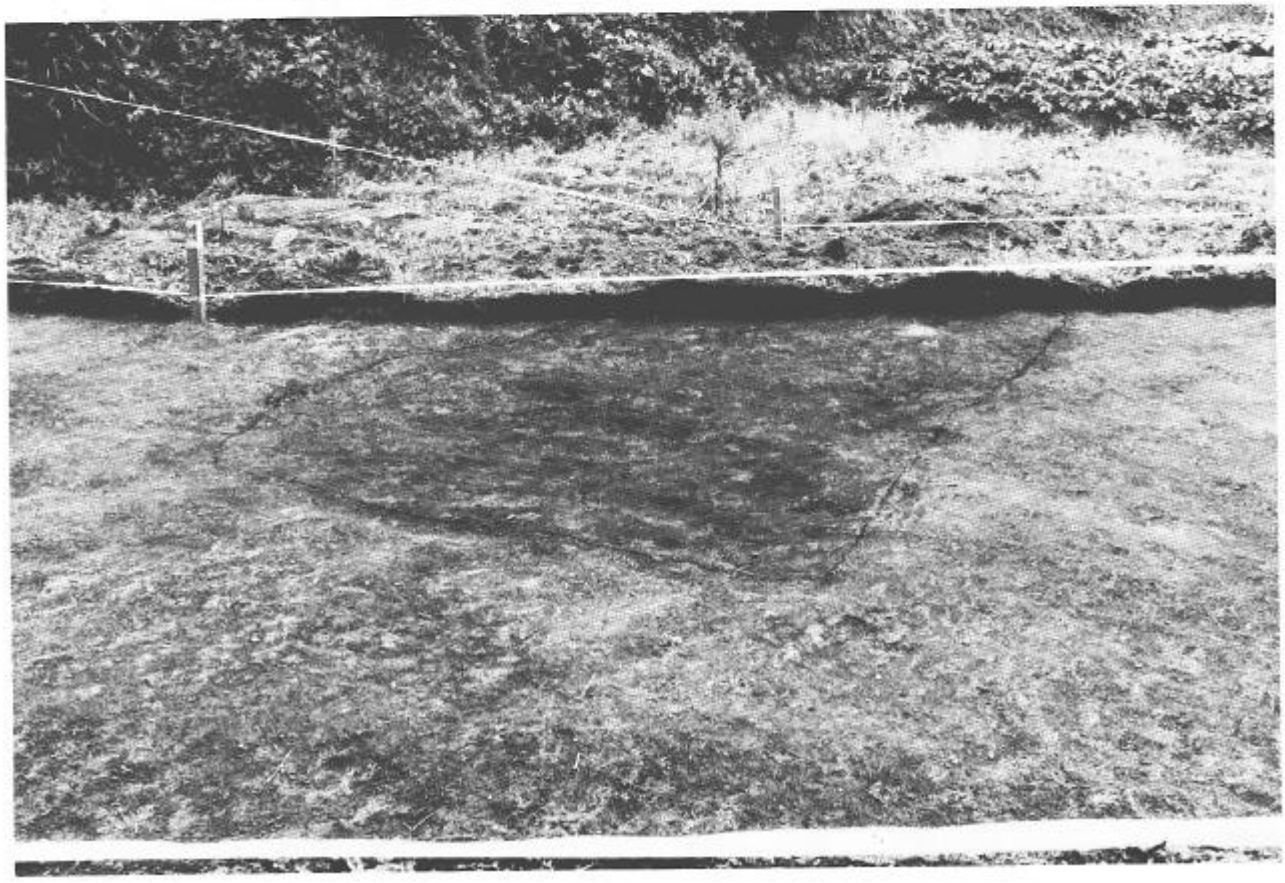
第40図　土井遺跡位置図



第41図　土井遺跡トレンチ配置図



No.3、No.4トレンチ設定状況



図版12　竪穴住居跡プラン確認状況

No.4 トレンチかまど周辺遺物出土状況

図版13　No.11トレンチ溝状遺構検出状況

3．国道バイパス関係

蝦夷塚古墳群

1．所 在 地　平鹿郡雄物川町造山字蝦夷塚51番地

2．面　　積　(1)　範囲確認調査発掘面積　516㎡

(2)　工事区域内遺跡面積　1,444㎡

3．調査期間　昭和58年11月７日～12日

4．調査担当者　船木義勝

5．遺跡の立地と現況

雄物川の右岸、自然堤防上の微高地に位置する。遺跡のある微高地は南北に長く、西側は雄物川の旧河川敷内であり南・東側に低い傾斜をもっている。

当地点は、昭和33年頃耕地整理が行われ畑地・水田となっているが、それ以前は小山（おそらく古墳の墳丘であろう）が点々とあったそうである。

6．範囲・時代・性格

工事区域内から、縄文時代中期・平安時代の土器片が出土したが、縄文時代の遺構の検出はなかった。工事区域内で５基の古墳の周堀を確認した。

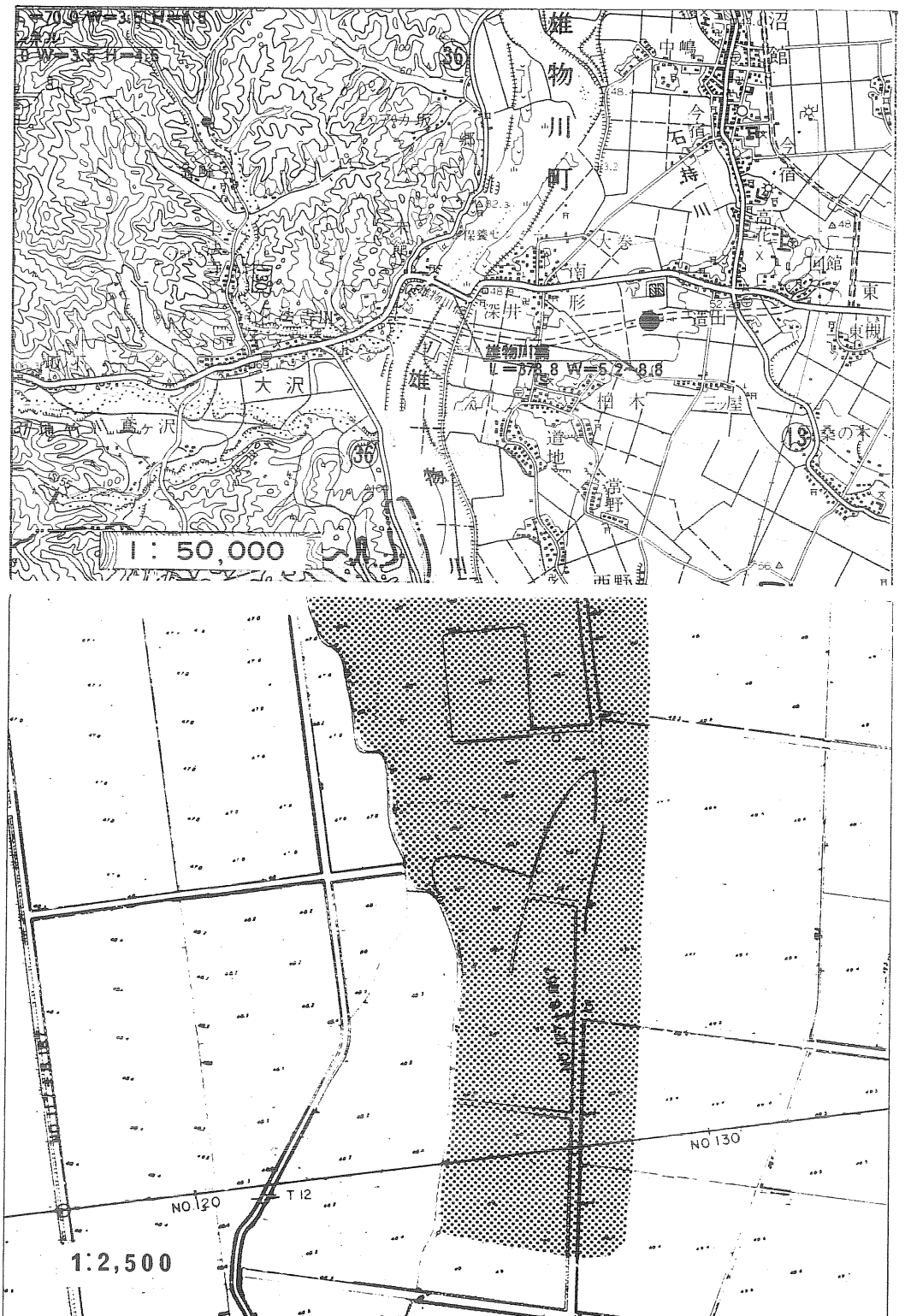
周堀は全周するものと南側が切れるものとがある。周堀から復原すれば、直径５～８ｍの円墳で、幅0.5ｍ～1.5ｍの周堀がめぐる。内部主体部は、木棺直葬かもしれない。主体部は黒色土中に作られたようであり、古代の地表面に埋地され、盛土された可能性が高い。第４・５・６号墳は排水路内で確認した周堀の痕跡から推定復原したものである。蝦夷塚古墳群は周堀などの観察から、古墳時代終末期の群集墳と思われる。

7．土　層（深さ）

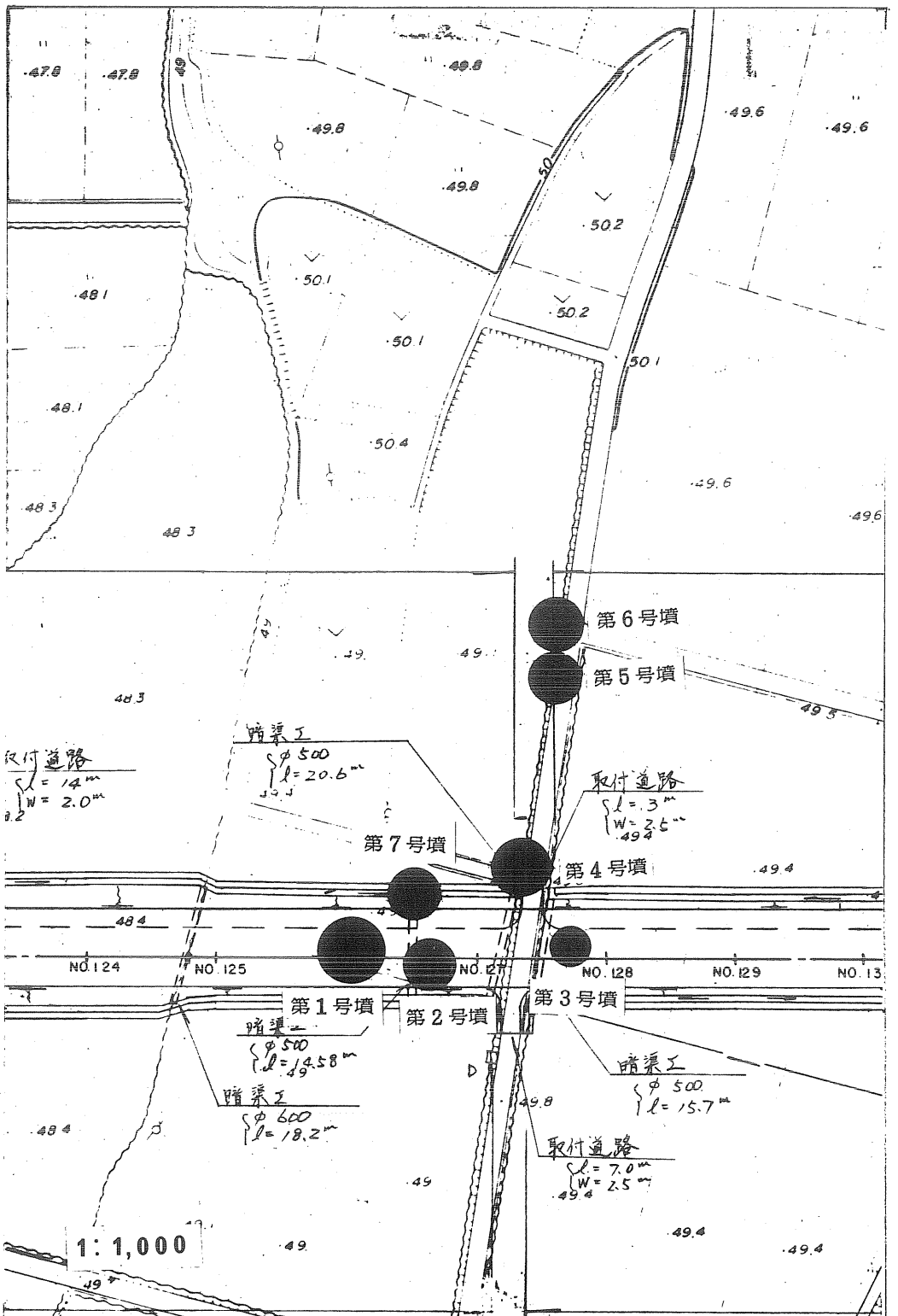
昭和33年頃の耕地整理および墳丘土の運搬、削平により景観は古墳築造時とは著しく相違している。調査地区中央地点の基本土層は第１層（耕作土）32cm、第２層（黒色土）８cm、第３層（地山、灰黄褐色粘質土）となっている。

8．そ の 他

地主の藤田・佐藤両氏から現地でお話しを伺った結果、藤田氏の発見された玉類（京都国立博物館所蔵品）は第５号墳、佐藤氏の発見された玉類（雄物川町所蔵品）は第７号墳の出土資料である可能性が高くなった。両古墳ともに古墳周堀の一部しか確認していないため、将来の発掘調査により確定する必要があろう。



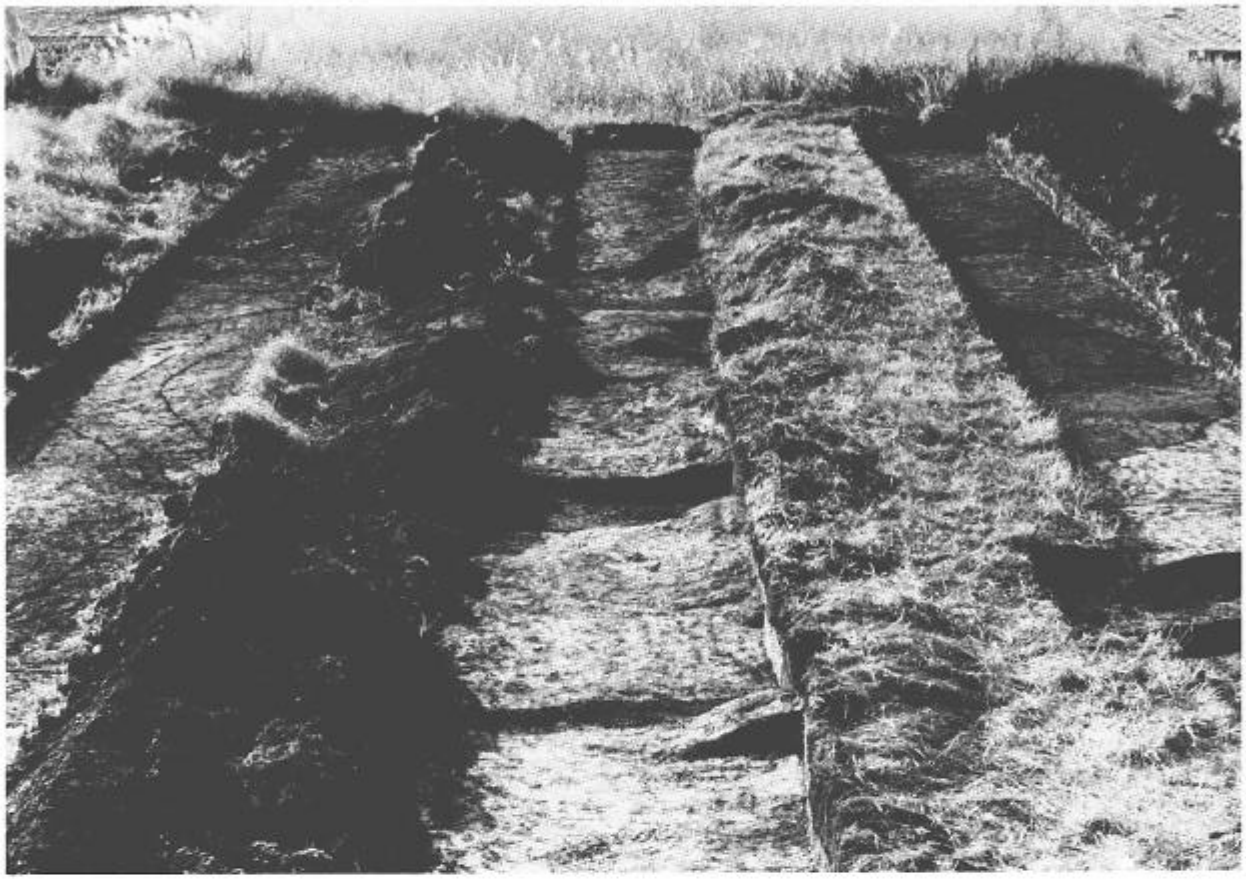
第42図　蝦夷塚古墳群　（上）　位置図
（下）　範囲図


第6号墳
第5号墳
第7号墳
第4号墳
第1号墳
第2号墳
第3号墳
暗渠工
φ500
ℓ=20.6m
取付道路
ℓ=14m
W=2.0m
取付道路
ℓ=3m
W=2.5m
暗渠工
φ500
ℓ=14.58m
暗渠工
φ600
ℓ=18.2m
暗渠工
φ500
ℓ=15.7m
取付道路
ℓ=7.0m
W=2.5m
NO.124
NO.125
NO.128
NO.129
1:1,000

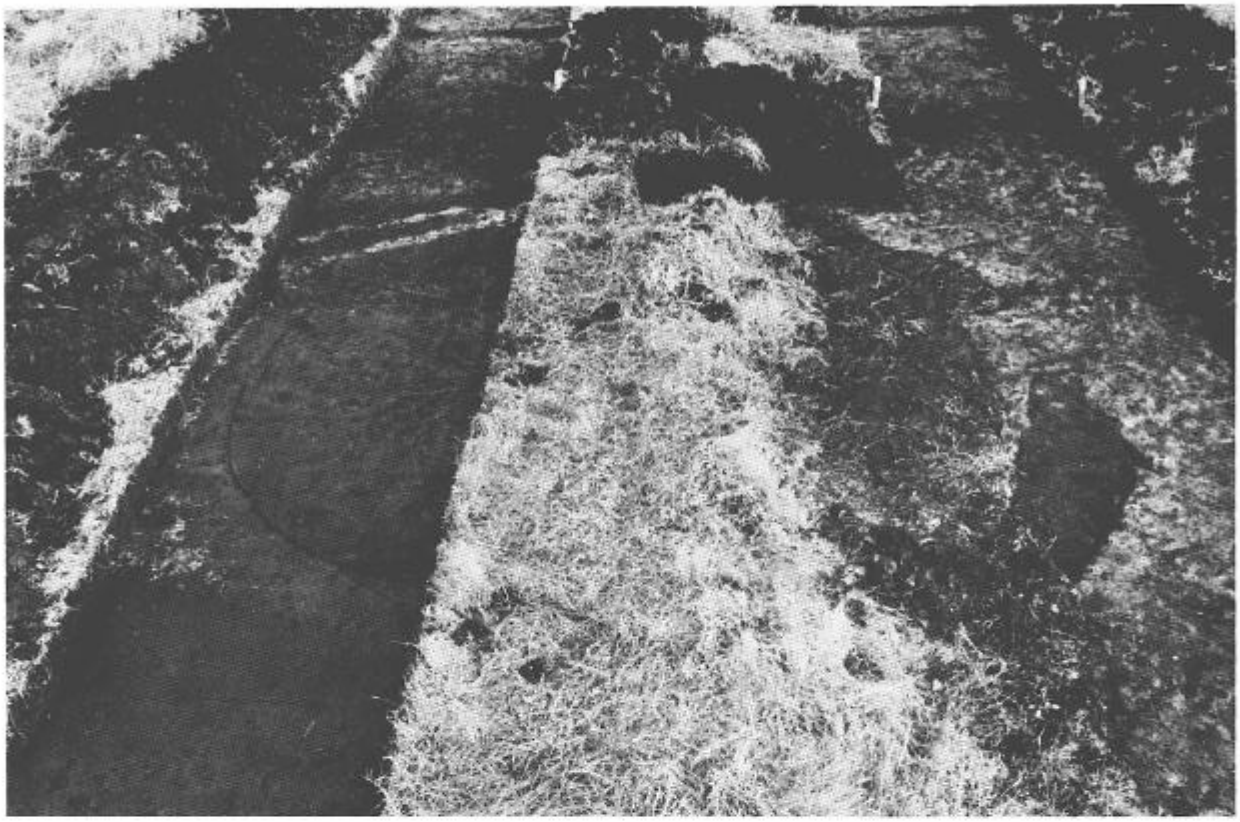
第43図　分　布　図

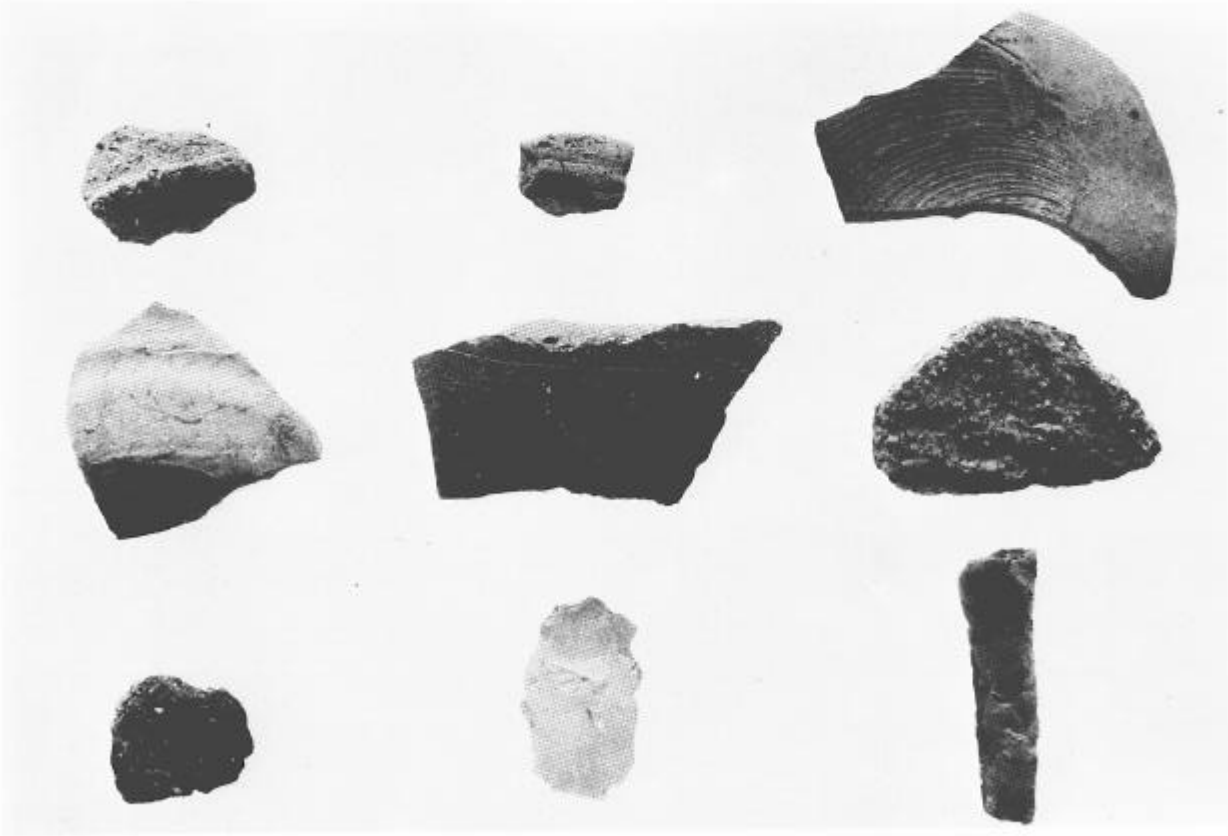
図版14　蝦夷塚古墳群　上　遠景（西▶東）
　　下　近景（南西▶北東）

図版15　蝦夷塚古墳群　上　A・B・Cトレンチ
下　D・Eトレンチ



図版16　蝦夷塚古墳群　上　第1号墳（SD03）
下　第2号墳（SD05）





図版17　蝦夷塚古墳群　上　第3号墳（SD07）
下　出土遺物

4．本荘工業団地区域

昭和58年４月８日、秋田県が本荘市、由利町の要請を受けて計画を検討している本荘工業団地造成地区を県文化課社教主事池田憲和、県埋文センター学芸主事船木義勝が踏査を実施した。その結果、工業団地予定区域から縄文時代・古代の遺物が採集され遺跡の存在することが予想された。そこで下記により遺跡の有無を確認する調査を実施した。

1．所 在 地　秋田県本荘市
秋田県由利郡由利町

2．面　　積　発掘調査面積　3,050㎡
工業団地予定面積　292,195㎡

3．調査期間　昭和58年12月12日～昭和58年12月20日

4．調 査 者　富樫泰時

5．立地と現況　工業団地予定地は本荘市の東端、由利町の西端に位置する台地上である。この台地は南から続いてのびている山地の北端にあたり、本荘平野の東南に突出しており、台地の北側を子吉川が流れ眺望のよい所である。この台地は標高90ｍ前後と、50ｍ前後の二段の台地からなっている。高い方の台地は南西側にあり、現在たばこ畑と杉林になっている。低い方の台地にはたばこ畑、杉林、萱場などがある。

6．調査の結果

調査の結果は次表のとおりである。

第５表

トレンチ No.	大きさ 長(m)	大きさ 巾(m)	主な遺構	出土遺物
1	72	2	西よりに方形のおちこみあり	ナシ
2	74	2	北端に土壙あり	縄文土器片１点
3	76	2	南よりに長方形のおちこみあり、短辺 3.5ｍほど（第２図１）	ナシ
4	69	2	南よりに複雑なおちこみあり、性格不明（第２図２）	ナシ
5	108	2	中央部から竪穴住居跡(3.2×2.68ｍの方形、カマドあり)、南端に木炭を多量に含む土壙あり	土師器片
6	81	2	ナシ	ナシ
7	80	2	中央部からＴピットか（第２図４）	ナシ
8	45	2	ナシ	ナシ
9	38	2	西端からＴピットか（第２図５）	ナシ

10	33	2	Tピットか	ナ　シ
11	78	2	中央部にロームの凹凸あり	ナ　シ
12	84	2	西端に溝（巾1.5m、深さ0.2m）、東端に焼土遺構	ナ　シ
13	30	2	ナ　シ	ナ　シ
14	30	2	ナ　シ	ナ　シ
15	55	2	柱列２列（第２図６）	陶器片、鉄滓
16	33	2	ナ　シ	ナ　シ
17	70	2	東よりから縄文土器、土壙(木炭含)、焼土など	縄文土器片(中期？)、土師器片
18	33	2	溝(巾0.6m、円形のおちこみ、方形のおちこみあり)	ナ　シ
19	33	2	東端に溝（巾0.5m、深さ0.3m）	鉄器片
20	45	2	ナ　シ	ナ　シ
21	36	2	方形のおちこみ、柱穴？	ナ　シ
22	28.5 18	2	柱穴？、東端に深さ５cmのおちこみあり	ナ　シ
23	60	2	焼土(住居跡の炉か)、土壙(縄文文期の土器)	縄文土器片（中期）
24	45	2	中央部に円形のおちこみあり（２基）	ナ　シ
25	40	2	ナ　シ	フレーク
26	31	2	ナ　シ	東端より縄文、後期土器片
27	45	2	円形、楕円形のおちこみあり	ナ　シ
28	49.5	1	ナ　シ	ナ　シ
29	27	2	ナ　シ	ナ　シ

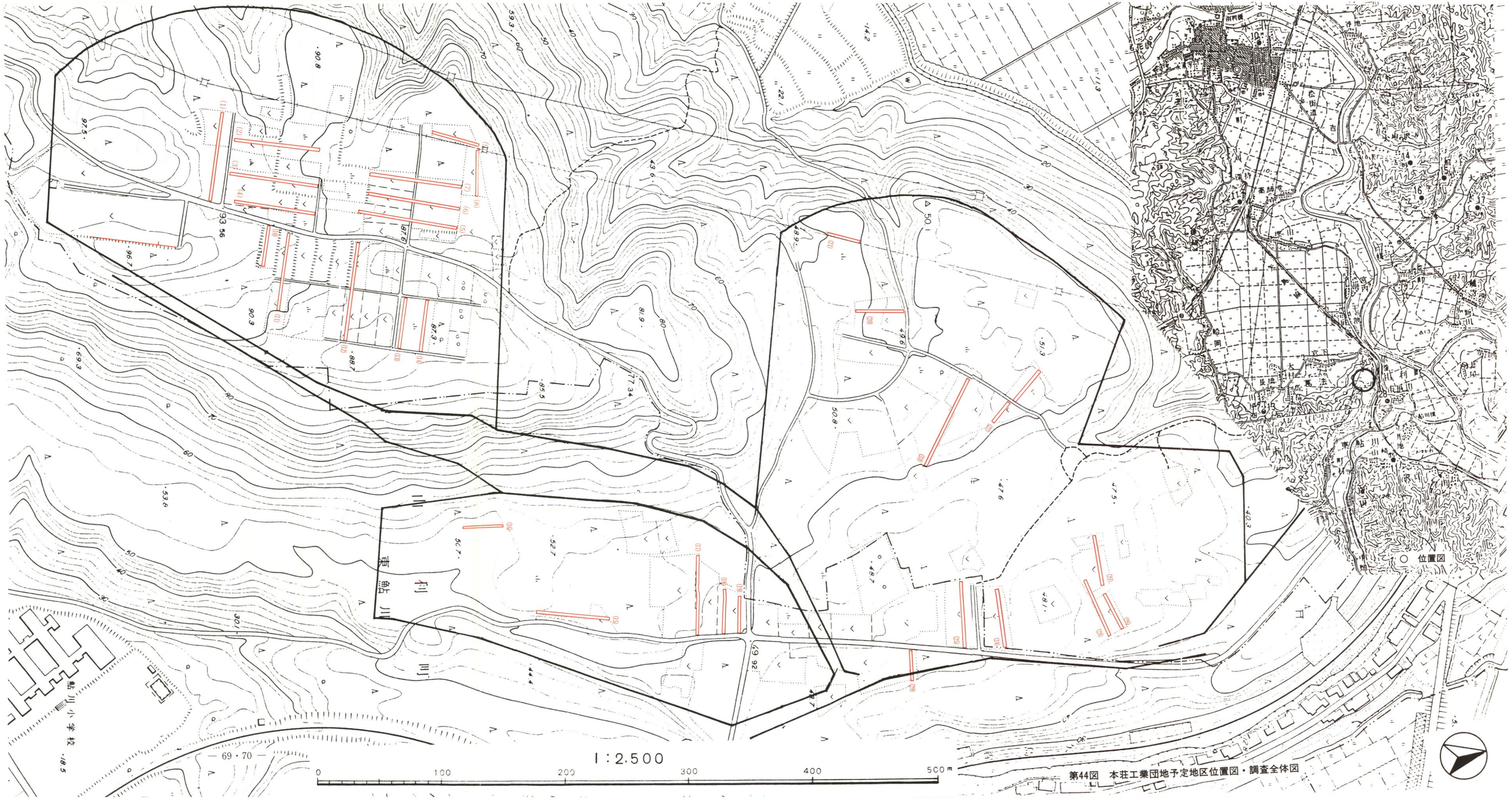
７．主な遺構　竪穴住居跡

竪穴住居跡は第５トレンチ中央部から一棟確認された。古代のもので、平面形は方形で、短辺2.68m、長辺 3.2mで、東壁中央部にカマドがある。カマドに付属するものと思われる自然石が住居内から確認され、またその近くから土師器甕の破片（第46図　）が検出された。

他に第23トレンチから焼土が確認され、それを中心に少しの落込みが確認され、縄文時代の竪穴住居跡の可能性がある。

Tピット

今回の分布調査でTピットと思われるものが４基確認された。長さが２～３m前後で、確認面での最大幅は0.6～0.8mのものである。高い方の台地南端に畑地造成のため切込んだ場所があり、その断面にも一基Tピットが確認できた。



第44図　本荘工業団地予定地区位置図・調査全体図

それは深さ1.5mで、上面の巾が0.7m、中間部が0.55m、下面が0.45mであった。

柱列（第2図6）

第15トレンチの北端から南にかけて柱列が確認された。掘形は方形で一辺が0.3～0.4mで、29個確認できた。柱列は二列に走り、1間×22間以上のものである。柱間は桁行2.5m、梁行1.5mである。No.8の柱のみ断面を観察した結果、深さ14cmと浅く、柱根跡などは認められなかった。中の土は木炭、ロームの小粒が混じた黒色土である。柱穴か否かNo.8の観察からははっきりしない。時代についても不明であるが、土地所有者の話からも現代のものではない。このトレンチの南側から陶器（時代不明）、鉄滓などが出土しており、中世の遺構である可能性が強い。

中世の遺構

この台地のある地域が中世城館跡であるという話があり、周辺を注意して観察した結果、台地の崖の所々に段差のある腰部と思われる遺構を認めることができた。とくに第21トレンチの北、西側にはしっかりした郭がある。また第22トレンチの北側の沢の延長線の台地には濠と思われる痕跡があり、さらに調査する必要がある。

8．まとめ

以上の結果から

(1) 第5トレンチを中心とした高い台地の北西部に古代の集落跡（狭い範囲か）があること。

(2) 第15トレンチを中心とした一画には中世の遺構が存在す可能性のあること（この東側には腰郭と思われるものあり）

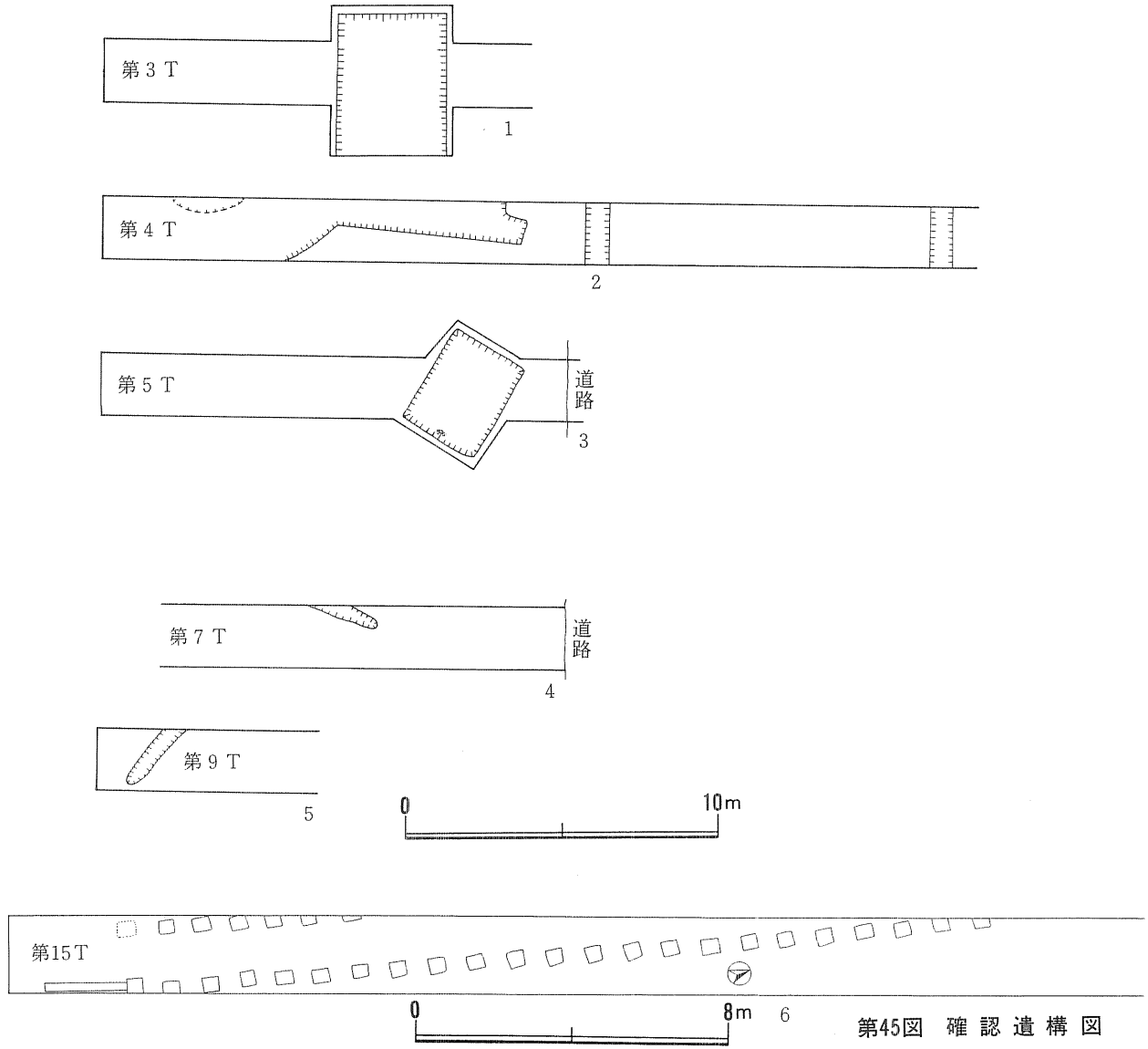
(3) 第17トレンチを中心縄文時代の遺構のある可能性のあること。

(4) 第21トレンチを中心とした一画には中世の遺構が存在する可能性のあること（この北、西側には腰郭がある。）

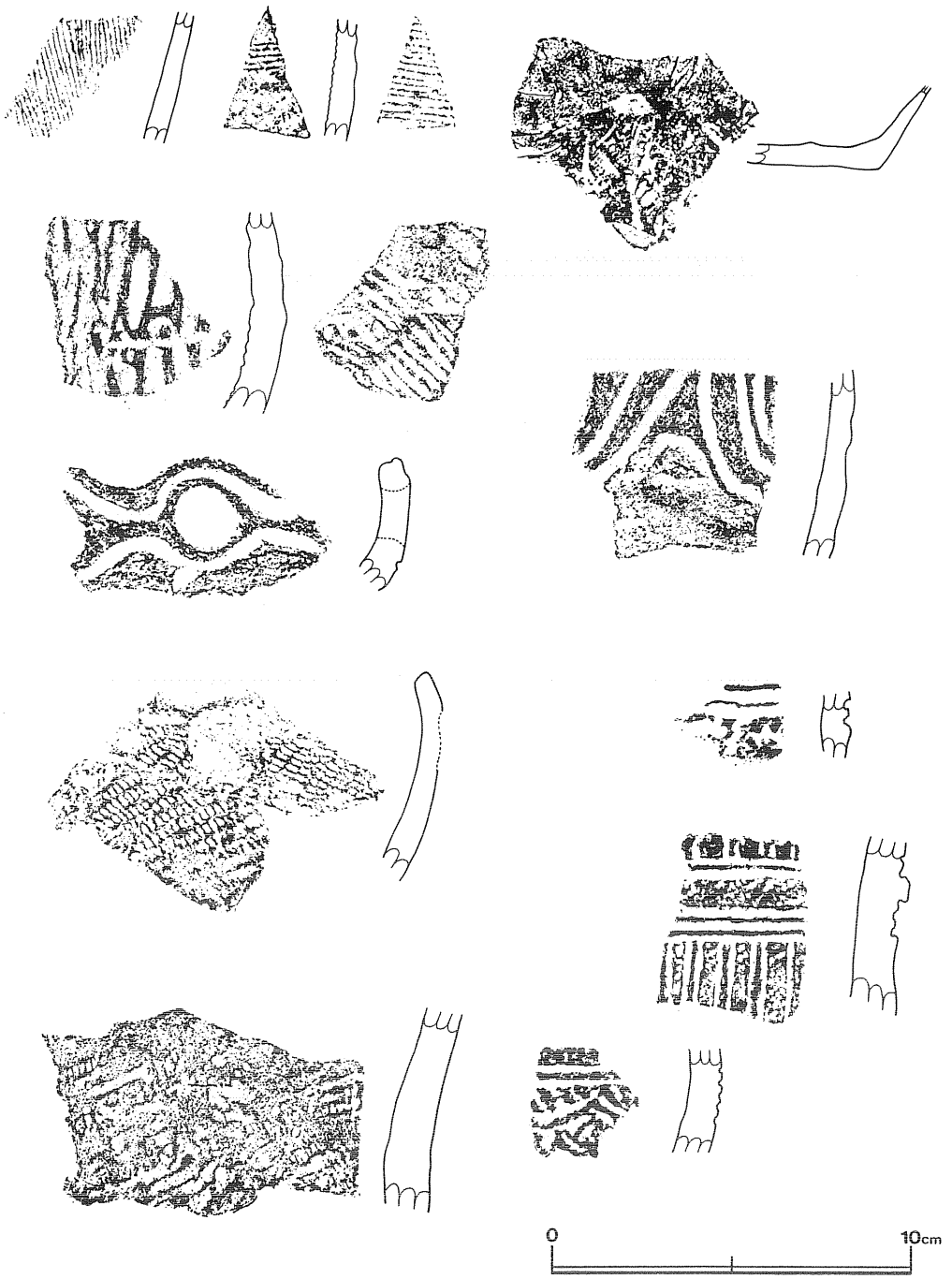
(5) 第22トレンチ付近に縄文時代中期の遺構があること。

(6) 第26トレンチ付近に縄文時代後期前半の土壙等の遺構があること、などが判明した。

これらの結果をもとにして昭和59年度には本荘市が範囲確認調査を実施する予定であり、その結果でより明確になるものと思われる。



第45図　確認遺構図



①第５Ｔ住居跡　②第５Ｔ表面採集　③第５Ｔ住居跡
④第５Ｔ住居跡　⑤鳴沢台26Ｔ　⑥鳴沢台26Ｔ
⑦鳴沢台17Ｔ東側　⑧鳴沢台23イ　⑨鳴沢台23イ
⑩鳴沢台23イ　⑪鳴沢台23イ

第46図　出　土　遺　物

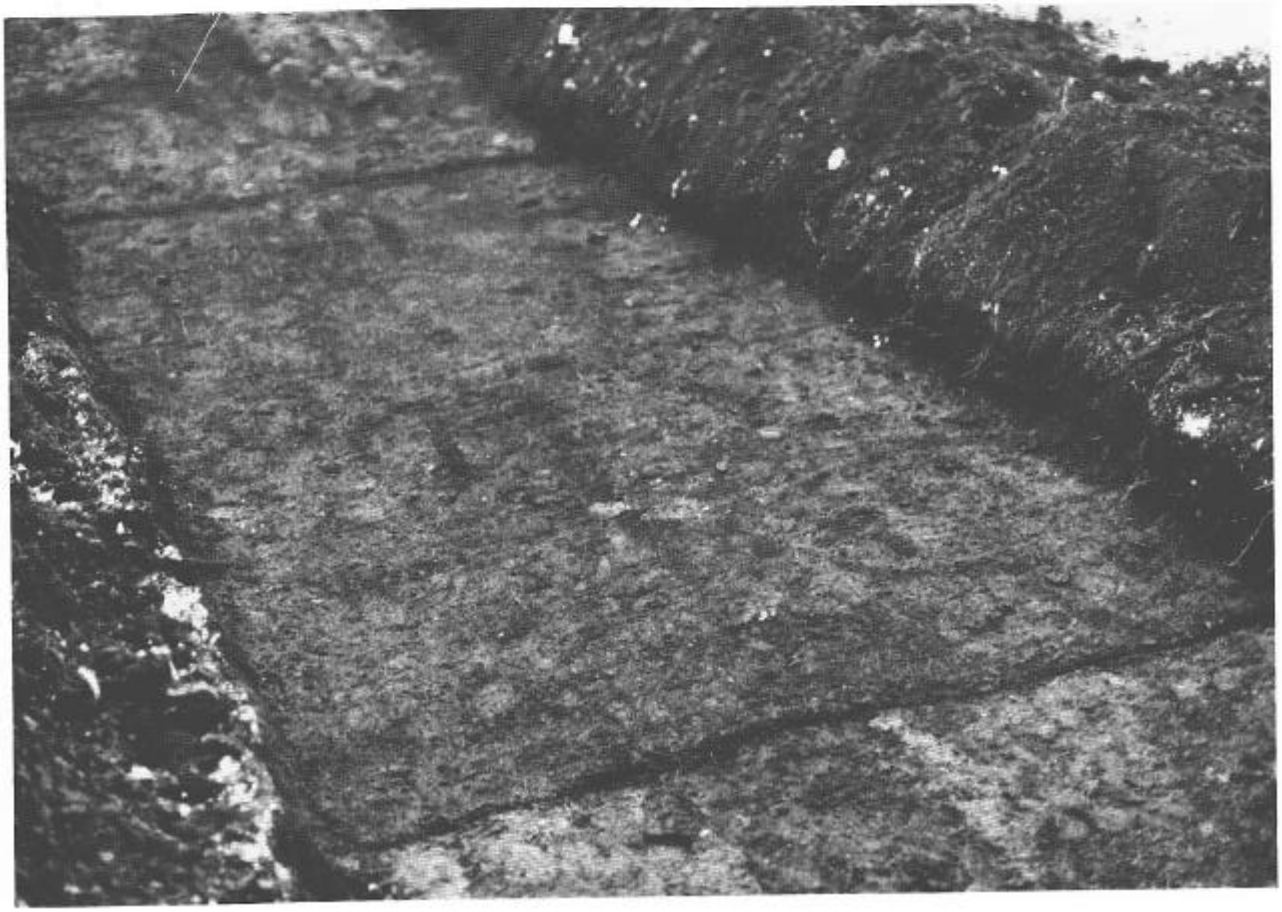
本荘工業団地区域近景（高い台地部南から北を望む）

図版18　本荘工業団地区域近景（高い台地部南から北を望む）

第３トレンチ

図版19　第８トレンチ

第１トレンチ、土壙

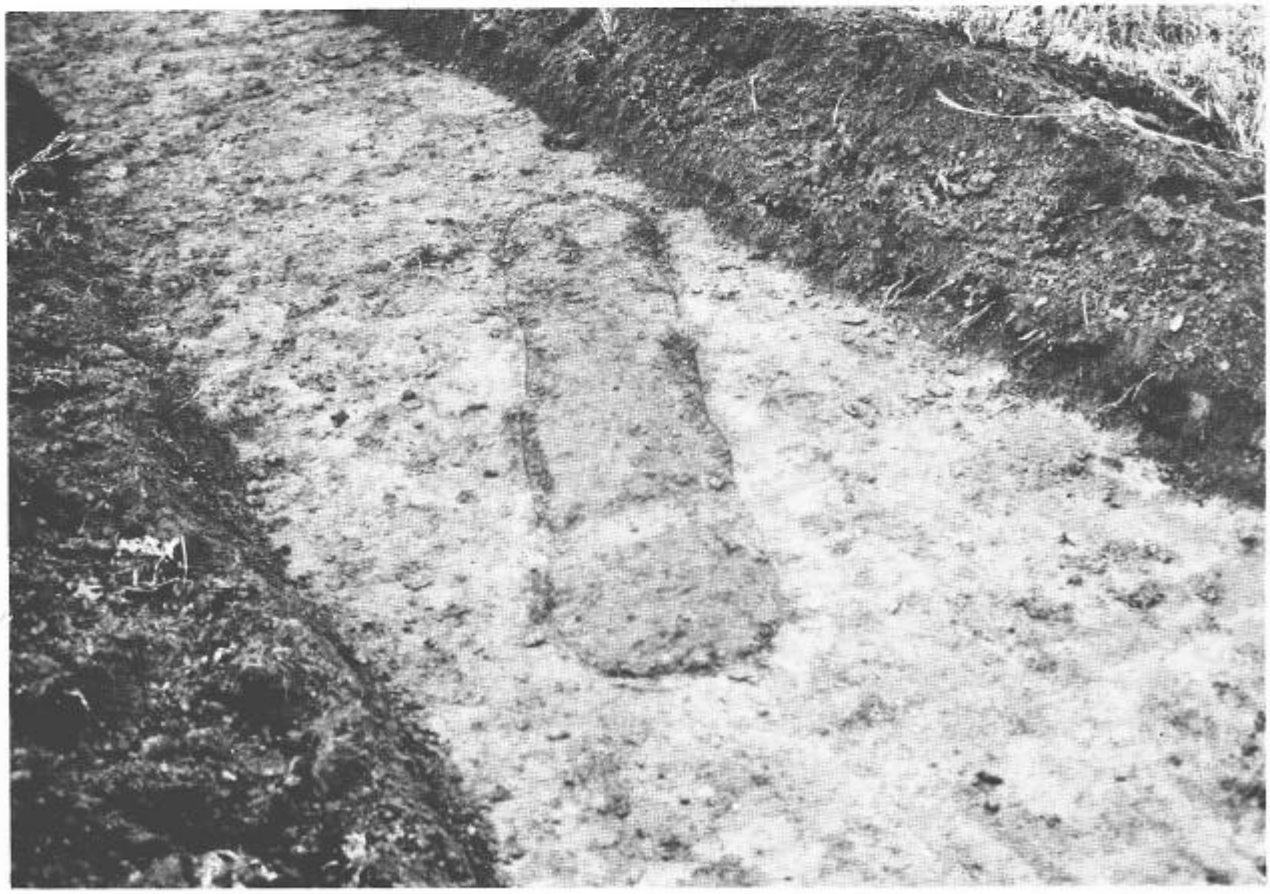


図版20　第３トレンチ 長方形の落込み

第５トレンチ 竪穴住居跡　　第１

図版21　第７トレンチ　　第２

第7トレンチ　Tピット　　第3



図版22　第10トレンチ　Tピット　　第4

第5